



# Resiliency and Responsibility

## 2023 ESG レポート

12-month period ending December 31, 2023

Publication date: September, 2024

# カバー画像クレジット

本レポートに掲載されている写真は、世界中のアナログ・デバイセズの従業員から寄せられたものです。カバー画像は、マサチューセッツ州ウィルミントンのアナログ・デバイセズ本社に務める設計検証エンジニア、[Ameya M.](#)による著作物です。Ameyaはノースイースタン大学で電気・コンピュータ工学の修士課程を修了後、2015年にアナログ・デバイセズに入社しました。風景や野生動物の写真を撮ることを趣味としており、カバーに掲載されている美しい日の出の写真もその1つです。

写真はメイン州のアーカディア国立公園内にあるキャデラック山の山頂から、妻や友人と共に早朝にハイキングをした最後に撮影されました。キャデラック山は東海岸で最も標高が高く、米国本土で最初に日の出が見える場所とされています。

## 将来予想に関する記述について

このレポートには、1933年の証券法およびその改訂、ならびに1934年の証券取引所法およびその改訂に基づいて作成されたセーフ・ハーバーの対象となる将来予想に関する記述が含まれています。歴史的事実を除くすべての記述は、将来予想に関する記述と見なし得る記述です。これらの記述は、当社が事業を行っている業界に関する現在の期待、推定、予想、予測、および、当社の経営上の信念および仮定に基づいています。「期待する」、「予期する」、「狙う」、「目標とする」、「予測する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「機運」、「求める」、「見積もる」、「継続する」、「可能性」、「努力する」、「努める」、「場合がある」、「かも知れない」、「予定する」などの言葉、およびこれらの言葉の変化形および類似表現は、そのような将来予想に関する記述であることを示すものです。更に、ネット・ゼロ、カーボン・ニュートラル、再生可能エネルギーの使用、温室効果ガス排出量、取水量、廃棄物転換、および多様性に関連するものを含む、当社の環境、多様性、公平性、受容性に関する目標とコミットメント、当社の戦略、当社の業界、市場、および事業における予想される成長と傾向、インテリジェント・エッジに関連するものを含む、新規または改良された革新的ソリューション、製品、および技術、研究開発における将来の投資、当社のハイブリッド製造戦略、当社のグローバル・オペレーションに対する事業、経済、政治、法律、および規制の影響または対立、当社の主要人材の採用または確保、当社の将来的な市場での地位、市場における予想される競争の変化、当社製品に対する需要と供給、当社の顧客に対する当社製品の提供と技術の重要性、将来の出来事や状況に関するその他の特徴づけは、将来予想に関する記述です。これらの将来予想に関する記述は単なる予測に過ぎず、予測困難なリスク、不確実性、および仮定の影響を受けるため、実際の結果は将来予想に関する記述で説明されている内容と大きく異なる可能性があることにご注意ください。特に、経済、政治、法律および規制の不確実性または紛争、半導体製品に対する需要の変化、製造の遅延、製品および原材料の入手可能性、サプライ・チェーンの混乱、当社の正規流通経路から逸脱する可能性のある製品、輸出分類の変更、輸出入規制または関税の変更、当社の技術開発および研究開発投資、当社の将来の流動性、資本ニーズおよび資本支出、当社が事業を展開する市場において競争を成功させる能力、重要な人材を採用し確保する能力、買収またはその他の戦略的取引に関連するリスク、セキュリティ侵害またはその他のサイバー事件、訴訟問題における不利な結果、風評被害、当社普通株式の長期的価値に関する不確実性、といった重要な要因や不確実性により、実際の結果がこれらの将来予想に関する記述と大きく異なる可能性があります。実際の結果を、将来予想に関する記述の内容と大きく異なるものにし得る要素の詳細については、最新の年次報告書（Form 10-K）に記載されたリスク要素を含め、アナログ・デバイセズが米証券取引委員会に提出した書類を参照してください。当社は、法律により定められた限度を除き、このレポートの日付後に発生する事象や状況を反映することを含め、いかなる将来予想に関する記述も変更または更新する義務を負いません。

# 目次



## 4 CEO兼取締役会会長 からのメッセージ

## 6 アナログ・デバイスズ について

- 7 企業紹介
- 13 ガバナンスと監督へのアプローチ

## 16 ESGへのアプローチ

- 17 ESGへのアプローチ
- 18 ステークホルダーへの対応
- 20 アナログ・デバイスズの優先度と  
目標について
- 23 2023年のESGの成果

## 26 アナログ・デバイスズ のソリューション

- 30 ソリューションの影響
  - 31 エネルギー効率、安全性、  
レジリエンスのための  
オートメーション
  - 33 より持続可能な世界のため  
の電化
  - 35 グローバル・コミュニティ  
のためのコネクティビティ
  - 38 ヒューマン・ヘルスをより  
身近に

## ADI Horizon

- 42 ESG責任者からのメッセージ

## 43 ガバナンス

- 44 リスク・マネージメント
- 47 企業倫理
- 49 人権
- 50 倫理的サプライ・チェーン
- 53 取引に関わるコンプライアンスと納税
- 55 プライバシーと情報のセキュリティ
- 57 製品保護
- 58 公共政策
- 59 安全衛生

## 61 環境サステナビ リティ

- 62 業務の最適化
- 63 環境目標の2023年における  
進捗状況
- 64 気候とエネルギー
- 67 水
- 70 廃棄物
- 72 生物の多様性
- 73 サステナブル・ファイナンス

## 74 人々とコミュニティ

- 75 アナログ・デバイスズの  
目標、文化、優先度
- 81 人材
- 87 アナログ・デバイスズ基金

## I 付録

- II TCFD
- III SASB
- V GRIインデックス
- XVI GAAP指標と非GAAP指標の  
対比

# CEO兼取締役会会長からのメッセージ

今年のESGレポートのタイトル「Resiliency and Responsibility（レジリエンスと責任）」は、60年近くにわたりアナログ・デバイス（ADI）を目覚ましい成功に導いてきた2つの方針を反映しています。Resilience（レジリエンス）は、アナログ・デバイセズの製造戦略とビジネス・モデル全体にわたり、多くのビジネス・サイクルの浮き沈みを乗り越えて成長することを可能にしてきました。Responsibility（責任）とは、サステナブルな成長は従業員、顧客、パートナー、コミュニティ、投資家を含むすべてのステークホルダーに利益をもたらす場合にのみ実現できるものである、というアナログ・デバイセズの経験と強い信念を指します。これらの方針は、単なるESGの方針ではありません。アナログ・デバイスが今後何十年にもわたって成長を続けていくための中核となる企業方針であり、指標でもあります。

今日の企業は、気候変動、地政学的紛争、不正や不公平など、人類が直面しているものと同じ多くの課題に直面しています。これらの課題は、市場の混乱や業務の非効率性といった形でビジネス・リスクを生み出します。しかし同時に、テクノロジー、スマートなビジネス慣行、そして世界中の従業員からなるとても大きく大きなチームによるダイナミックなエネルギーをアナログ・デバイスが活用する機会を生み出し、人類の置かれた状況や私たちを取り巻く世界をより良いものにするブレークスルーを提供するという使命を追求する際の成長の原動力ともなります。

過去数年間、当社は数十億ドルを投資してハイブリッド製造戦略を事業化し、顧客の進化する供給ニーズをより効果的かつ効率的に満たすことを目標にしながら、環境目標の達成を加速させてきました。例えば、供給レジリエンスに投資することで、2026年までに当社の工場からのスコープ1排出量を75%削減するという大胆な新目標を設定することができました。また、製造施設で使用する電力の100%を再生可能エネルギーで賄うという2025年の目標達成に向けて順調に進んでおり、これによりスコープ2排出量を90%以上削減できる見込みです。水は半導体製造に不可欠ですが、同時に保全すべき貴重な資源でもあります。2023年、アナログ・デバイセズの売上高で正規化した水使用量原単位は、2019年から33%、2022年からは7%減少しています。サステナビリティへのこれらの投資は、当社の更なる競争優位性を生み出しています。

当社の取り組みが顧客自身の気候変動目標とコミットメントの達成に役立っているためです。アナログ・デバイセズの環境に対する取り組みは、しかしながら、事業活動の域をはるかに超えています。当社の製品は、温室効果ガスを発生させる技術からの移行を可能にし、顧客製品のエネルギー効率を改善することで、世界におけるネット・ゼロ目標の達成を支援しています。当社は、サステナブルなエンドユースケースをサポートする製品を売上の約30%に位置づけています。例えば、当社のワイヤレス・バッテリー管理システム（BMS）は、本来の製品製造者（OEM）がバッテリー航続距離の拡大、製造のオートメーション、バッテリー・パックのセカンドライフの可能性を探る中、世界中で驚異的な成長を牽引しています。当社のエネルギー管理システムは、分散型および再生可能なエネルギー源からのエネルギーを商業的に活用し、発電から電力貯蔵、電力使用まですべてのノードを監視し、ますますダイナミックになるエネルギー需要をより適切に管理する能力を電力供給会社に提供することで、未来のデジタル・グリッドを実現します。世界が低炭素経済へと移行し、企業や消費者がより効率的な生活や運営を追い求める中で、当社の影響力は拡大し続けると確信しています。

“ 私たちの目の前に広がる可能性という名の広大な地平を認識しながら、アナログ・デバイセズのレジリエンスと責任ある成長をこの先何十年も確かなものにするために、ひたむきに邁進していきます。

Vincent Roche  
CEO兼会長





Gianluca M., イタリア、ミラノ

また、アナログ・デバイセズはビジネスの中核として、人類の置かれた状況を改善することにコミットし続けています。そして、世界中で責任ある企業市民として活動する責務を真剣に受け止めています。当社は世界中の政府、NGO、そしてパートナーと密接に協力し、当社のサプライ・チェーンおよび当社が事業を展開するコミュニティにおける個人の人權と公正な労働慣行の保護に努めています。また、当社の製品が、紛争地域や意図されていない用途で違法転用されるのを防ぐための取り組みを実施しています。私たちは組織全体で、個人を尊重し、従業員が自分の能力を発揮しながら仕事に取り組むことを奨励する職場環境を構築してきました。多様性、公平性、受容性にフォーカスすることで生み出されるより高いレベルの創造性、生産性、定着率により、大きな恩恵を受けています。

人類の置かれた状況を改善することへのコミットメントもまた、アナログ・デバイセズの成長を促す重要な原動力となっています。ヘルスケアの分野では、当社の遠隔患者モニタリング・ソリューションが、在宅やその他の非臨床環境において臨床レベルの機能を提供することにより、患者の快適性とケアへのアクセス性の向上を可能にしています。2024年初頭には、当社のSensinelプラットフォーム

がFDAの承認を受けました。アナログ・デバイセズの目標は、Sensinelプラットフォームの最先端ワイヤレス心肺測定技術を始めとする製品およびサービスのSensinelエコシステムにより、臨床医がより多くの情報に基づいたコスト効率の良い慢性疾患の在宅管理を提供できるようになることです。オートモーティブの分野では、当社のセンサー、コネクティビティ・ソリューション、制御ユニットにセンサー入力を融合し、運転状況を総合的な視点で捉えられるようにすることで、現在および将来の自動車やトラックの安全性を更に強化します。産業分野では、当社のオートメーション・ソリューションによって、人間とロボットがハイブリッド工場で協働して（しかしますます自律的に）働くことを可能にしています。

つまり、アナログ・デバイセズは、テクノロジーと当社のグローバルなチームの創造力を活用することで、世界で最も困難な問題を解決すると同時に、投資や努力の効果を最大化するサステナビリティを見据えているのです。

データ・センターの外の世界で意思決定を行いそれを実行するために必要なデータと情報を提供するインテリジェント・エッジにおいて、アナログ・デバイセズはデータ・セン

ターの外の世界の知識を広げ、その知識により良い影響を与える能力を拡大することに貢献しています。この取り組みは、まだ始まったばかりです。人工知能（AI）は、インテリジェント・エッジの知能を劇的に強化すると期待されています。現在、AIの作業負荷の95%はデータ・センターに集中していますが、2028年までには、AIによる作業の50%がネットワークのエッジで発生すると予測されています。アナログ・デバイセズは、センサーtoクラウドからAI革命を実現するために取り組んでいます。

しかし、AIは万能ではありません。AIの膨大な電力需要や無責任なAI利用の可能性など、克服すべきハードルが数多くあります。当社は、AIが人類や私たちを取り巻く世界にとって最大限の利益を確実にもたらすことができるよう、世界中の顧客やパートナーと共にこれらの問題に取り組んでいます。

最後に、当社はESGの進歩に誇りを持っていますが、決して満足することはありません。私たちの目の前に広がる可能性という名の広大な地平を認識しながら、アナログ・デバイセズのレジリエンスと責任ある成長をこの先何十年も確かなものにするために、ひたむきに邁進していきます。幸いなことに、この旅路にあるのは私たちだけではありません。当社は今年も取締役会の刷新に注力し、2023年の間に2名の新しい独立取締役を迎えました。当社の取締役会がアナログ・デバイセズの追求する機会に積極的に関与していることに喜びを感じています。アナログ・デバイセズの従業員は、世界中の課題を解決するために、日々多大な情熱と才能、そして創造力を集結させています。当社の顧客やパートナーは、私たちと協働しながらこれらの課題に対するソリューションを綿密に計画し、共同開発しています。そして投資家の皆様には、人類の置かれた状況と地球の健康を改善するという私たちの使命を、引き続き強く支持いただいています。私たち全員が一丸となって協力すれば、越えられない障害物はないと確信しています。

Vincent Roche  
CEO兼会長

# アナログ・デバイズについて

アナログ・デバイズは、人生と世界を豊かにする人間的なブレークスルーを加速するためのテクノロジーを生み出します。

## このセクションの内容：

- 7 企業紹介
- 13 ガバナンスと監督へのアプローチ

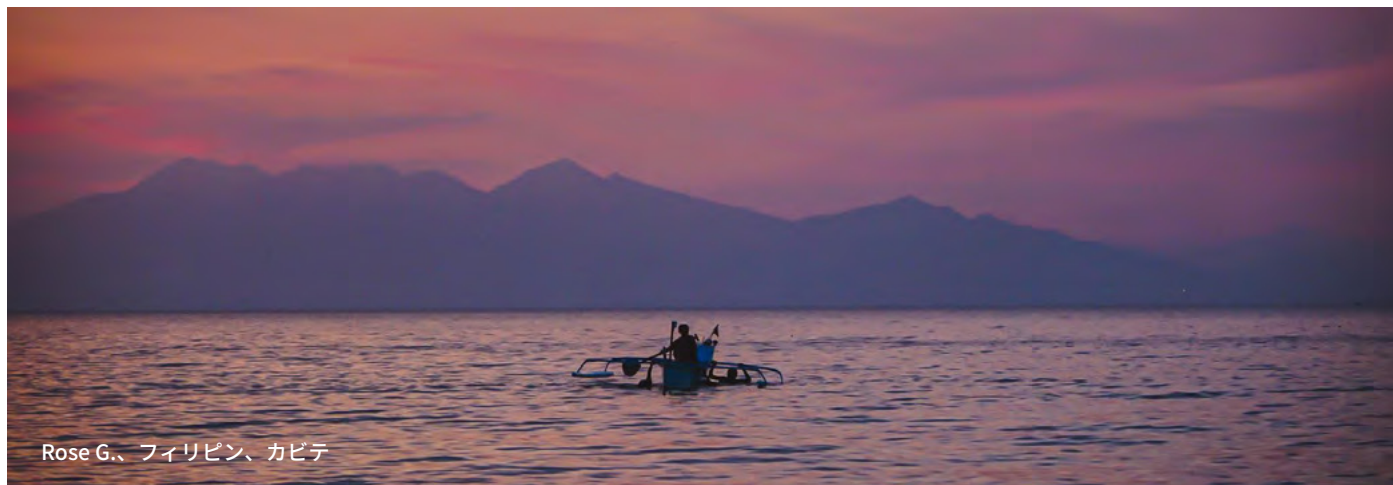
# 企業紹介

アナログ・デバイスズは、アナログ技術、デジタル技術、ソフトウェア技術を活用することで、様々な分野に変革的なソリューションを提供し、デジタル化された工場、モビリティ、デジタル・ヘルスケアにおける発展を加速しています。最も優秀な頭脳を持つ人々が価値観に主導されて目指す目的地として、当社は、地球と社会のために「Engineer Good」を標榜する、好奇心に溢れ、技術に精通した多種多様な人材の拠点となっています。

## 事業内容

アナログ・デバイスズは、60年近くにわたりパイオニアであり続けてきました。私たちは物理的世界とデジタル世界の架け橋となり、エッジにインテリジェンスをもたらします。当社のソリューションは、顧客が生データを実用的な情報に変換し、接続されたデバイスをよりスマートでより応答性の高いものにすることを支援します。また、AIと機械学習の持つ力をエッジで活用することで複雑さを大幅に軽減すると共に、125,000社に及ぶ世界中の顧客に対しインパクトとイノベーションを高められるよう努めています。

次のブレークスルーがどのようなものであっても、アナログ・デバイスズは想像を超える可能性を提供し続けます。



Rose G.、フィリピン、カビテ

より良いサービスと結果をもたらす**デジタル・ヘルスケアの**変革

安全なファクトリ・オートメーションと自動輸送による**人類の可能性**拡大

電子化、エネルギー・マネージメント、産業オートメーションを通じた**気候変動への**取り組み

知識、理解、コミュニティを育む**人と人の**つながり

## アナログ・デバイセズの エンド・マーケット

### 53% 産業用機器

- ・ファクトリ・オートメーション
- ・持続可能エネルギー計測とテスト
- ・デジタル・ヘルスケア
- ・航空宇宙&防衛



2023  
会計年度の  
主な実績

### 10% コンシューマ

- ・プロスーマ
- ・ヒアラブル&ウェアラブル・デバイス
- ・ハイエンド・ポータブル・エレクトロニクス

### 13% 通信

- ・高度なコネクティビティ
- ・高性能なコンピューティング

### 24% オートモーティブ

- ・電気化
- ・キャビン・エクスペリエンス
- ・自律型モビリティ

## 2023会計年度の主な実績

**\$123億**

収益

**64.0%**

粗利益

**48.9%**

調整後の粗利益<sup>1</sup>

**\$6.55**

希薄化後一株当たり利益

**\$48億**

営業キャッシュ・フロー

**約90%**

企業間取引収益

**72.5%**

調整後の粗利益<sup>1</sup>

**\$10.09**

調整後の希薄化後一株当たり利益<sup>1</sup>

**\$36億**

フリー・キャッシュ・フロー<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 非GAAP財務指標の詳細、および非GAAP財務指標とほぼそのまま比較できるGAAP財務指標の対比については、[こちら](#)を参照してください。

# 世界各地のアナログ・デバイスズ事業所

世界中に広がるアナログ・デバイスズのハイブリッド製造施設とサプライ・チェーンのネットワーク



## 会社の概要<sup>1</sup>

### アナログ・デバイスズの主要データ

|                                                                              |                                                                     |                                                                                                                                                                                       |                                                                             |                                      |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| <div>設立</div> <div>1965</div> <div>本社</div> <div>マサチューセッツ州<br/>ウィルミントン</div> | <div>従業員</div> <div>約26,000</div> <div>顧客</div> <div>125,000+</div> | <div>世界の製造拠点</div> <div>米国（マサチューセッツ、オレゴン、ワシントン）   アイルランド   フィリピン   マレーシア   タイ</div> <div>事業所所在地</div> <div>31 カ国</div> <div>ワールドワイド・セールス、フィールド・アプリケーション、製品開発、設計、サービス、テクニカル・サポート</div> | <div>製品数</div> <div>約75,000+ SKUs</div> <div>ADI 開発拠点数</div> <div>約80</div> | <div>上場企業名</div> <div>(NASDAQ)</div> |
|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|

<sup>1</sup> 2023年10月28日現在

# アナログ・デバイセズのレジリエンスと責任

## レジリエンス

アナログ・デバイセズの顧客中心主義の製造組織はワールドクラスの高品質製品を提供し、顧客が最も困難な技術的問題を解決できるよう支援します。アナログ・デバイセズのハイブリッド製造戦略は、当社の全体的なレジリエンス戦略の基盤となっています。アナログ・デバイスまたはアナログ・デバイセズの信頼できるパートナーが所有するウェハ製造プラント、ファウンドリ、そしてアッセンブリ工場および試験工場の強力なネットワークに基づく製造ネットワークが、アナログ・デバイセズを外部的な問題要因から分離する助けとなり、生産性を向上させたり、顧客のニーズに応えるために迅速なスケールリングを実現したりするための手段を提供しています。

レジリエントなハイブリッド製造方法により、アナログ・デバイセズは自社およびパートナーの製造プラントにおいて、従来型プロセス技術と新しいプロセス技術を使って製造を行っています。アナログ・デバイセズは、そのサプライ・チェーン内に存在する様々な技術を迅速に比較検討できるため、複数の場所で顧客の需要に柔軟に対応することが可能で、7ナノメートルから7ミクロンまでの革新的ソリューションを作り出すために必要な技術とパッケージングの広範な組み合わせを供給しています。この戦略的な取り組みにより、工場を柔軟に選択して顧客の需要に応え、潜在的な混乱に対処することができます。レジリエントなハイブリッド製造モデルにとって重要な2つの要素は、アナログ・デバイスが技術を共有している信頼できるパートナーと、そのパートナーの持つ確立したインフラストラクチャをアナログ・デバイスが活用できることです。これは、迅速に製造を開始して、顧客がそのビジネス目標を達成することにつながります。また、天候や地政学的な問題など、私たちがコントロールできない外部的な問題に起因する計画外のダウンタイムを回避または削減することができます。アナログ・デバイセズのレジリエントなハイブリッド製造モデルは、アナログ・デバイスがその顧客と株主に価値を提供することを可能にします。

このレジリエンス戦略の一環として、アナログ・デバイセズは社内および社外の製造工場の能力を強化し、社内では米国およびヨーロッパにおけるウェハ生産量を2025年末までに倍増させるという目標に向けた投資を行いました。

- ・ 米国オレゴン州ビーバートンではクリーンルームを25,000平方フィート拡張させて能力を倍増させると共に、より多品種の製品に対応できるようにしました。
- ・ また、アイルランドのリムリックでは、15,000平方フィートの施設面積拡張によって能力を3倍に拡大しました。
- ・ 更にワシントン州キャマスでは、能力を2倍にするための投資を行っています。

アナログ・デバイセズは、こうした拡張を活用することで、気候、水、廃棄物に関する目標を達成します。当社は効率を改善する新しい最先端の製造ツールや、より環境に優しい化学薬品類を使用することにより、工場の近代化を図っています。また、水の消費量を最適化し、より正確な水のリサイクル活動を実現するために、センシング技術を活用しています。アナログ・デバイセズは、資源消費量を管理し、排出量プロファイルを削減することが、当社のレジリエンス戦略の重要な部分であると認識しています。これらの取り組みは、当社の設備と事業への多大な投資、そしてアナログ・デバイセズの事業を最高クラスのものにしようとする私たち自身のエンジニアリング・チームのイノベーション、熱意、コミットメントによって実現されます。

アナログ・デバイセズはほとんどの試験業務をフィリピン、マレーシア、およびタイにある自社工場で行っていますが、アッセンブリの大半は信頼できるパートナーに外注しています。アナログ・デバイセズはフィリピンの広範な業務のレジリエンスを強化するために、タイの試験施設を拡張すると共に、数年かけてフィリピンの施設を拡張し、予定されているエンジニアリングやその他の能力の強化に対応するために、オフィス・スペースを広げています。更に、

社内だけでなく社外のパートナーともテスト・プロセスの相互検証を行うことで、必要に応じて二重調達ができるようにしています。

## 責任

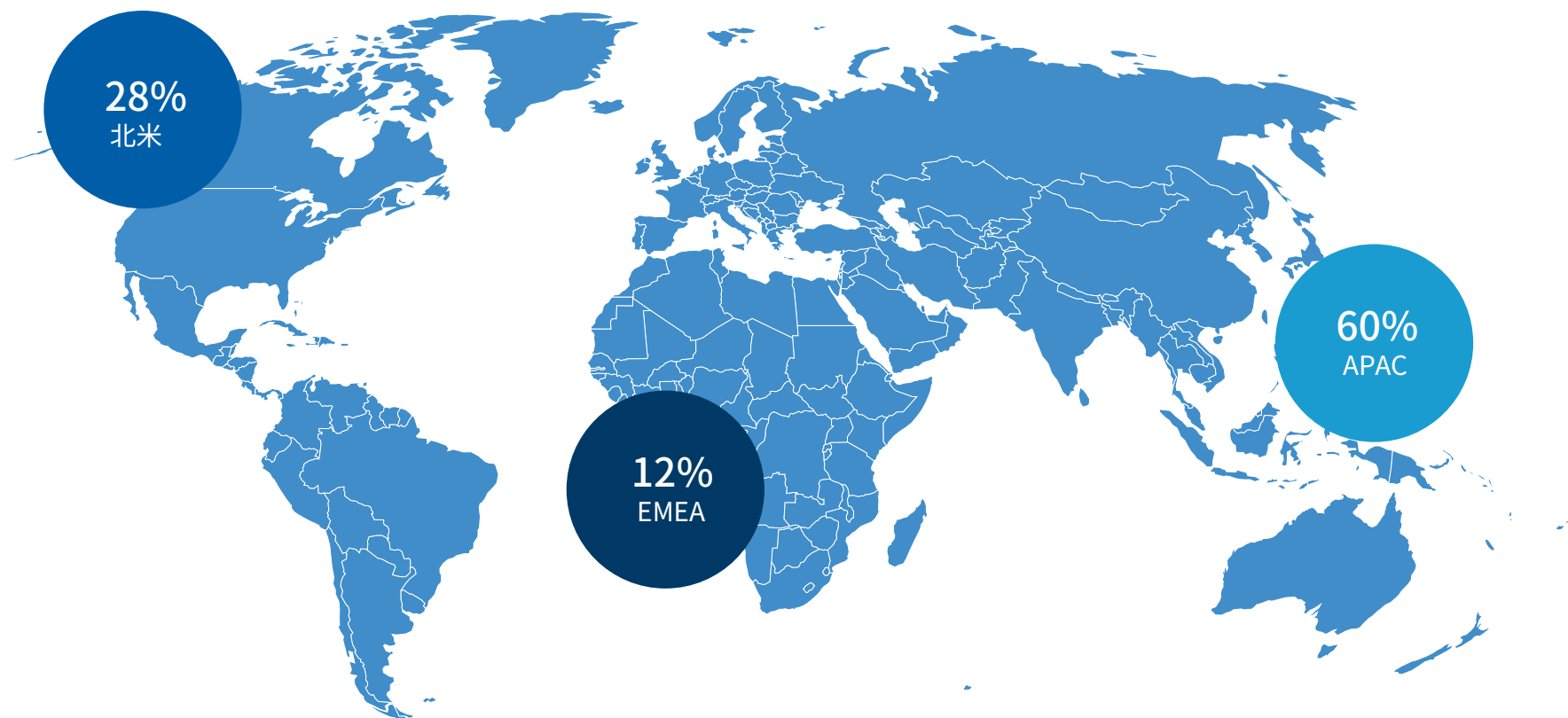
アナログ・デバイセズは、世界に良い影響を及ぼす有益な力となる責任を心に刻んでいます。当社の従業員、顧客、株主、そしてコミュニティは責任ある行動を望んでおり、それは、当社の取り組みにおける差別化要因であり続けています。

当社のESGコミットメントはその企業戦略に組み込まれており、そこには、世界中どこにいても当社の強い倫理基準に従って活動すること、当社のステークホルダーのためのプログラムと情報開示を継続的に改善すること、そして、スマートかつ多様で革新的な人材を引きつけ、維持するための世界クラスの企業文化を推進することなどが含まれています。

アナログ・デバイセズの全体的なESG戦略は、CEO戦略室内の専門家チームによって導かれています。このチームは、当社のプログラムを監督し、組織全体で連携を図り、必要に応じて変革を促します。また、ESG開示、株主および顧客エンゲージメントを主導し、報告書や規制要件の変更、およびこれらの要件がアナログ・デバイセズの事業や戦略に与える影響を監視します。アナログ・デバイセズにはESG展開のために運用化されたモデルがあり、重要なリーダーシップが関与し、対象分野の専門家が世界中でそれぞれのプログラムを推進しています。透明性、説明責任、継続的な改善に重点を置く企業文化こそが、成功の基盤となっているのです。当社のセントラルESGチームは、少なくとも四半期に一度、対象分野の専門家と会合を持ち、規制の進展およびプログラムの課題と成功について話し合い、改善のためのステークホルダーのフィードバックを共有しています。この運用化されたモデルは、作業が発生する部門内で説明責任を果たすのに役立ちます。

# 2023年度末時点の従業員データの概要

## 地域別従業員数



## 世界の管理職の性別 (%)

|            | 女性    | 男性    | ノンバイナリ |
|------------|-------|-------|--------|
| ピープル・マネージャ | 25.1% | 74.9% | 0.0%   |
| 上級職以上      | 16.9% | 83.1% | 0.0%   |
| エンジニアリング   | 21.8% | 78.1% | 0.0%   |

## 新規雇用従業員

| 世界     | 新規雇用従業員 |
|--------|---------|
| 女性     | 29.5%   |
| 男性     | 70.1%   |
| ノンバイナリ | 0.3%    |
| 不明     | 0.1%    |

## 米国における人種および民族 (%)

| 米国                | 新規雇用従業員 | 人種および民族           | 合計    |
|-------------------|---------|-------------------|-------|
| アジア人              | 33.5%   | アジア人              | 33.6% |
| 黒人                | 3.1%    | 黒人                | 2.1%  |
| 白人                | 43.8%   | 白人                | 52.0% |
| ヒスパニックまたはラテンアメリカ系 | 7.6%    | ヒスパニックまたはラテンアメリカ系 | 4.9%  |
| 他の人種              | 8.6%    | 他の人種              | 4.8%  |
| 不明                | 5.8%    | 不明                | 5.1%  |

## 賞と評価

### 2024 Carbon Clean200®

Clean200は、「エネルギー大転換」の最前線に立つ世界35か国の主要企業200社を一覧にしたものです。これらの企業は、持続可能性を製品、サービス、ビジネス・モデル、投資の中心に据えることで先導し、世界をより持続可能な軌道に乗せる推進力となっています。

### 2023 Rankings of America's Most JUST Companies by JUST Capital and CNBC

アナログ・デバイセズは、「公正な」事業を行っているかどうかという点に関して米国の株式公開企業のランク付けを行っている非営利組織JUST Capitalによって作成された、JUST 100リストに選ばれています。

### Business Intelligence Group's Sustainability Leadership Award 2023

持続可能性をビジネス慣行の不可欠な要素としている企業に授与されます。

### The Wall Street Journal's 250 Best-Managed Companies of 2023

ドラッカー研究所が創出した経営トップ250ランキングは、顧客満足度、従業員のエンゲージメントと能力開発、イノベーション、社会的責任、財務的健全性の5領域における実績に基づいて企業を評価することで、企業経営の有効性を測定するものです。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

### World's Top Female-Friendly Companies 2022 by Forbes

Forbes誌が選ぶ、職場における女性の活躍を推進する企業のリストに選出されました。

### America's Climate Leaders 2023 by USA TODAY

USA TODAYによる米国気候リーダー（America's Climate Leaders）は、市場調査会社Statistaによって創出され、ここ数年の間で二酸化炭素の排出量を削減した企業をデータに基づいて評価したものです。受賞基準には、排出原単位、排出原単位の年次削減量、カーボン・ディスクロージャー・レーティングが含まれます。

### Corporate Equality Index 2023-2024

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア（LGBTQ+）の従業員に対する方針、活動、福利厚生を評価する全国的なベンチマーク・ツールであるヒューマン・ライツ・キャンペーン財団の企業平等指数は、LGBTQ+の職場環境の改善を推進する主要な原動力となっています。

### Boston Business Journal's Largest Corporate Charitable Contributors in Massachusetts

Boston Business Journalは毎年、マサチューセッツ州で慈善活動に最も貢献した企業をランク付けしています。このリストには、2022年度にマサチューセッツ州を拠点とする慈善団体に少なくとも100,000ドルを寄付した企業が含まれています。多くの場合、提供されたデータは企業と慈善寄付団体の合計額である可能性があります。

## 加盟している組織



United Nations  
Global Compact

国連グローバル・コンパクト



持続可能な開発目標



CDP



Business Ambition  
for 1.5° C



2023年EcoVadis  
サステナビリティ  
評価（シルバー）



WEF CEO気候  
リーダーズ同盟



半導体気候関連  
コンソーシアム



責任ある企業同盟



半導体PFAS  
コンソーシアム



米国半導体工業会

# ガバナンスと監督へのアプローチ

## ガバナンス・ハイライト

アナログ・デバイセズの取締役会は、アナログ・デバイセズの戦略を監督すること、アナログ・デバイセズの戦略を実行する際にマネジメントの指導および支援を行うこと、業績を監視すること、アナログ・デバイセズに適したガバナンス活動を採用し、それをアナログ・デバイセズの戦略に沿ったものとするなど、株主の利益を代表する責任を負います。

その他の責務としては、取締役会はCEOおよびその他の執行役を指名すること、アナログ・デバイセズの業務執行のマネジメントに対する責任を委任すること、その業績を評価することが挙げられます。アナログ・デバイセズは、アナログ・デバイセズのステークホルダーの長期的な利益を実現するマネジメントが行われるためには、良い企業ガバナンスが重要であると確信しています。当社は定期的に、コーポレート・ガバナンス方針とその実践を評価し、それを他の企業のコーポレート・ガバナンスやその実践について各種関係当局から示唆されたものと比較しています。この評価および分析に基づき、アナログ・デバイスおよびステークホルダーに最も利益となると思われる、方針と手順を採用しました。

イ  
アナログ・デバイセズのガバナンス方法へのアプローチの詳細については、[2024年株主総会招集通知](#)を参照してください。

### ガバナンス方針と報告

[コーポレート・ガバナンスのガイドライン](#)

[ビジネス行動と倫理に関する規範](#)

その他のガバナンス文書は、[こちらの](#)インベスター・リレーションズ・ウェブサイトにあるコーポレート・ガバナンスのセクションに記載されています。

主なガバナンス・ハイライト<sup>1</sup>は次のとおりです

効果的な役員会のリーダーシップ、  
独立した監督、強力なコーポレート・  
ガバナンス

取締役の大部分は  
**独立取締役**

独立取締役の平均在任期は約  
**4.9年間**

**Regular executive sessions**  
独立取締役の定期的会合

**クローバック・ポリシー**  
CEOおよびその他の管理者のクローバック・  
ポリシー

**Active engagement**  
取締役会による、管理職の人材管理および  
長期的な後継者育成への積極的な対応

株主の権利と責任

**Annual election**  
取締役の年次改選

**Majority voting**  
無競争取締役選挙における取締役の多数決投票

**プロキシ・アクセス**  
bylaw

取締役会と委員会の年次  
**自己評価**

**No dual class of stock**  
デュアルクラス株式または支配株主の該当なし

## 取締役会による監督

取締役会は当社の全体的な業績を評価し、その第一の責任はアナログ・デバイスの経営を監督することであり、監督を通じてアナログ・デバイスおよびその株主が最大限の利益を確保できるよう努めることにあります。アナログ・デバイスの取締役会は、企業としての目標および戦略の検討や、重要方針および提案された大規模な企業リソース割り当ての評価と承認を行います。また、アナログ・デバイスのリスク・マネジメント・プログラムを監督し、アナログ・デバイスに大きな経済的影響を及ぼし得る決定に参加します。管理職は、定期的な書面の報告や取締役会と委員会におけるプレゼンテーションを通じて、取締役に十分な情報提供を欠かさないようにしなければなりません。更に、取締役会は、CEOの後継者育成、アナログ・デバイスの取締役を務める者の指名、および取締役会の空席を埋める者の任命に責任を負います。

## 取締役会の構成

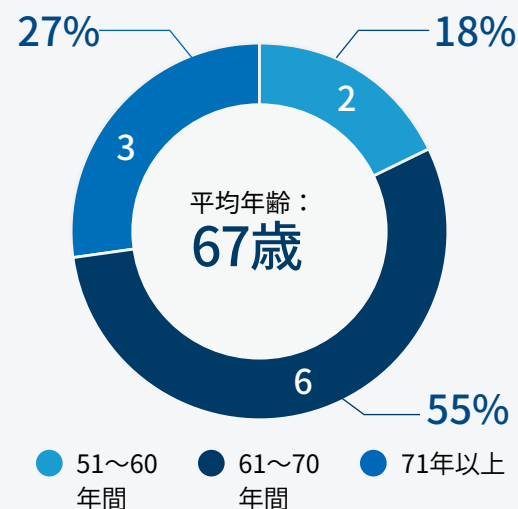
アナログ・デバイスの取締役会と指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、高い能力を備えた取締役のグループで取締役会を構成する責務を担っています。取締役には、リーダーシップに関する広範かつ総合的なスキルを有していること、アナログ・デバイスの戦略的展望、長期的目標、および業務活動に関する極めて豊富な経験、知識、能力を備えていること、そして株主の利害を効果的に代表して適格な判断を下し、健全性、誠実さ、高い倫理基準の遵守という企業価値を反映できることが求められます。

取締役の独立性、在任期間、取締役の経験および資格などを含む当社取締役会の構成および概要に関する詳細情報は、[2024年株主総会招集通知](#)をご覧ください。

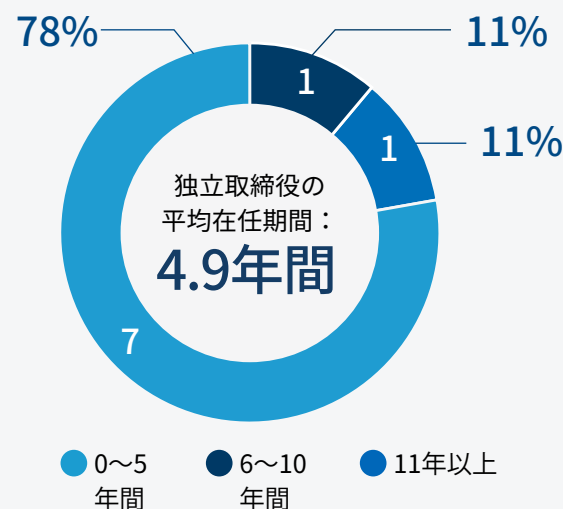
## 多様性に富む取締役会

様々な任期の取締役の存在は、経験豊富な取締役の持つ組織に関する知識を他の取締役に引き継いだり、幅広い新鮮な視点を提供したりする助けになる、というのもアナログ・デバイス取締役会の考えです。取締役会は、取締役候補者の経験、性別、および任期差の広がりなどの点で進歩を続けてきました。アナログ・デバイスの取締役の交代の詳細については、2024年株主総会招集通知を参照してください。

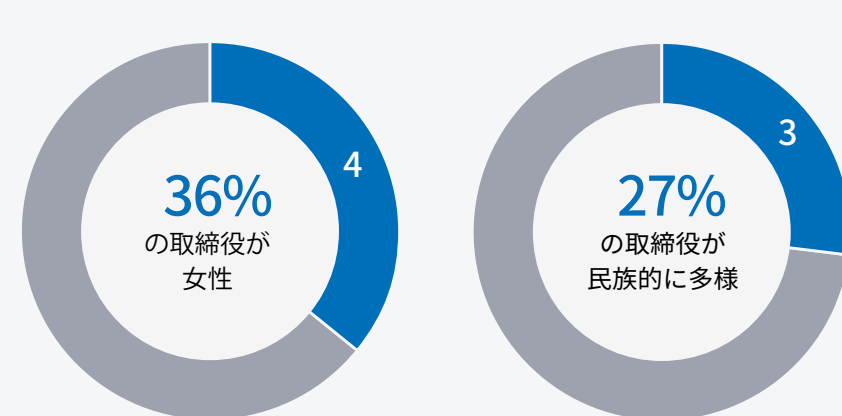
年齢<sup>1</sup>



独立取締役の在任期<sup>1</sup>



多様性<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 2024年1月19日現在

# リスクの監視

下の表に、リスクのマネージメントと監視において管理者と取締役会が果たすべき役割の概要を示します。取締役会の各委員会は、以下のとおり、委員会ごとの担当監督分野に関係するリスクの評価を行います。

| 取締役会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ・デバイスに重大なリスクをもたらし得る分野を担当する上級管理職のメンバーから、定期的な報告を受け取ります。具体的には、企業リスク・マネージメントおよびコンプライアンス・プログラムを監督し、企業リスク・マネージメント委員会の長を務めるアナログ・デバイスの最高コンプライアンスおよびリスク管理責任者が、企業リスクと経営リスクのマネージメントおよび社内の企業リスクのマネージメント・プログラムについて取締役会全員に対して定期的な報告を行うと共に、データ・プライバシーなどの重点領域について定期的に更新を行います。</li> <li>監査委員会、報酬および人材委員会、指名およびコーポレート・ガバナンス委員会から定期的な更新情報を受け取ります。これらの情報は、アナログ・デバイスがどのようなリスク・マネージメントを行うべきかについての詳細な判断材料を取締役に提供します。</li> </ul>                                         |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                      |
| 監査委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 報酬および人材委員会                                                                                                                                                                         | 指名およびコーポレート・ガバナンス委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 企業成長委員会                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ・デバイスのリスク・アセスメントおよびリスク・マネージメント・プログラム、特にアナログ・デバイス財務諸表の完全性、報告、および内部統制に適用される部分を監視します。</li> <li>内部監査関連事項については内部監査担当シニア・ディレクターから、リスク・マネージメント関連事項についてはコンプライアンスおよびリスク管理責任者から定期的に報告を受けます。</li> <li>最高情報責任者および最高情報セキュリティ責任者から、主要なITプロジェクト、企業サイバーセキュリティ・プログラム、およびそれらのリスクの軽減に関して、四半期ごとに報告を受けます。</li> <li>債務証券および持分証券発行の可能性、与信契約、その他の金融商品、投資方針、配当、株式分割、株式買い戻しを含め、資本の配分および構造について評価を行います。</li> <li>サイバーセキュリティおよび情報セキュリティ・プログラム、活動、リスク軽減の取り組みを確認します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ・デバイスの役員報酬プログラムと非役員ディレクターの報酬実務を監督します。</li> <li>人材管理に関するアナログ・デバイスの方針、戦略、プログラムを監督します。</li> <li>役員の評価、後継者育成計画、および開発プログラムを監督します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ・デバイスのガバナンス構造の妥当性、および取締役会の後継者育成計画作成過程の妥当性に関して取締役会を主導します。</li> <li>アナログ・デバイスのESGプログラムを監督します。これには、アナログ・デバイスの持続可能性イニシアチブとその目標の確認、およびそれらの目標達成に向けた進捗の確認も含まれます。</li> <li>アナログ・デバイスのコンプライアンス・プログラムを監督します。これには、プログラムの確認と承認、その有効性の監視、アナログ・デバイスのビジネス行動と倫理に関する規範に対する取締役会の監督の調整も含まれます。</li> <li>政府関係、公共政策、関連支出に関する方針および活動を監督し、定期的に確認します。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>合併、買収、売却を含む戦略的計画、取引、および投資の評価を行います。</li> </ul> |

| リーダーシップ・チームとマネージメント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログ・デバイスのエグゼクティブ・リーダーシップ・チームとCEO兼会長はリスク・マネージメントについて責任を有しており、リスク・ガバナンスは管理主導による機能横断型委員会である企業リスク・マネージメント委員会によって管理されます。同委員会は最高コンプライアンスおよびリスク管理責任者が委員長を務めます。</li> <li>アナログ・デバイスの企業リスク・マネージメント委員会は、CEO兼会長を含むリーダーシップ・チームと密接に協力してリスクを特定し、特定されたリスクの軽減を図ります。</li> <li>アナログ・デバイスの最高コンプライアンスおよびリスク管理責任者およびその他の管理メンバーは、リスクの特定、マネージメント、およびその軽減戦略について取締役会（または該当する委員会）に報告を行います。</li> </ul> |

# ESGへのアプローチ

アナログ・デバイスズでは、世界に好ましい変化を起こす原動力となること  
ができる、また、ならなくてはならないという信念を、長年にわたり持ち続  
けています。アナログ・デバイスズは、過去数年間に実現された戦略的な  
成長によって、より良い社会と健全な地球を作り出すために必要な変化を引  
き起こすリーダー的立場を、一層強力にする機会が与えられたと考えてい  
ます。

## このセクションの内容：

- 17 ESGへのアプローチ
- 18 ステークホルダーへの対応
- 20 アナログ・デバイスズの優先度と  
目標について
- 23 2023年のESGの成果

# ESGへのアプローチ

環境、社会、ガバナンス（ESG）という方針は、私たちの業務の中心になっています。その理由は、そうすることが正しいことであると確信しているからであり、また、ESGがスマート・ビジネスであるからです。誠実な企業活動、環境保護、気候変動の減速化と対策、多様性、公平性、受容性の推進などのために、経営陣と従業員の両方を含めたアナログ・デバイスズ全社で取り組む努力は、長期にわたって成長を続け利益をあげるための鍵となるものです。アナログ・デバイスズは、サステナビリティとは有益で実証可能な影響を世界に与える総合的なソリューションを提供することだと考えています。

また、ESGに関わる努力とその影響については総合的に考えており、アナログ・デバイスズ自体の事業活動、私たちが生活し業務を行うコミュニティ、そして人生と世界を豊かにするアナログ・デバイスズのソリューションもその対象に含まれています。半導体の世界的なハイブリッド・メーカーとして、環境フットプリントの削減と課題解決の誠実な履行へ向けたアナログ・デバイスズの取り組みは、その存在の中核をなすものです。アナログ・デバイスズは、社内における行動と努力が、当社のステークホルダーからの信頼と信用の基礎をなすと考えています。これらの行動は、アナログ・デバイスズのサプライヤ、請負業者、販売代理店、顧客、そして私たちが生活し業務を行うコミュニティを含むバリュー・チェーンとの間の壁を越えて広がっています。

アナログ・デバイスズが地球に与える好影響のうちで最大のもの、そのソリューションを通じて提供されます。アナログ・デバイスズの製品は持続可能性への取り組みとネット・ゼロ社会への移行の推進を支援しています。これらは、人々の体験価値とその結果を向上することを目的としています。また、強固なデータ・プライバシーとセキュリティ・コントロールの実現を促進します。アナログ・デバイスズの技術ソリューションが生活と世界を改善する方法の詳細については、[アナログ・デバイスズのソリューション](#)をご覧ください。

最後に、卓越性、信頼性、透明性はアナログ・デバイスズのESGプログラムと文化の中心をなすものです。ステークホルダー、つまり顧客、投資家、規制当局、様々な人材、そしてコミュニティとの対話は、アナログ・デバイスズをより良くするための助けとなります。このような方法での業務は受容性、理解、発見の文化を推進します。ステークホルダーとの関わりは、共有された課題について話し合い、ベスト・プラクティスを見つけ出す機会を提供します。この誠実さと透明性に基づく考え方がアナログ・デバイスズの存在の基礎となるものであり、パートナーおよびソリューション・プロバイダとしての当社の存在を差別化するものでもあります。

**卓越性、信頼性、透明性**に対するアナログ・デバイスズの取り組みは、この報告全体に織り込まれています。

アナログ・デバイスズは、そのプログラム、進捗、そして課題の現実を共有すること、自社の内部監査チームと外部の様々なステークホルダーを利用して報告に含まれるデータと主張を確認し、検証することに努めています。アナログ・デバイスズの検証プロセスの詳細については、[ここをクリック](#)してください。



## ESGの取締役会による監督

指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、アナログ・デバイスのESG方針、目標、およびプログラムの監督、持続可能性イニシアチブとその目標の確認、およびそれらの目標達成に向けた進捗状況の評価を行います。指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、掲げた目標の達成に向けた進捗状況に関する四半期ごとの報告と、ステークホルダー価値、リスクと機会、規制への対応、ESG格付け、ESGの主な焦点分野などのトピックに関する更新報告を受け取ります。

## ESGの管理職による監督

アナログ・デバイスのESG方針は、CEO、リーダーシップ・チーム、およびESG関連事項専従担当者によって主導されます。管理職は、ESGトピックに関する取締役会への報告を定期的に行い、重要な指標や進捗について最新情報を提供します。これらのESGの報告には教育的な要素も含まれており、変化の速いESG規制環境を始めとして、徐々に変化する実務的内容、リスク監視、緩和戦略、その他の関連するESGトピックについて、取締役会が常に最新の情報を得られるようにしています。

アナログ・デバイスのESGエグゼクティブ・カOUNシル（人事、調達、環境、安全衛生、法務、リスク、コンプライアンス、倫理を含む各分野の社内エキスパートで構成）は定期的に会合を持ち、プログラムの更新報告を行っています。これらの更新報告では、進捗状況、規制内容の更新、リスクなどに重点が置かれ、アナログ・デバイスのリーダーシップ・チームと取締役会における情報更新の基礎となります。

## ステークホルダーへの対応

アナログ・デバイスは、ステークホルダーへの対応がESGへの取り組みにおける重要な要素であると考えています。アナログ・デバイスは株主との関わりに加えて、従業員、顧客、株主メンバーシップ組織、地域のコミュニティ、サプライヤを含む様々なステークホルダーと関わっています。私たちはこうしたやり取りを重視し、当社の戦略立案に役立てるために情報を活用しています。

当社では継続して透明性の高いやり取りに取り組んでおり、当社のステークホルダーにとって極めて重要性の高い諸問題に継続的に焦点を置いています。そのトピックには、炭素含有量、規制へのコンプライアンス、倫理的サプライ・チェーン、レジリエンス、資源および化学物質管理、EHSプログラム、気候目標実現へ向けた進捗などが含まれています。

アナログ・デバイスは透明性の確保に取り組み、グローバル・レポート・イニシアチブ（GRI）、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）、および気候関連財務情報開示タスク・フォース（TCFD）によって開発されたフレームワークを活用して、ステークホルダーのニーズに応えるESG開示の骨格を作ることに努めています。



## アナログ・デバイスズによるステークホルダーへの対応方法



### 従業員

- ・ 上級管理職からの全社的または事業部別の定期的なメールやビデオ
- ・ 質疑応答の機会のある、管理職による対話型集会、討論、ウェビナー
- ・ パルス・エンゲージメント調査



### 顧客

- ・ すべての業界にわたるESGに関する取り組み
- ・ ビジネス・レベルおよびコーポレート・レベルでの役員との対話
- ・ 業界に応じたビジネス・リーダーシップによって推進される対応戦略



### 加盟している組織

- ・ 国連グローバル・コンパクトへの署名
- ・ レスポンシブル・ビジネス・アライアンス（RBA）、責任ある鉱物イニシアチブ（RMI）、責任ある労働イニシアチブ（RLI）のメンバー
- ・ 米国半導体工業会（SIA）のメンバーで、当社CEO兼取締役会会長のVincent Rocheが理事を務める
- ・ 国際半導体製造装置材料協会（SEMI）のメンバー



### コミュニティ

- ・ 地域コミュニティのニーズに基づいて慈善団体を支援する権利を与えられた各地のアナログ・デバイスズ事業所
- ・ アナログ・デバイスズ従業員が居住し勤務するコミュニティに貢献するアナログ・デバイスズのボランティア
- ・ 環境保護、教育機会の向上、社会変革の促進を使命として、コミュニティの変容に取り組むアナログ・デバイスズ基金
- ・ 地域機関や必要に応じたアウトリーチ活動を通じた、コミュニティや地域のステークホルダーへの関与



### サプライヤ

- ・ RBAの強力なガイダンスに基づく倫理的サプライ・チェーン・プログラムおよびサプライヤに向けた[企業の社会的責任規範](#)への取り組み
- ・ [サプライヤ倫理合意](#)
- ・ RBAオンライン・ツールを通じたサプライヤの評価



### 規制当局／政府機関

- ・ 政府関係者との「オネスト・ブローカ」の関係を追求し、協力的なウィン・ウィンの結果を追求
- ・ 規制への適合と良好な業績への取り組み
- ・ 気候変動や脱炭素化などの持続可能性目標に関わる意思決定支援への積極的関与



### 投資家／株主

- ・ 四半期収支報告を投資家に提供。当社ウェブサイトで見聴可能
- ・ 年一回の株主総会
- ・ インベスター・リレーションズ・ウェブサイト
- ・ 機関投資家およびその他の株主への定期的な対応。ガバナンス、役員報酬、ESGなど様々なトピックをカバー

株主への対応に関する情報は、[2024年株主総会招集通知](#)をご覧ください。

# アナログ・デバイスズの 優先度と目標について

## ESGに関わる優先事項の設定

ESGは、当社の組織とビジネス戦略のあらゆる側面に深く組み込まれています。アナログ・デバイスズの包括的ESGプログラムは、当社の戦略に幅広い情報や意見を反映できるように、また、適切なエキスパートとリーダーが全面的に参画できるように、CEOの戦略オフィスに属し社内横断的に関与する中核的な集中型のチームに主導されています。アナログ・デバイスズのESG戦略と優先事項の設定は、ステークホルダーへの対応、世界的な規制状況、アナログ・デバイスズの企業リスク・マネージメント（ERM）の評価プロセスと結果、およびアナログ・デバイスズ独自の願望と目標などから得られる情報に基づいて行われます。また、第三者機関によるESG評価を考慮すると共に、開示のベソト・プラクティスをベンチマーク評価しています。このタポートは、これらのステークホルダーのニーズに対応することを目的としています。アナログ・デバイスズのESGに関わる優先事項は以下の通りです。

- ・ 将来的なネット・ゼロ実現を可能にする製品の開発を含むビジネス・イノベーション
- ・ リスクの監視
- ・ サーバー・セキュリティ、データ・プライバシー、および保護
- ・ 環境サステナビリティ
- ・ 人権
- ・ サプライ・チェーンのレジリエンス
- ・ 企業文化
- ・ 採用、雇用維持、DE&Iイニシアチブ、従業員の安全衛生を含む人材管理

アナログ・デバイスズは、第三者機関の支援の下にマテリアリティ・アセスメントを行おうとしています。この試みは、アナログ・デバイスズが優先すべき重点領域を確認、あるいは追加する役割を果たします。



## ESG目標

### ネット・ゼロ

2050年、あるいはそれより早い時期までに達成

### カーボン・ニュートラル

2030年までにスコープ1およびスコープ2の温室効果ガスの絶対排出量を50%以上削減

### 100%

アナログ・デバイスズ製造施設<sup>1</sup>での再生可能エネルギー使用率 - 2025年までに達成

### 75% NEW

アナログ・デバイスズの工場からのスコープ1の温室効果ガス排出量を2026年までに削減



### 100%

アナログ・デバイスズの製造施設<sup>1</sup>における廃棄物処理方法の埋め立てからの転換率を2030年までに



### 50%

2027年までの生産実績で正規化した取水量削減率<sup>2</sup>



2027年までの生産実績で正規化した取水量削減率  
**29%に引き上げ**

世界中の女性技術者の割合を  
**26%に引き上げ**

米国における黒人、ヒスパニック系、ラテン系を合わせた従業員の割合を  
**9%に引き上げ**

2026会計年度末までに達成



## 2023年のESG目標

- ・ 透明性確保への取組みに呼応したアナログ・デバイスズの一連のESGプログラムに関する強化KPIの公表
- ・ すべての製造現場でISO14001およびISO45001認証取得を実現
- ・ ESG関連のアウトリーチを通じて顧客との関係を強化
- ・ 倫理、アプリケーション、持続可能性に関する指標を含め、アナログ・デバイスズのサプライヤ管理プログラムとスコアカード・プロセスを強化
- ・ 産業界および価値観に基づく組織への関与を通じてアナログ・デバイスズの影響を強化
- ・ 国連グローバル・コンパクト参加企業の地位を維持
- ・ EEO-1の公表、CDP気候変動調査への回答の公表、主要なESGフレームワークとの整合性確保など、透明性に関する積極的関与を継続
- ・ 新たなESG規制要件の評価と対応準備

## 2024年のESG目標

- ・ すべての製造現場でISO14001およびISO45001認証取得を維持
- ・ ESG関連のアウトリーチを通じて顧客との関係を強化
- ・ 倫理、アプリケーション、持続可能性に関する指標を含め、アナログ・デバイスズのサプライヤ管理プログラムとスコアカード・プロセスの成熟化を継続
- ・ 産業界および価値観に基づく組織への関与を通じてアナログ・デバイスズの影響を強化
- ・ 国連グローバル・コンパクト参加企業の地位を維持
- ・ EEO-1の公表、CDP気候変動調査への回答の公表、主要なESGフレームワークとの整合性確保など、透明性に関する積極的関与を継続
- ・ CSRDに適合したダブル・マテリアリティ・アセスメントの実施
- ・ 気候シナリオ計画とリスク・アセスメントを含む、包括的な気候移行計画の策定への着手
- ・ グローバルなESG規制の進展の監視および準備の継続



<sup>1</sup> 製造施設には、加工、組み立て、現地での試験を行う場所が含まれます。

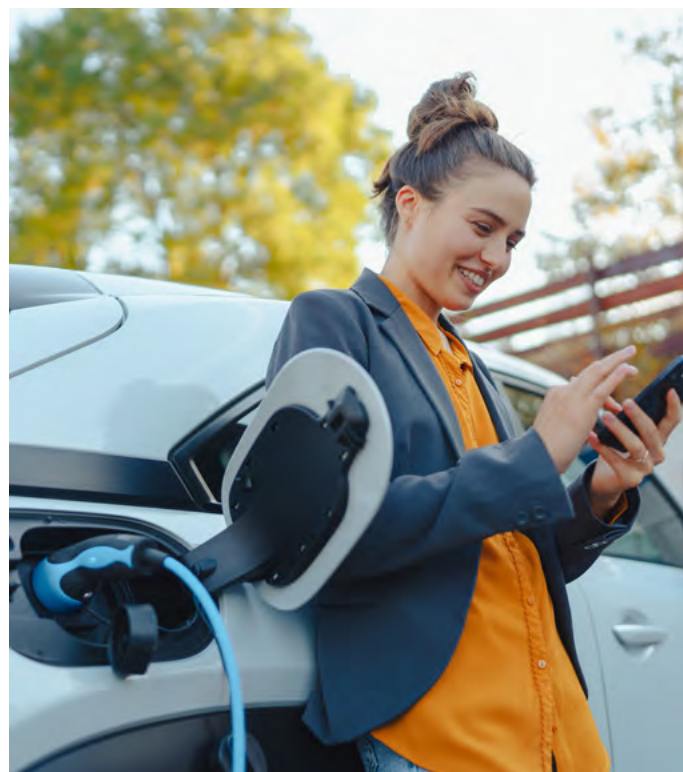
<sup>2</sup> 取水量は、2022年のベースラインを基準として計算された工場の生産実績に合わせて正規化されています。その基準と計算方法についての説明は[こちら](#)を参照してください。

## 国連の持続可能な開発目標 (UN SDGs)

### アナログ・デバイスズの戦略および持続可能性に関する優先順位とUN SDGsとの整合性

UN SDGsは、気候変動への対策、ヘルスケアの普及、不平等の削減など、世界が直面している最も緊急の課題に対処するグローバルな行動計画です。当社は、このグローバル・イニシアチブの重要性と緊急性を認識しており、アナログ・デバイスズがインフラストラクチャを拡大し、生活の質を向上し、グローバルな開発を持続可能な形で推し進めることに重要な役割を担っていることを確信しています。

アナログ・デバイスズは、2020年以降、国連グローバル・コンパクトの加盟企業であり、以下のUN SDGsおよび当社の戦略と持続可能性に関する優先順位との間で緊密な整合性を確保しています。



#### 良好な健康と福祉

当社の技術は、バイタル・サイン・モニタリング、医療用画像処理、医療用計測器、および疾病管理と健康維持を通じて、個人の健康と福祉に影響を及ぼしています。



#### 手頃な価格のクリーン・エネルギー

当社は、エネルギー効率を向上するプログラムを展開し、2025年までに全製造サイトで100%再生可能エネルギーを達成することに関連した野心的な目標を設定しています。

当社の技術は、電気自動車、エネルギー貯蔵システム、データ・センター、5Gネットワーク、産業用オートメーションなど、幅広いアプリケーションで進歩を可能にします。



#### ディーセント・ワークと経済成長

当社は、すべての人に対して安全な職場環境を提供することに取り組んでいます。

アナログ・デバイスズは、すべての人の人権を保護し、従業員が敬意と品位を持って扱われ、人間らしい作業環境で働けるようにすることに取り組んでいます。



#### 産業、イノベーション、インフラストラクチャ

当社の技術は、ファクトリ・オートメーション、安全、効率などを含むインダストリー4.0の適用と拡大に影響を及ぼします。



#### 持続可能な都市やコミュニティ

輸送とスマート・ビルディングは、都市やコミュニティを、受容的かつ安全で回復力があり、持続可能なものにするための、2つの重要な手段です。当社の技術は、自動車の電化を可能にすることで人の移動方法に影響し、また、電気をつなぐ電力グリッドの最新化に影響します。更に、インテリジェントなビル管理システムを可能にすることで人の働き方にも影響します。



#### 気候変動への対処

アナログ・デバイスズは、持続可能性をすべての活動に組み込むよう努めています。当社は、環境への影響を最小限に抑えるために、気候とエネルギー、水、廃棄物の3つの領域に焦点を置いています。

# 2023年のESGの成果

ステークホルダーに対する正確かつ透明性を備えた情報開示への取り組みの一環として、以下のページでは、一般に公開されているアナログ・デバイスのESG指標と重要業績評価指標（KPI）を項目別に示します。該当する場合は、確認されている社会的課題に対処する助けとするために、対応するUN SDGsを示しています。

| KPIと定義                                                                                           | 2022年の値 | 2023年の値 | 対応するUN SDG                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 多様性、公平性、受容性                                                                                      |         |         |                                                                                                                                                                                                                          |
| 世界の女性技術者 <sup>1</sup><br>会計年度（FY）                                                                | 18.5%   | 22%     | <div><div>5</div><div>GENDER<br/>EQUALITY</div></div> <div><div>8</div><div>DECENT WORK AND<br/>ECONOMIC GROWTH</div></div> <div><div>10</div><div>REDUCED<br/>INEQUALITIES</div></div>                                  |
| 世界の女性管理職<br>FY                                                                                   | 25%     | 25%     |                                                                                                                                                                                                                          |
| 米国における黒人、ヒスパニック、ラテン系従業員<br>FY                                                                    | 7%      | 7%      |                                                                                                                                                                                                                          |
| 従業員データ                                                                                           |         |         |                                                                                                                                                                                                                          |
| 合計従業員数<br>暦年（CY）、アナログ・デバイセズの総従業員数                                                                | ~24,450 | ~26,000 | <div><div>5</div><div>GENDER<br/>EQUALITY</div></div> <div><div>8</div><div>DECENT WORK AND<br/>ECONOMIC GROWTH</div></div> <div><div>10</div><div>REDUCED<br/>INEQUALITIES</div></div>                                  |
| 世界の総従業員数に占める女性従業員のパーセンテージ<br>CY - 世界の総従業員数に占める女性従業員のパーセンテージ                                      | 41%     | 39.5%   |                                                                                                                                                                                                                          |
| 安全衛生                                                                                             |         |         |                                                                                                                                                                                                                          |
| 記録可能な怪我と疾病の率<br>FY - 傷病の年間件数、OSHAの記録基準に従って記録された就労時間数が年間200,000時間になる従業員100名を<br>基本に計算             | 0.26    | 0.16    | <div><div>3</div><div>GOOD HEALTH<br/>AND WELL-BEING</div></div> <div><div>8</div><div>DECENT WORK AND<br/>ECONOMIC GROWTH</div></div> <div><div>16</div><div>PEACE, JUSTICE<br/>AND STRONG<br/>INSTITUTIONS</div></div> |
| 労働損失日数の率<br>FY - 傷病によって就労できなかった日数、OSHAの記録基準に従って記録された就労時間数が年間200,000時間<br>になる従業員100名を基本に計算        | 0.16    | 0.12    |                                                                                                                                                                                                                          |
| 重大な影響をもたらす怪我<br>FY - 業務に関連する怪我で死亡に至ったケース、または怪我をする前の健康状態に6カ月以内に回復できない、<br>または回復しない、あるいは回復が望めないケース | 10      | 4       |                                                                                                                                                                                                                          |
| 死亡<br>FY - 1年間に業務関連で死亡した従業員と臨時雇用従業員の数                                                            | 0       | 0       |                                                                                                                                                                                                                          |
| ISO 14001適合事業所<br>CY - ISO 14001の認証を受けた製造施設の数                                                    | 9/9     | 9/9     |                                                                                                                                                                                                                          |
| ISO 45001適合事業所<br>CY - ISO 45001の認証を受けた製造施設の数                                                    | 6/9     | 9/9     |                                                                                                                                                                                                                          |
| 罰金を伴う違反の通知<br>FY - 環境、健康、安全に関わる違反行為のために規制当局から発行された罰金を伴う書面の違反通知件数                                 | 1       | 1       |                                                                                                                                                                                                                          |

<sup>1</sup> この数値には、総合職としての女性技術者数確認方法に対する調整が反映されています。この計算と将来的な計算における人数の確認には、総合職に関する国別の定義ではなく、内部的な職級分類が使われます。この調整により一貫性と正確性が向上します。

| KPIと定義                                                                                    | 2022年の値                              | 2023年の値                              | 対応するUN SDG                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 排出量                                                                                       |                                      |                                      |                                                                                                                                                                                       |
| スコープ1 GHG排出量<br>CY- アナログ・デバイセズの業務により直接排出されたGHGの量                                          | 176（1000トンCO <sub>2</sub> e<br>単位）   | 138（1000トンCO <sub>2</sub> e<br>単位）   | <div><div>3GOOD HEALTH AND WELL-BEING</div><div>12RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION</div><div>13CLIMATE ACTION</div><div>14LIFE BELOW WATER</div><div>15LIFE ON LAND</div></div> |
| スコープ2 GHG排出量<br>CY- 電気の使用による間接的なGHG排出量、市場ベース                                              | 149（1000トンCO <sub>2</sub> e<br>単位）   | 140（1000トンCO <sub>2</sub> e<br>単位）   |                                                                                                                                                                                       |
| スコープ3 GHG排出量 <sup>1</sup><br>CY- アナログ・デバイセズのスコープ1およびスコープ2分類に含まれていないその他の間接GHG排出量           | 2,654（1000トンCO <sub>2</sub> e<br>単位） | 2,343（1000トンCO <sub>2</sub> e<br>単位） |                                                                                                                                                                                       |
| エネルギー <sup>2</sup>                                                                        |                                      |                                      |                                                                                                                                                                                       |
| 天然ガス暖房消費量<br>CY- 熱を発生させるための燃料の消費量                                                         | 103 GWh                              | 104 GWh                              | <div><div>7AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY</div><div>8DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH</div><div>12RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION</div><div>13CLIMATE ACTION</div></div>           |
| 合計使用電力量<br>CY- 合計使用電力量                                                                    | 583 GWh                              | 604 GWh                              |                                                                                                                                                                                       |
| 非再生可能電力<br>CY- 非再生可能電力購入量                                                                 | 271 GWh                              | 252 GWh                              |                                                                                                                                                                                       |
| 再生可能電力 - 直接<br>CY- 直接調達による再生可能電力（現場発電、PPA、グリーン・タリフ等）                                      | 266 GWh                              | 225 GWh                              |                                                                                                                                                                                       |
| 再生可能電力（EAC）<br>CY- 分離型環境属性証明書の購入による再生可能電力                                                 | 44 GWh                               | 126 GWh                              |                                                                                                                                                                                       |
| 水 <sup>2</sup>                                                                            |                                      |                                      |                                                                                                                                                                                       |
| 取水量（生産量基準） <sup>3</sup><br>CY- 任意の目的に使用するために地表水、地下水、海水、または第三者から年間を通じて調達した水の合計量を生産量で正規化した値 | 0.28米ガロン/cm <sup>2</sup><br>Si/ML    | 0.27米ガロン/cm <sup>2</sup><br>Si/ML    | <div><div>6CLEAN WATER AND SANITATION</div><div>12RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION</div></div>                                                                                  |
| 取水量（収益基準）<br>CY- 任意の目的に使用するために地表水、地下水、海水、または第三者から年間を通じて調達した水の合計量を収益で正規化した値                | 0.08米ガロン/USD                         | 0.07米ガロン/USD                         |                                                                                                                                                                                       |
| 取水量（地表水）<br>CY- 氷床、氷冠、氷河、氷山、湿地、沼、湖、川、水路などの形で地球表面上に自然に存在する水の取水量                            | 0米ガロン                                | 0米ガロン                                |                                                                                                                                                                                       |
| 取水量（地下水）<br>CY- 地下に形成された空間に存在する水の取水量                                                      | 400万米ガロン                             | 260万米ガロン                             |                                                                                                                                                                                       |
| 取水量（海水）<br>CY- 近海または遠海からの取水量                                                              | 0米ガロン                                | 0米ガロン                                |                                                                                                                                                                                       |
| 第三者からの調達水量<br>CY- 複数の水供給業者からの調達水量                                                         | 9億5800万米ガロン                          | 9億18000万米ガロン                         |                                                                                                                                                                                       |
| 水リサイクル量<br>CY- リサイクルまたは再利用しない限り追加的な取水が必要となるような目的のためにリサイクルまたは再利用した水の合計量                    | 11億8600万米ガロン                         | 10億9800万米ガロン                         |                                                                                                                                                                                       |

<sup>1</sup> 温室効果ガス・プロトコルに定義されたカテゴリ1から9までを含みます。アナログ・デバイスズの製品は中間製品であり、多くの下流側アプリケーションに使われる可能性があるので下流側カテゴリ10～12は除いています。2022年のスコープ3の数値は、2024年に方法論の改善を反映して調整されました。詳細は、[こちら](#)を参照してください。

<sup>2</sup> アナログ・デバイスズの製造施設（加工、組み立て、試験を含む）向け。

<sup>3</sup> 取水量は工場の生産実績に合わせて正規化されます。その基準と計算方法についての説明は[こちら](#)を参照してください。

| KPIと定義                                                                                                                                 | 2022年の値          | 2023年の値          | 対応するUN SDG                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>排水量</b><br>CY - 将来使用する予定がなく、地表、地下、海に放出するか、第三者に委託した廃水、使用済みの水、および未使用の水の量                                                              | 6億6900万米ガロン      | 7億100万米ガロン       |                                                                                                                                                                                         |
| <b>水消費量</b><br>CY - 取水されて製品に組み込まれた水、廃水となった水、蒸発または何らかの形で放出された水、もしくは他の用途に供せない程度まで汚染された水の合計量。したがって、これらの水が地表、地下、海に放出されたり、第三者に委託されたりすることはない | 2億9300万米ガロン      | 2億2000万米ガロン      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>廃棄物<sup>1</sup></b>                                                                                                                 |                  |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>合計廃棄物量</b><br>CY - 発生した廃棄物の量。ここで、廃棄物の定義は発生時点における当該国の法律に従う                                                                           | 5,228トン          | 5,745トン          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>合計非有害廃棄物量</b><br>CY - 当該国の法律によって有害とは見なされない廃棄物の合計量                                                                                   | 3,751トン          | 4,265トン          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>非有害廃棄物の合計リサイクル量</b><br>CY - リサイクル、再利用、または再生された非有害廃棄物の合計量                                                                            | 2,285トン          | 2,214トン          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>非有害廃棄物の合計埋立て量</b><br>CY - 埋立て処理された非有害廃棄物の合計量                                                                                        | 493トン            | 242トン            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>合計有害廃棄物量</b><br>CY - 当該国の法律によって有害と見なされる廃棄物の合計量                                                                                      | 1,477トン          | 1,480トン          |       |
| <b>有害廃棄物の合計リサイクル量</b><br>CY - リサイクル、再利用、または再生された有害廃棄物の合計量                                                                              | 373トン            | 223トン            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>埋立て処理された有害廃棄物の合計量</b><br>CY - 埋立て処理された有害廃棄物の総量                                                                                      | 14トン             | 9トン              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>慈善活動</b>                                                                                                                            |                  |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>コミュニティ助成金</b><br>FY - 基金から慈善団体に提供された助成金                                                                                             | \$800,000        | \$510,000        |       |
| <b>従業員の寄付と基金からのマッチング・ギフト</b><br>FY - 従業員の寄付およびボランティア活動時間と、基金からのマッチング・ギフトの組合わせ                                                          | \$2,000,000      | \$2,200,000      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>従業員のボランティア活動時間</b><br>FY - 従業員から報告されたボランティア活動時間数                                                                                    | 5,000時間以上        | 14,500時間以上       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>支援した組織の数</b><br>FY - 基金が支援を行った各種慈善団体の数                                                                                              | 900以上            | 1,300以上          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>影響を受けた国</b><br>FY - 基金がコミュニティ助成金の提供、寄付、ボランティア活動を行った国の数                                                                              | 20               | 18               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>2023年度決算の概要</b>                                                                                                                     |                  |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>収益</b>                                                                                                                              | \$12,013,953,000 | \$12,305,539,000 |                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <b>研究開発費</b>                                                                                                                           | \$1,700,518,000  | \$1,660,194,000  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <b>収益に対する比率で表した設備投資額</b>                                                                                                               | 5.8%             | 10.3%            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

<sup>1</sup> アナログ・デバイスズの製造施設（加工、組み立て、および／または試験を含む）向け

# アナログ・デバイスズの ソリューション

現実の世界とデジタル世界の橋渡しをする強力な基盤を持つアナログ・デバイスズは、オートモティブ、産業、通信、デジタル・ヘルスケア、コンスーマなどアナログ・デバイスズの主要マーケットでイノベーションを推進できる独自の位置にいます。

## このセクションの内容：

- 30 ソリューションの影響
- 31 エネルギー効率、安全性、レジリエンスのためのオートメーション
- 33 より持続可能な世界のための電化
- 35 グローバル・コミュニティのためのコネクティビティ
- 38 ヒューマン・ヘルスをより身近に

# アナログ・デバイスの ソリューション

「情報の目的は知識を得ることではありません。正しい行動を取れるようになることです。」

— Peter F. Drucker、経営コンサルタント

## 私たちの世界を知る

私たちの世界にポジティブな影響をもたらすには、まずは理解しなければいけないことがあります。病気と闘うためには、病原体の発生源や感染経路を理解しなければなりません。気候変動に対処するためには、エネルギー消費と排出量を理解しなければなりません。効率を最適化するためには、無駄な部分を理解しなければなりません。従来こうした情報は、人々が利用可能なツールを最大限に活用しながら、長い時間をかけて分析することによって導き出されてきました。

今日のデジタル時代では、人々がかつてないほどよりスマートかつ効率的に取り組んでいるおかげで、より大きな成果が得られています。

アナログ・デバイスでは、精密センシング技術を活用し、より広範で正確かつ即時性のあるデータ・セットを生み出しています。そして今度はこのデータが、物質的世界に対する私たちの理解を絶えず深めることに役立つのです。正確なデータと洞察力によって推進されたイノベーションは、私たちの世界、コミュニティ、そして生活を支え、豊かにする飛躍的な進歩の中核です。

イノベーションの限界を押し広げるという当社の取り組みは、アナログ・デバイスの及ぼす影響が、あらゆる場所で感じられることを意味します。

## 高品質なデータを原動力に

世界中でますます多くの高品質なデータへのアクセスができるようになることで、行動可能な洞察を行う能力が高まっています。

- 睡眠パターン
- 熱感知
- バッテリー使用
- エネルギー消費
- 血糖値
- 心拍数
- 産業パフォーマンス

豊富なリアルタイム・データにより、当社の顧客が抱える課題がヒューマン・ヘルスまたは産業の持続可能性に関わるものであっても、それらをより完全に解決する手助けが可能となります。

## 安全



## 健康



## アクセス



## サステナビリティ



## 真の問題に、真のソリューションを

アナログ・デバイスの長年にわたる人々や地球に対する献身的な取り組みと、画期的な技術革新とを組み合わせることで、当社は前向きな変化への推進役として位置づけられます。

私たちは、より良い社会とより健康な地球を実現するために必要なソリューションの推進に専念しています。当社の目標には、安全、健康、アクセス、サステナビリティに関する前向きな進歩の推進が含まれますが、これに限定されるものではありません。

アナログ・デバイスは、この取り組みを通じて、責任ある世界市民としてだけでなく、世界中のあらゆる業界における何千もの顧客と何百万人ものエンド・ユーザーにとってのビジネス・パートナーとしても、その存在を際立たせています。

## 新しいデジタル時代における機会

AIや機械学習が台頭し、世界中のテクノロジーは急速かつ著しく拡大しています。これらは私たちの住む世界を根本的に再構築するものです。

今こそ、企業や業界は、より前向きな影響をもたらす模範となる存在となる必要があります。顧客、パートナー、従業員、そしてコミュニティは、気候変動、医療提供、公平性といった、社会の喫緊の課題を解決するためのイノベーションを推し進めることを企業に求め、そして期待しています。

この新しいデジタル時代において、人々と機械の互いへの関わり方に抜本的な変化が起こっています。テクノロジーの使用は、家庭、職場、余暇など、私たちの生活のほぼすべての側面に影響を与えています。この変化は、ヘルスケアや通信、金融、製造業に至るまで、様々な業界に革命をもたらしており、輸送や医療ケアの提供などにも大きな変化が見られます。

2027年までに生み出されるデータの量は180ゼタバイトを超えると予測されています<sup>1</sup>。データが持つ無限のグローバルな広がり、人類に大いなる希望を与えるでしょう。そして、その劇的な成長に伴い、データの伝送方法、アクセス方法、そして保存方法が新たな注目を集め、インテリジェント・エッジの重要性が高まっています。

**「世界で最も価値のある資源は、もはや石油ではない。データである。」<sup>2</sup>**

データの世界における新たな可能性には、しかしながら、データの使用方法、伝送方法、保存方法、そしてデータの取り扱いに関するリスクと責任が伴います。ここで重要となるのが、より関連性が高くタイムリーなデータが急増する中から、実行可能な洞察を学習し、それらを引き出すことです。つまり、そうすることで、私たちのフットプリントを管理し、データの有効性を最大限に引き出し、ストレージ、エネルギー、処理コストを削減する機会が提供され、同時に、それが顧客の抱える複雑な問題の解決を支援することに繋がるのです。

<sup>1</sup> 「Volume of data/information created, captured, copied, and consumed worldwide from 2010 to 2020, with forecasts from 2021 to 2025.」 Statista.

<sup>2</sup> 「The world's most valuable resource is no longer oil, but data, 2017.」 The Economist.

## 人と地球への取り組み

世界情勢が急速に変化する中で、人類、顧客、そして地球の進化するニーズに応えるために、私たちは機敏でなければいけません。そのためには、透明性、信頼性、そして進歩を実証する明確なマイルストーンと共に、インパクトを与えることへの深いコミットメントが必要です。アナログ・デバイセズの顧客、コミュニティ、およびステークホルダーは、当社が責任を持って事業に従事し、環境サステナビリティのトレンドの一步先を行き、多様性、公平性、および受容性を優先することを期待しています。

イノベーションとテクノロジーが急速に進むにつれ、顧客やコミュニティが直面する課題も同様に、急速に変化しています。アナログ・デバイセズは、ポジティブな影響をもたらすアプリケーションやソリューションを、顧客と協力して開発することを目的として、課題解決に向けた取り組みをリードします。更に、当社の責任ある事業運営は、当社のブランドやエンド・ユーザの購入意思決定を左右するだけでなく、社会や地球での生活にも直接的な影響を与えます。

「データ管理を主導する団体の60%以上が、2026年までに環境サステナビリティに焦点を当てるようになるでしょう。」

— ガートナー データ&アナリティクス サミット

私たちは、日々の生活に活力を与えるテクノロジーのイノベータとして、模範基準の確立を目指しています。業界全体で、顧客がより持続可能で責任ある活動を採用できるよう支援します。そうすることで、顧客とパートナーは、バリュー・チェーン全体により大きな影響を与えることができるようになります。アナログ・デバイセズのソリューションは、全体的な業務排出量の削減、エネルギー効率の向上、環境への影響を監視するための洞察をリアルタイムでより多く取得するのに役立ちます。

当社の長年の経験と専門知識を活用することで、様々な業界の顧客が複雑性を軽減し、イノベーションを促進できるよう支援します。当社は世界中で125,000社を超える顧客を抱えており、その影響力は計り知れません。

## インテリジェント・エッジの実現

「インテリジェント・エッジの本質は、意思決定が必要な場所やタイミングにおいて、データや知見をテクノロジーによって利用可能にすることです。」

— Vincent Roche、CEO、アナログ・デバイセズ

インテリジェント・エッジは、物理的世界とデジタル世界が出会う場所であり、センサーや環境といった情報源に、インテリジェンスや処理能力を付加するものです。より簡単に言えば、スマートフォンを使って自宅の暖房システムを制御するようなものです。つまり、スマートフォンをタップするという物理的なアクション（物理的世界）が、温度を調整するデジタル指令（デジタル世界）と相互作用するということです。この相互作用が、インテリジェント・エッジで起こります。

リアルタイムの応答性、エネルギー消費量の削減、最小限のレイテンシ、コスト効率性によって駆動されるこの変化が、即時性のあるシステムの感知、解釈、通信、学習、行動を可能にします。顧客は現在、アナログ・デバイセズのような、アナログ分析、デジタル分析、およびソフトウェア分析とセンシング・ポイントをインテリジェント・エッジで融合させることができる企業を探し求めています。アナログ・デバイセズは、インテリジェント・エッジのイノベータとして、重要なインテリジェンスを当社の技術に統合することで、大きな影響を与えています。



### 持続血糖値モニタリングが命を救う

現在では、血糖値のルーティン・チェックをスマートフォンでモニタし、リアルタイムで医師に送信することができ、インスリン注射、食事、その他の対応の要否について診断を受けることができます。持続血糖値モニタリングは、重度の低血糖発作のリスクを全体で60%削減します<sup>1</sup>。ソフトウェアを追加で使用することで、両親、教師、医療従事者など、他の人にも通知することができ、迅速な対応を確実なものにします。持続血糖値モニタリングは、即時性のある介入と予防に不可欠な進歩をもたらすと同時に、その他の診断情報や利点も提供します。

AI、処理、セキュリティにおける技術革新を継続することにより、インテリジェント・エッジはデータを迅速に実用的な情報に変換し、病気の蔓延の抑制、機械故障の予測、配電網の停電防止に役立ちます。更に、エッジでの処理は、長距離のデータ伝送の必要性を最小限に抑えることで、エネルギーを節約します。工場の協働ロボットの動きを制御するアプリケーションなどでは、0.25秒の遅延さえ許容できず、潜在的な危険となるため、本質的にレイテンシが低いことは極めて重要です。最後に、インテリジェント・エッジのセキュリティは、個人データやミッション・クリティカル・システムの保護を助けるために、あらゆるシステム・レベルで設計される予定です。

<sup>1</sup> 「Reducing Inpatient Hypoglycemia in the General Wards Using Real-time Continuous Glucose Monitoring。」 American Diabetes Association.

## ソリューションの影響

「今日のニーズを満たすだけでなく、明日の課題を予測するソリューションをお届けするために、私たちはテクノロジーの限界に挑み続けています。」

— Gregory Bryant、プレジデント、ADIビジネス・ユニット

### 当社の事業を支える柱

当社は、半導体業界におけるグローバル・リーダーとして物理的世界とデジタル世界の橋渡しとなり、インテリジェント・エッジにおける飛躍的な進歩を実現します。アナログ、デジタル、ソフトウェアの各技術を組み合わせてソリューションに落とし込み、オートメーション、電動化、コネクティビティ、ヒューマン・ヘルスの向上を推進しています。

これらは当社の事業を支える柱であり、顧客だけでなく、顧客の取引先にとっても重要となります。

#### オートメーション



#### 電気化

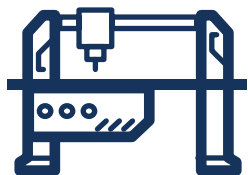


#### コネクティビティ



#### ヒューマン・ヘルス





## エネルギー効率、安全性、レジリエンスのためのオートメーション

「製造業者がエネルギー効率の目標を達成し、生産性を向上させる上で、オートメーションは変革をもたらす要因となり得ます。」

— Fiona Treacy、マネージング・ディレクタ、アナログ・デバイス

アナログ・デバイセズの顧客にとって、オートメーションは、効率の向上、人間とロボットの協働環境における安全の強化、そして柔軟性と経済的レジリエンスの向上を実現する鍵となります。コネクティビティ、変換、制御を通じ、インテリジェント機能を使って物理的世界とデジタル世界をつなぐ技術は、リアルタイム・データから引き出される保全情報に基づくエネルギー効率の良い業務を可能にします。

産業分野が世界のエネルギーの約40%を消費している事実を踏まえると、コスト削減とネット・ゼロ排出の実現には新たな効率化が不可欠です<sup>1</sup>。

産業用ビルや工場のマネージャは、重要な局面に直面しています。技術的に要求の厳しい施設において、重要な安全対策を維持しながら、野心的なエネルギー効率化目標を達成するにはどうすれば良いのでしょうか。これらの向上を実現するには、資産、システム、プロセス全般を通じて性能を調節しながら、制御、接続、変換を行うことのできる装置が必要になります。アナログ・デバイセズは、エネルギー使用量を最小限に抑えることを可能にする産業オペレーションの制御を目的としたソリューションによって、この問題に対処しています。

経済的成長、サプライ・チェーンのレジリエンス、パーソナライズされた製品の提供を維持しながら、より良い形で社会のニーズに応える上で、オートメーションは極めて重要です。アナログ・デバイセズの業界をリードするイノベーションとテクノロジーは、工場の生産現場や生産プラントの生産性を向上させ、柔軟な製造を可能にし、材料やエネルギーの消費量を削減するための、インテリジェント機能に基づく情報を生み出します。信頼できるアドバイザーとして、私たちはソリューションを共に実現し、デジタル・トランスフォーメーションを可能にし、より持続可能な産業の未来を築きます。

- **エッジおよび企業データへのトランスペアレントなアクセス：**アナログ・デバイセズは、産業用イーサネット組み込みスイッチと物理層デバイスを統合するADI Chronous™といった、幅広いソリューションを提供します。これらのソリューションは、10Mbpsから1Gbpsまでの標準イーサネット速度をサポートし、単一のイーサネット・ペアを使用した長距離コネクティビティのための新しい10BASE-T1L技術を導入しています。特に、物理層デバイスは低レイテンシと低消費電力を特徴としており、ネットワーク全体で同期信号を必要とするアプリケーションにとって重要です。
- **産業用オペレーションの高精度な制御：**アナログ・デバイセズは、電流と電圧の検出、堅牢な絶縁、パワー・マネージメント、および高度なモーション・コントロール用のコネクティビティを統合したシグナル・チェーン・ソリューションを提供します。これらは、効率性を向上し、25%の省エネを実現するスマート可変周波数ドライブを可能にします<sup>2</sup>。ADI Trinamicは、医療機器やロボット工学のような様々なアプリケーションにおいて、信頼性と静かな動作音で知られる高精度モーション・コントロール・ソリューションを実現します。サーボ・コントローラと先進的なランプ・ジェネレータは、高精度なポジショニングとオートメーションをサポートしており、進化する産業プロセスにとっては不可欠なものです。
- **初期の機器健全性インジケータ：**アナログ・デバイセズのエッジ・センシングおよびマルチモーダル高精度測定プラットフォームはエッジAIと統合され、詳細なパラメトリック情報を提供し、アセット状態監視のための実用的な診断を実現するように設計されています。エッジAIを活用することで、当社のテクノロジーはデータをその発生源で直接処理することができ、リアルタイムでの意思決定能力を強化し、レイテンシを削減します。これにより、作業パフォーマンスが向上するだけでなく、大幅なエネルギー消費量の削減と環境に与える影響の軽減も実現します。



<sup>1</sup> 「How electrification can help with net zero.」 World Economic Forum.

<sup>2</sup> 「Let's talk about saving energy.」 ABB.

## 当社の影響力

こうしたオートメーションにおける進歩は、アナログ・デバイスが開発した革新的なテクノロジーにますます依存しつつあります。アナログ・デバイセズの包括的な検出機能、測定、コネクティビティ、パワー・マネジメント、サイバーセキュリティの一連のソリューションは、効率性、信頼性、持続可能性を推進する現代の産業システムの基盤を提供します。



### 人間とロボットの協働と 環境ナビゲーション

人間と協力しながら働く協働ロボット（コボット）は、生産性を向上させ、出力品質を一定に保つように設計されています。革新的なビジョンセンシング技術と高度なアルゴリズムを採用することで、アナログ・デバイセズはより効率的な運用とより安全な工場の生産現場を実現します。安全ケージや安全カーテンを取り除くことで、生産現場のスペースを最適化すると同時に、システムの再構成をよりシンプルかつ迅速に行うことができます。

アナログ・デバイセズの3D Time of Flight (ToF) モジュールは、慣性計測ユニット (IMU) やLidar技術と共に、ロボット・システムのリアルタイム認識を有効にするように設計されています。このセンサー・フュージョンにより、ロボットの周囲環境に対する認識が向上します。また、搬送ロボットの場合、動的に変化する環境の中であっても、周囲環境や人間の作業者を安全に理解し、相互作用することができます。

### 効率的なモータによる生産性の向上と カーボン・フットプリントの削減

環境保護の手助けをするためには、私たちが使用するエネルギー1ジュール当たりの生産量を増やす必要があります。可変速ドライブをモータに組み合わせることで、モータのフル稼働を継続するのではなく、効率的な生産に必要なとされる最適な速度で稼働させることができます。これにより、効率的なモータ稼働が実現され、エネルギーの無駄を減らして生産性を向上させることができます。

電動モータは、ポンプ、ファン、圧縮空気システム、マテリアル・ハンドリング、処理システムなどを駆動させるため、産業用電力消費量の約70%を占めています<sup>1</sup>。市場に出回っているモータの約60%は10年以上前の旧型であり、最近の製品よりも低効率です。モータの所有にかかる総コストの96%が消費エネルギーをベースとするものと推定されており、先進的なモータ技術が次第に採用されるようになっていきます<sup>1</sup>。

### データ・セキュリティ

現在、インテリジェント・エッジにおけるアクセスとコンピューティングの増加により、進化するセキュリティの脅威に対応することがますます難しくなっています。また、AIやその他のテクノロジーが採用されることにより、より高度な攻撃が増える可能性もあります。

**何が必要か：**ギャップを迅速に識別し、セキュリティ・テクノロジーを適用することで、急速に進化する脅威の状況に対応するセキュリティ・テクノロジーを適用する能力。セキュリティ標準、認証、オープンソース・リソース、および運用上の俊敏性を実装することで、技術者は、セキュリティ上の課題への対処に必要とされる信頼性と実用的なツールを獲得することができます。

- ・ **財務。** 人々の財務面での安全性を保護し、商取引を改善するために、銀行端末には高度なセキュア認証用ICが必要です。
- ・ **医療。** 患者のケアに利用されるセキュア認証用ICは、ケアへのアクセスを改善し、遠隔ケアのための診断やアプリケーションを強化するために必要です。
- ・ **オートモーティブ。** 車両内のマイクロコントローラを保護するために使用されるISO 21424認証組み込みセキュリティは、電動化や車両の安全性の向上を加速させるのに役立ちます。

**アナログ・デバイセズの取り組み：**アナログ・デバイセズは、オートモーティブ、財務、医療、産業の各分野において、エンド・ユーザの重要な情報を保護するためのツールや文書を顧客に提供する取り組みを行っています。

<sup>1</sup> 「Improving end-to-end system efficiency with VSDs and magnet-assisted synchronous reluctance motor technology.」 ABB.



## より持続可能な世界のための電化

「私たちを取り巻く環境に気候変動の兆候が見られる中で、革新的な技術と法規制の組み合わせにより電化が促進され、私たち全員にとってより明るく健康的な未来を確かなものにしていきます。」

— Patrick Morgan、コーポレート・バイス・プレジデント、アナログ・デバイス

電化エコシステムは、多くの産業が持続可能性に関わる目標を達成するための手助けとなっています。このエコシステムは複雑で相互に接続しており、ビルディングや電気自動車から、再生可能エネルギーや電力網インフラストラクチャに至るまで、様々な産業分野にまたがっています。ソリューションをスケーラブルなものとし、なおかつ長期的に持続可能なものとするには、包括的なイノベーション、コラボレーション、パートナーシップを含む総合的なアプローチを採用して、電化エコシステム全体にわたる画期的な進歩を可能にする必要があります。

現在、世界のGHG排出量の73%以上がエネルギーの使用によるものであり、産業、ビルディング、および輸送が最大要因となっています<sup>1</sup>。

これらの分野におけるより多くのアプリケーションが電化されれば、エネルギー需要も増大します。温室効果ガス排出量を削減し、更には排除するために、これらの需要には持続可能なエネルギー源で対応する必要があります。当社は、この課題に総合的にアプローチし、充電の問題も視野に入れながらモビリティと電力網の電化に取り組みます。

- **再生可能発電の課題克服：**アナログ・デバイセズの電化ソリューションは、太陽光／光発電インバータ、風力発電システム、信号処理技術、システム・インテグリティ・モニタリングなどによって最大限の再生可能発電を実現します。スケーラブルな発電を可能にする、低消費電力でコスト意識の高いソリューションを提供します。

- **電気輸送の実現：**電化ソリューション・ポートフォリオであるアナログ・デバイセズのRecharge™は、EVの運用とバッテリーのライフタイム価値を向上させ、総所有コストを削減することで、電動モビリティの普及に革命をもたらしています。更に、当社のバッテリー・マネージメント・システム（BMS）は、15年以上の寿命期間にわたり業界トップクラスの精度を実現するように設計されており、1回の充電につき、他のオプションよりも最大20%長い距離を走行できます。アナログ・デバイセズのワイヤレスBMS（wBMS）は、バッテリーの組み立てから廃棄、更には二次利用に至るまで、バッテリーのライフサイクル全体を通じて、バッテリー・メーカーに競争上の強みを提供するように設計されています。

- **よりスマートで効率的、かつレジリエントな電力網の実現：**Bloomberg NEFの[2024 Energy Outlook report](#)によると、2050年までに世界全体でネット・ゼロ・エミッションを達成するには電力網に21.4兆ドルを投資する必要がある、そのうち4.1兆ドルはメンテナンス、17.3兆ドルは拡張とアップグレードに充てられるとしています。アナログ・デバイセズの技術は、電力網エッジにインテリジェンスを付加することで、信頼性の高いエネルギーの供給とマネージメントを確保します。最新式変電所で使用されているアナログ・デバイセズのスマート・グリッド・ソリューションは、エネルギーのモニタリング機能とオートメーションにより、運用コストの削減、顧客サービスの向上、作業者の安全性強化を実現します。この透明性を確保することで、電力の分配と利用における非効率性やギャップを特定することができます。



<sup>1</sup> 「Sector by sector: where do global greenhouse gas emissions come from?」 Our World in Data.

## 当社の影響力

端的に言えば、アナログ・デバイスは、世界が化石燃料の利用から移行するためのテクノロジーとソリューションを生み出しています。顧客、サプライヤ、そして自社の業務のための誠実な企業活動、環境保護、気候変動の減速化と対策を実現するためにアナログ・デバイス全社で取り組む努力は、長期にわたり成長を続け、利益をあげるための重要な要素です。

### ケース・スタディ：YUTONG — 業界初の大型モビリティにおけるwBMSの採用

路上を走る乗用電気自動車の急速な増加に対し、Yutongは大型商用車の電動化に注目するようになりました。アナログ・デバイスのwBMSソリューションがなければ、Yutongは大型電気自動車の目標性能レベルを達成することはできなかったでしょう。

バスや貨物車両をはじめとする大型車両が排出するガスの量は、輸送に伴う全世界の排出量の1/3を占めると推定されています<sup>1</sup>。実際、1台のトラクタ・トレーラは、毎年200トン以上の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出します<sup>2</sup>。一方、一般的な乗用車が1年間に排出するCO<sub>2</sub>の量は4.6トンほどです（米国環境保護庁による推定値）<sup>3</sup>。つまり、トラクタ・トレーラは、一般的な乗用車と比べて約40倍のCO<sub>2</sub>を排出することになります<sup>3</sup>。

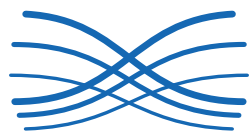
大型車両には大型のバッテリーが必要とされますが、これらのバッテリーは大型のバッテリー・パック・フレームに分散されるため、バッテリー間の通信リンクが大幅に増えることになります。アナログ・デバイスのwBMSは、その性質上、ワイヤ・ハーネスを使用することなく、高いモジュール性をサポートすることができます。Yutongは、EV車両の規模を拡大し、生産ラインの効率を改善し、設計の柔軟性を実現し、重量を削減することに成功しました。



<sup>1</sup> 「Distribution of carbon dioxide emissions produced by the transportation sector worldwide in 2022, by sub sector.」 Statista.

<sup>2</sup> 「What is the carbon footprint of a truck?」 FreightWaves.

<sup>3</sup> 「Greenhouse Gas Emissions from a Typical Passenger Vehicle.」 米国環境保護庁



## グローバル・コミュニティのためのコネクティビティ

「かつて、高速インターネット・コネクティビティは贅沢品とされていました。今日では、高速インターネット・コネクティビティは必需品であり、教育、コミュニケーション、ビジネスに必要不可欠なツールとなっています。」

— Andy McLean、コーポレート・バイス・プレジデント、アナログ・デバイス

コネクティビティは大きな変化を遂げ、単なるコンピュータ間の通信から、仕事、教育、ヘルスケア、ワイヤレス通信、商取引などに不可欠なツールへと発展してきました。5G、衛星、光ネットワークなどのコア技術は、世界中の人々をつなげ、社会に積極的に参加して、必要不可欠なサービスにアクセスすることを可能にします。

ワイヤレス・コネクティビティは、あらゆる業界でなくてはならない存在となっています。ヘルスケア分野ではバイタル・サインの監視、スマート・ビルディング分野では資産管理、気象、衛星を介した地震活動のモニタリングなどが可能になります。また、モバイル・デバイスを通じてホーム・セキュリティを強化し、有線ネットワークの展開が現実的ではない遠隔地や、危険な場所にあるセンサーとの接続を可能にします。教育分野では、学生がテクノロジー・スキルを習得したり、教育が妨げられないようにしたりするために、高速インターネットへのアクセスが不可欠です。

しかし、信頼性の高いコネクティビティを利用できないコミュニティは、未だ世界に数多く存在しています。世界の人口の37%、すなわち29億人が、インターネットを一度も利用したことがないと言われています<sup>1</sup>。高速コネクティビティを利用できない人々は社会経済的な不利を被る結果となり、就職の機会や、オンライン・サービスや教育を受ける機会が失われます。この格差は、通信業界が拡大し続ける中でも、依然として存在しています<sup>2</sup>。

コネクティビティに向けたアナログ・デバイスの技術ポートフォリオと進歩は、これらの課題に取り組むもので、エネルギー効率のスケールアップと推進の実現を支えながら、ワイヤレス・コネクティビティを強化しようとする顧客を支援します。

- **スケラブルで持続可能なコネクティビティ**：5G技術は、データ伝送機能を強化することによってエネルギー効率を大幅に改善し、運用コストと環境コストを減らすことができます。注目すべきことに、通信業界は世界のCO<sub>2</sub>排出量の1.6%を占めており<sup>6</sup>、5Gの消費電力は、2030年までに160%増加すると予測されています<sup>3</sup>。古い2Gシステムと3Gシステムを5Gに置き換えることで、世界のネットワークのエネルギー効率が90%向上すると見込まれています。スマート・シティでは、5Gがエネルギー利用、交通条件、排出量を最適化するでしょう<sup>4</sup>。

アナログ・デバイスは、システムの専門知識と無線周波数の知識を活用することで、無線アクセス・ネットワーク（RAN）のエッジとネットワーク・スタックにおけるエネルギー効率の向上に取り組んでいます。革新的な技術とソリューションを通じて、特に5Gにおいて、スケラブルかつ持続可能なコネクティビティを提供するソリューションを設計しています。更に、2021年末に発表されたアナログ・デバイスの最新の5Gトランシーバは、デジタル・プリディストーション（DPD）と呼ばれる技術を使用して、無線ユニットが必要とするエネルギーを大幅に減らします。スマート・スケジューリングを導入することで、電力使用量を最大20%削減できます<sup>5</sup>。

- **ワイヤレス通信の柔軟性**：アナログ・デバイスのワイヤレス通信技術の幅広いラインナップにより、遠隔地や立入りに危険が伴う場所にあるセンサーとの接続が可能になります。アナログ・デバイスの革新的なワイヤレス通信技術は、5Gを実現するインフラストラクチャ・ネットワークの中心となるものです。このネットワーク内では、無線ユニットとそのアーキテクチャが、ネットワークのエネルギー効率に直接影響します。

アナログ・デバイスのトランシーバによって一部実現されたMassive MIMO（Multiple-Input and Multiple-Output）無線ユニットは、前世代の製品と比較してネットワーク容量を2倍以上に増大させ、チャンネル当たりのエネルギーを半分に抑え続けています。既に展開済みのデジタル・フロント・エンド（DFE）が組み込まれたアナログ・デバイスの高集積化トランシーバ・システム・オン・チップ（TRx SoC）のユニットも、エネルギー効率の向上を助けます。

- **総合的なアプローチ**：次世代ソリューションを設定する際、アナログ・デバイスは無線ユニットを総合的に捉え、その経験を生かしてシステム・レベルでエネルギー消費量を減らし、性能とパワーを向上させます。例えば、アナログ・デバイスの先進的なトランシーバは、複数の省エネルギー手法を使用し、パワー・アンプ（PA）の効率を改善する高度なアルゴリズムを組み込むことによって、総合的なシステム効率を改善します。アナログ・デバイスのSilent Switcher®（サイレント・スイッチャ）パワー技術はS/N比改善の助けとなり、エネルギー・フットプリントを増やすことなく信号伝送量を増やします。特に、この技術により、コンパクトで信頼性の高い電源ソリューションの設計が可能になり、厳しい環境下でも安定した効率的な電力供給を実現することで、オートモーティブ、ヘルスケア、産業などの業界にも恩恵をもたらします。



<sup>1</sup> 「ITU: 2.9 billion people still offline.」 UN. <https://www.un.org/en/delegate/itu-29-billion-people-still-offline>

<sup>2</sup> 「Digital divide persists even as Americans with lower incomes make gains in tech adoption.」 Pew Research Center.

<sup>3</sup> 「5G will prompt Energy Consumption to Grow by staggering 160% in 10 years.」 Datacenter Forum.

<sup>4</sup> 「Nokia confirms 5G as 90 percent more energy efficient.」 Nokia.

<sup>5</sup> 「A novel energy-efficient scheduling model for multi-core systems.」 Springer Link.

<sup>6</sup> 「Sustainability in the telecommunications industry - challenges and opportunities.」 NGVoice.

## データ・センターのテクノロジー

データ・センターの電力使用量は、2023年の15TWh未満から2024年の46TWhへと、世界的に3倍に増加すると予想されています。<sup>1</sup>

— Morgan Stanley

生成されるすべてのデータはエネルギーを必要とし、カーボン・フットプリントがあり、保存されなければなりません。データ・センターのサーバーやネットワーク機器などの物理的なストレージ・インフラストラクチャにかかる費用は、処理のための効率的な電力供給のコストによって更に増大します。5G、ストリーミング・サービス、人工知能の台頭によるデータ生成の増加により、組織は運用コストの削減とエネルギー効率の高いソリューションの利用を検討する必要に迫られるでしょう。

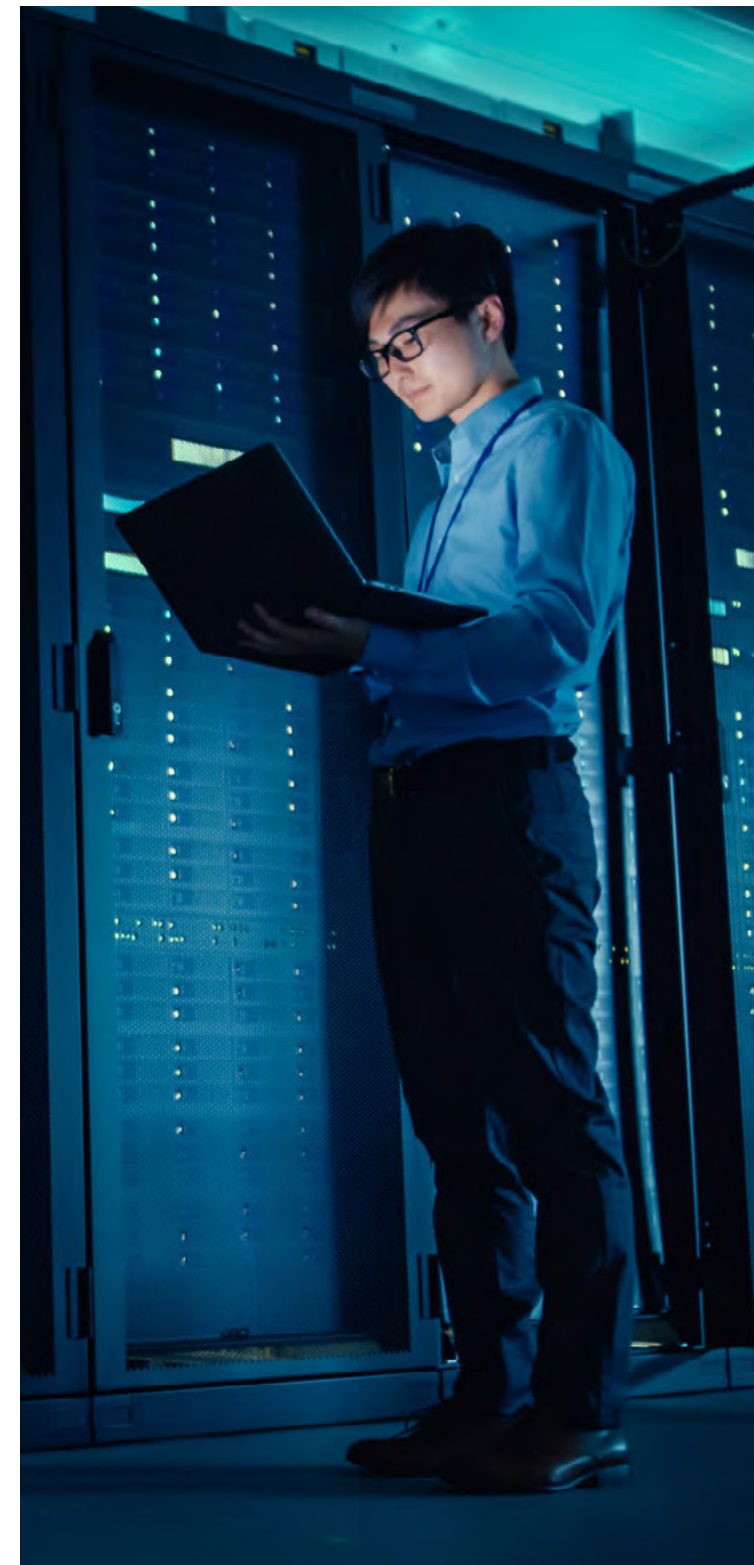
アナログ・デバイスの先進的なデータ・センターのテクノロジーは、データの処理、伝送、保存のための持続可能で効率的なソリューションを提供します。データ・センター内の配電アーキテクチャの各段階における電力変換効率を改善することで、年間キロワット時使用量を大幅に削減することができます。これは、最適化されたホット・スワップ、電力モニタ、最適な配電のためのスマートな電力段による電力変換、および熱管理によって実現できます。

2015年から2021年の間に、  
データ・センターの負荷  
は260%増加しました。<sup>2</sup>

- PhoenixNAP

アナログ・デバイスの電源ソリューション・ポートフォリオは、その規模と広範な適用範囲により、システムの効率と規模の最適化を支援し、総所有コストの削減につながります。

電力密度は、データ・センターの設計および運用において重要な側面であり、エネルギー効率、運用コスト、および冷却要件に影響を与えます。電力条件が増大し続ける中、アナログ・デバイスは革新的なチップセット、パワー・モジュール、パッケージング技術を提供することで、急速に変化する顧客の電力密度のニーズに対応しています。



<sup>1</sup> [Morgan Stanley Powering GenAI.](#)

<sup>2</sup> 「How Is Data Center Sustainability Achieved.」 PhoenixNAP.

## 当社の影響力

バリュー・チェーンにおけるアナログ・デバイスの独自の立ち位置と、125,000社を超える顧客の広大なネットワークが一体となり、当社は業界の要となるコネクタとしての地位を確立しています。私たちは、業界標準の調整、相互運用性の提供、技術と専門知識の提携によって、より完全なソリューションの提供を通じて、多様なパートナーとステークホルダーの橋渡しとなる要としての役割を果たしています。



### 効率的なビルディング：運用HVAC制御

商業ビルディングで潜在的なエネルギー効率を達成するために重要なことは、デジタル化とコネクティビティを通じてデータに基づく詳細な情報を活用し、より高いエネルギー効率を実現することです。アナログ・デバイスのコネクティビティ・ソリューションは、センサー、アクチュエータ、およびコントローラをネットワーク化して、商業ビルディングのリソースをより効率的に使用するための鍵となります。新しいビルディング・オートメーション・システム（BAS）をインストールする場合でも、既存のBASに高度なセンサー、コントローラ、およびオートメーション・ソフトウェアを組み込む場合でも、BASはビルディング1棟当たり平均で10%から25%のエネルギー削減を実現します<sup>1</sup>。

### ハネウェル

10 BASE T1Lシングルペア・イーサネットなどの先進的な技術は、最近の[ハネウェルとの提携発表](#)に見られるように、最先端のビルディングにおけるデジタル化を推進する最先端の技術です。

同様に重要なのは、ソフトウェアで設定可能な入出力（SWIO）などの産業用IOソリューションが、デジタルの世界とアナログ・エッジ・デバイスを柔軟な方法で結びつけるということです。これらの技術を組み合わせることで、[ビルディング管理](#)システムに新たな機能をもたらすと共に、ビルディング・オーナーの総所有コストを削減する手助けとなります。

<sup>1</sup> 「Smart Buildings: Using Smart Technology to Save Energy in Existing Buildings。」 American Council for an Energy-Efficient Economy.



## ヒューマン・ヘルスをより身近に

「私たちは、慢性疾患に苦しむ患者が自宅で医療グレードのケアを受けられるよう、ヘルスケア・テクノロジーに関する最新の進歩を活用しています。」

— Pat O'Doherty、シニア・バイス・プレジデント、アナログ・デバイス

健康は、私たちすべてを結びつける共通のテーマです。個人と社会の健康を実現するには、より優れた、よりプロアクティブなケアを可能にする革新的なテクノロジーが必要です。

アナログ・デバイセズの技術はインテリジェント・エッジで医療グレードのデータを取り込み、それを、より良い結果をもたらすシンプルで信頼できる診断情報に変換します。アナログ・デバイセズの革新的ソリューションは、バイタル・サインを測定する高精度計測器から、優れたイメージングおよび超音波アプリケーション、あるいはコンスーマの疾病管理や健康増進に役立つウェアラブル機器にいたるまで、あらゆる製品に組み込まれています。当社は、分散型臨床試験の実現や、データを効果的なケア管理に活用することから、ウェアラブル・デバイスを通じて自分で自分の健康を管理できるようにすることまで、医療に関する知見をエッジで生み出しています。また、より多くの場所でのケアを可能にしています。

- **より身近なヘルスケア：**遠隔モニタリングの需要は、医療機関とコンスーマ・ウェアラブルの両方において急増しています。この傾向は、COVID-19パンデミックによって大幅に加速しました。そこで登場するのが、アナログ・デバイセズのバイタル・サイン・モニタリング（VSM）ソリューションです。これは医療グレードかつウェルネス・ウェアラブルのソリューションで、コスト効率に優れ、高品質なヘルスケアをより幅広い人々に提供できるように設計されています。アナログ・デバイセズの包括的な製品は、病院でのワイヤレスVSMモニタリング、持続血糖値モニタリング、および医療グレードのVSMウェアラブル・テクノロジーの分野で先進的な役割を果たしています。
- **安全で正確な診断：**現在、医療用画像処理は世界のヘルスケア・システムに欠かすことのできないものとなっています。しかし、人体の安全と正確な診断のために、

その電子設計には厳しい条件が課されます。現在、アナログ・デバイセズはCTおよびデジタルX線の分野におけるトップクラスのテクノロジー・プロバイダです。多様な製品を揃えたアナログ・デバイセズの高性能ビルディング・ブロックのセットと、ドメイン・インテリジェンスおよび深い顧客エンゲージメントの組み合わせが、患者と顧客の両方に利益をもたらすソリューションを実現します。患者にとっては放射線被ばく量の少ないことが利点となる一方で、医師は最高品質の画像を利用して正確な臨床的意思決定を行うことができます。顧客にとっての利点は、低コストなこと、フットプリントが小さいこと、高性能なこと、短時間で製品を市場に投入できることなどです。アナログ・デバイセズは画質を最大限に高めながら、スキャン時間、放射線量、消費電力、コストを削減し、最終的に患者への治療の結果を改善するよう設計された技術を実現します。当社の高精度かつ高速なシグナル・チェーンおよびパワー製品の幅広いポートフォリオは、最適化された設計の確かな基盤を提供します。

- **より身近なヘルスケア：**慢性疾患を持つ患者の診断、治療、および支援には、手術ロボット、診断装置、除細動器などの医療用機器が使われます。従来、汚染物質や感染症の検査は手作業で行われてきましたが、これは手間のかかるものでした。病院の検査室以外でも手早く検査を行えるため、ポイント・オブ・ケア（PoC）ソリューションは、より短時間の診断、より早期の治療、より早い回復を患者に提供できます。アナログ・デバイセズは、電気化学検査ソリューションと光学検査ソリューションの両方のポートフォリオを備えた独自の位置を占めており、広範なバイオセンサーや化学的性質を補完する測定エンジンを提供すると共に、ソフトウェアでアップグレード可能なプラットフォームを実現します。



## 当社の影響力

アナログ・デバイスズのソリューションは医療の未来を形成し、より多くの人々が、より公平に医療を利用できるようにします。アナログ・デバイスズはヘルスケアを促進するエコシステムの最前線に身を置き、すべての人の生活が変わるようなソリューションを提供します。アナログ・デバイスズの包括的なテクノロジー・ポートフォリオと、各分野およびエコシステムにおける知識と経験を活用することで、顧客が人々の生活や福祉に真の影響をもたらすソリューションを創出することを可能にします。

### データの力を活用して高齢者の生活の質を改善する

高齢の家族の自由を奪うことなく、また、自分自身を犠牲にすることなく介護するには、どうすれば良いのでしょうか。手首に装着するヘルス・モニタリング・デバイス、CarePredict Tempo™などのウェアラブルなデジタル・ヘルス・テクノロジーは、高齢の家族の介護を支援するために設計されています。

高精度測位センサーを使用することで、CarePredictは各ユーザの行動やパターン、通常状態からの逸脱を追跡することができます。データとAIを組み合わせることで、食欲不振、睡眠習慣の悪化、インアクティビティの増加といった、健康上の深刻な問題の兆候となり得るわずかな変化を、家族や介護担当者が認識できるようにします。

CarePredictは、アナログ・デバイスズのエンジニアと協力することで、パルス・オキシメトリと心拍数をモニタするセンサー・モジュールの開発を実現しました。このデバイスは、高精度なバイオセンサーやバッテリー残量ゲージ、電力効率の高いスイッチング・レギュレータ、高性能のオーディオ・アンプをバッテリー駆動の小型フットプリントで提供する必要があり、長時間動作することが期待されています。アナログ・デバイスズの技術は、ウェアラブル・ヘルス技術に必要な低消費電力、高い精度、コンパクトなフォーム・ファクタを実現します。

Tempoシステムは、高齢者がより長く、より安全で、より健康的な生活を送ることに貢献しています。また、家族に安心感をもたらすと共に、介護担当者が高齢者の状態をより深く理解することを可能にしています。



### 心肺用ウェアラブル

Sensinel by Analog Devicesは、最新のウェアラブル・ヘルスケア製品ラインです。慢性疾患の管理方法を根本的に変え、手の届く価格で生活の質を向上させることを目指しています。

最初の製品である、FDA基準をクリアしたSensinel CPMシステムは、心不全などの慢性疾患管理のための心肺機能測定値を収集する、非侵襲の在宅ソリューションです。これには、一連の生理学的指標が備えられており、ケア・チームが慢性疾患を早期かつ遠隔から正確に管理できるよう支援します。これにより、より密接なりモート患者モニタリングが可能になり、医療費の削減に貢献する可能性を秘めています。



## 私たちの未来への投資

気候変動の影響は、私たちの日常生活にも現れています。適正な技術、インフラストラクチャ、そして取り組みが、温室効果ガスの排出を劇的に削減するために必要とされています。まだ手がけられていない大きな可能性が潜在しており、今後数年間は、既存のソリューションを大規模に開発し、画期的なイノベーションに投資することが重要となるでしょう。

マッキンゼーによると、2035年までの間に、低排出資産への移行を支援する物理的資産に対する年間支出は3兆5000億ドル増加し、その期間の累積支出は275兆ドルに達すると推定されています<sup>1</sup>。

アナログ・デバイスが対象とするエンド・マーケット全体では、産業効率化やビルディングの改修への投資が世界的に増加すると見込まれています。また、EVの展開とEVインフラストラクチャ、グリーン発電、配電網の近代化への支援も継続されるでしょう。

### グリーン収益

アナログ・デバイスは例年どおり、当社の収益の約30%が、環境に有益な潜在的なエンド・アプリケーションまたは持続可能なユースケースにおける製品ファミリにマッピングできると報告しています。このマッピングには、FTSEラッセルのグリーン収益分類システム2.0（GRCS）が活用されています。これは、アナログ・デバイスにとって、当社の製品が人々や地球にどのような利益をもたらすことができるかを理解し続ける上で、有益なプロセスです。EUタクソノミーおよび関連規制の施行開始に伴い、当社ではこのプロセスを移行する作業を進めています。

## 人と地球のために、アナログ・デバイスの力を活用する

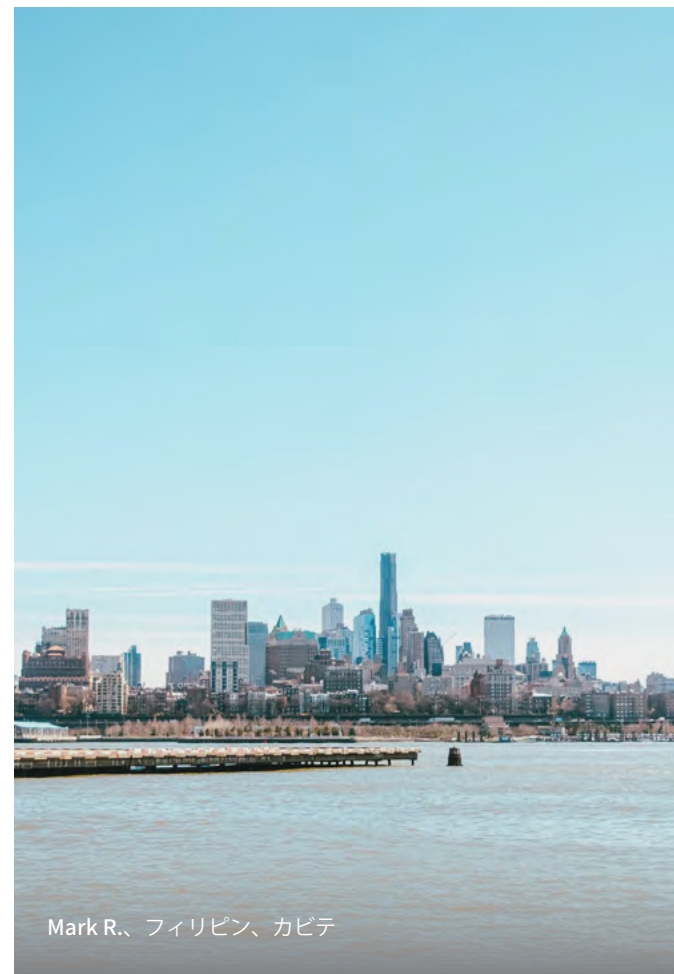
アナログ・デバイスは、自分たちの責任は全生産バリュー・チェーンを囲う境界内だけに止まるものではないと考えています。

58年前の創立以来、アナログ・デバイス（ADI）は、高い目的意識と、従業員、顧客、パートナー、コミュニティ、サプライヤ、投資家を含むすべてのステークホルダーにその業績とイノベーションの恩恵を行き渡らせようという熱意を原動力に、業務を行ってきました。

刺激的でやりがいのある仕事を従業員に提供すること、顧客やサプライヤと互恵的な協力関係を結ぶこと、そして投資家とアナログ・デバイスの所属コミュニティの両方を重視することが、60年近くにわたり、アナログ・デバイスが人間的、社会的、更には地球的な規模で極めて大きな影響を与えることを可能にしてきました。

アナログ・デバイスの長期的戦略は、インテリジェント・エッジにおける技術的ブレークスルーを加速し、アナログ・デバイスの影響力の拡大と継続を今後も長期にわたってもたらし、持続可能で利益の回収が可能な成長を実現するための道筋を定めるものです。

直面する課題の緊急性からすると、決して満足できるものではありません。この世界は様々な課題を抱えています。しかし、アナログ・デバイスはこれらの課題への徹底的な取り組みを続けながらも、私たちの技術が人類や地球の健全性に肯定的な影響を及ぼすことができるという点については、楽観的な見通しを持っています。



<sup>1</sup> 「The net-zero transition.」 McKinsey & Company.

# ADI Horizon

ADI Horizonは、アナログ・デバイスズのESGプログラムに対する統一されたアプローチであり、社内と、より広いエコシステム全体の両面でESG活動を促進し、人々、地球、進歩に対するアナログ・デバイスズの取り組みを支援しています。

アナログ・デバイスズのビジネス・レジリエンスおよびリスク管理、企業倫理、サプライ・チェーン、持続可能性、グローバル・トレード、情報セキュリティ、製品保護に関する重要なパートナーシップ、方針、活動は、すべての人にとってより持続可能で公平な未来を創造するという当社の取り組みの基盤となっています。

## このセクションの内容：

- 43 ガバナンス
- 61 環境サステナビリティ
- 74 人々とコミュニティ

# ESG責任者からのメッセージ

昨年アナログ・デバイスは、最大のインパクトをもたらすために、環境、社会、ガバナンスの各プログラムを統合し、相互に連携させるADI Horizonを立ち上げました。私たちがHorizon（地平線）という言葉に惹かれたのは、それが私たちのESGへのアプローチを象徴するものだからです。地平線や水平線は、いつも手の届かないところに存在します。旅の途上には遍在しますが、それは目的地ではありません。道に迷ったり、さまよったりしたときに、地平線や水平線は方向性を示す指針となります。実際、船乗りたちは大海原で水平線と星との距離を測ることで、自らの現在地を把握していました。現実を基盤とし、絶え間ない改善を原動力とし、未来に焦点を当てながら、アナログ・デバイスは世界における当社の立ち位置を活用し、よりレジリエントで責任ある持続可能な未来の実現に努めています。

約60年間にわたり、アナログ・デバイスのテクノロジーとソリューションは、現実世界の信号をデジタル化し、実用的なインテリジェンスに変換することで、私たちの身の回りの世界に対する理解を深める手助けをしてきました。豊富なデータに基づいて、私たちの世界についての理解を得ることがこれほどまでに重要だったことは未だかつてありませんでした。アナログ・デバイスのテクノロジー・ソリューションは、効率の最適化、安全性とヒューマン・ヘルスの改善、そして世界に更なる繋がりをもたらす手助けをすることができます。しかし、テクノロジーが気候変動に抗い、人類の置かれた状況の改善に役立つのに不可欠なツールとなり得るのであれば、私たちはテクノロジーを生み出すことによる影響について考慮する責任があります。

そのため、アナログ・デバイスの2023年ESGレポートのタイトルは「Resiliency and Responsibility（レジリエンスと責任）」としました。このレポートでは、当社の製造施設の拡大を活用してスコップ1排出量と総取水量の削減に役立つ最新機器を導入することなどを含め、アナログ・デバイスが実施した主な取り組みの一部を紹介しています。また、アナログ・デバイスのサプライヤ対応組織は、サプライヤと共にそれぞれの気候変動への取り組みを把握し、レジリエントで責任あるバリュー・チェーンに対する当社の期待を伝えています。

こうした進歩は、アナログ・デバイスの従業員一人ひとりの貢献によって成り立っています。人事、運用、調達、EHSにわたる数えきれないほど多くのエンジニアやチームの努力により、プロジェクトに知恵と熱意がもたらされたことで、アナログ・デバイスは、急速な成長、2021年の大型買収、現在進行形の大幅な拡大、不透明な経済情勢という課題に直面しながらも、重点分野すべてにおいてADI Horizonの目標に忠実であり続けています。

これらの努力は、利他主義から生み出されたものではなく、次の60年を見越した戦略的な選択です。世界全体が変化しており、ESGの世界も同様に変化しています。グローバル・バリュー・チェーンは縮小しており、顧客はアナログ・デバイスが顧客のコンプライアンスとバリューに基づくイニシアチブをサポート

することに期待を寄せています。私たちは、現在および未来の顧客が、価値と目的を体現する企業に引きつけられると確信しています。私たちは、人々が成長し、帰属意識を持ち、最高の仕事ができる企業文化を育み続けることに深くコミットしています。これらの未来への投資が、当社、地球、そして私たちが働き、生活するコミュニティに利益をもたらすことを期待しています。また、ESGの傘下にある気候変動やその他のリスクが第一の課題となる中、当社が将来に向けてどのような計画を立てているのかが、すべてのステークホルダーにとって重要となります。

これに向けて、いくつかのイニシアチブに着手するために、アナログ・デバイス全体から幅広い分野の専門家を結集させました。これには、ダブル・マテリアリティ・アセスメント、気候シナリオ計画、PFASワーキング・グループ、製品カーボン・フットプリント・パイロットが含まれます。これらの取り組みに関する最新情報を準備が整い次第共有していく予定であり、2025年には透明性があり、実行可能な気候移行計画の策定を目指しています。

アナログ・デバイスに在籍した期間は長くはありませんが、ここで働く素晴らしい人々は、イノベーション、学習、そして自分たちの周囲の世界にインパクトを与えたいという意欲に突き動かされていることが分かりました。アナログ・デバイスは規模が大きく、成長を続けている企業であるにも関わらず、家族のような雰囲気があり、そのルーツとの強い結びつきを感じさせます。チームは思慮深く、意欲的であり、より良い未来に向かって努力する勢いは本物です。事業部門や職務を問わず、アナログ・デバイスの慈善部門であるアナログ・デバイス基金から従業員リソース・グループまで、世界中のメンバーを結びつけているのは、善行により世界と社会を良くしていくという信念です。このレポートで描かれている美しい地平線のように、未来を見据えることで、私たちは勇気づけられます。目の前に立ちちはだかる課題が途方もないものであっても、解決策を見つけるために努力している人々が大半います。最後に、著名なアメリカ人文化人類学者Margaret Meadの言葉を引用します。「献身的な人々による小さな集団が世界を変えられるということを疑わないでください。実際に、そうした集団だけが世界を変えてきたのです。」

アナログ・デバイスは世界における当社の立ち位置を活用し、よりレジリエントで責任ある持続可能な未来の実現に努めています。

Mary Farris  
ESG責任者



# ガバナンス

アナログ・デバイスズは、アナログ・デバイスズのステークホルダーの長期的な利益を実現するマネジメントが行われるためには、良い企業ガバナンスが重要であると確信しています。

## このセクションの内容：

- 44 リスク・マネジメント
- 47 企業倫理
- 49 人権
- 50 倫理的サプライ・チェーン
- 53 取引に関わるコンプライアンスと納税
- 55 プライバシーと情報のセキュリティ
- 57 製品保護
- 58 公共政策
- 59 安全衛生

# リスク・マネジメント

インテリジェント・エッジにおけるデジタル・トランスフォーメーション・ソリューションを牽引するプロバイダとして、アナログ・デバイスズは、リスク管理プログラムを活用して組織全体におけるリスクの識別、管理、統制を行うことで、財務および業務目標の達成を促進し、コンプライアンスに準拠した形で長期的な事業およびESG戦略とソリューションを推進します。

## 企業リスク・マネジメント

アナログ・デバイスズは、企業のリスク・マネジメント（ERM）に関する[トレッドウェイ委員会支援組織委員会（COSO）](#)のフレームワークを採用しています。このフレームワークは6段階のアプローチで構成されています。すなわち、リスクの特定、リスクの分類、リスクの定量化、リスクの管理と対応、リスクと管理のモニタリング、そしてリスクの報告と情報伝達です。このフレームワークに従い、アナログ・デバイスズは組織のリスクを4つのカテゴリ（戦略、事業、コンプライアンス、財務）に分類し、4つの尺度（財務的影響、発生の可能性、速度、回復難度）を使ってその影響を定量化しました。

当社のERMプログラムは、戦略的計画立案、戦術的実行、予算計上、およびリスクの結果を最適化して株主価値を保護するリスク監視を目的とした、組織の情報に基づく意思決定を支援することを目的としています。ERM機能によって組織は、リスク・マネジメント・フレームワークの提供・維持を行うと共に、適切な緩和戦略を作り出すことで、リスク・マネジメントをより効率的かつ効果的なものにできます。

また、アナログ・デバイスズは、優れたERMプログラムがコーポレート・ガバナンスを促進し、率直さ、正直さ、誠実さおよび倫理的行動に対する管理職のリーダーシップとコミットメントを定めるのに役立つと確信しています。

アナログ・デバイスズは、トップダウン・アプローチとボトムアップ・アプローチの両方を利用してリスク・マネジメントを行っています。その体制の中で、日常のリスク・マネジメント活動は事業の単位と機能ごとに管理されて取締役会とリーダーシップ・チームへの報告が行われ、リーダーシップによって基本的な戦略的目標と優先順位が各事業単位へ順次下達されます。

当社の専任ERMプログラム・マネージャはリスク研究拠点を創設します。この拠点は、リスクの担当者や責任者がその日常のリスク・マネジメント活動を継続的に改善するためのリソースとなります。加えてERMプログラム・マネージャは、マネジメント現場と取締役会の間でリスク情報を伝えるパイプの役割を果たします。

## 気候シナリオのプランニング

2023年、アナログ・デバイスズでは、リスク・マネジメント・プロセスの一環として気候関連財務情報開示タスク・フォース（TCFD）と足並みを揃えながら、気候シナリオ・プランニングの策定に向けた最初の取り組みを開始しました。これは、アナログ・デバイスズの組織、施設、バリュー・チェーン全体にわたって気候変動のリスクと機会の両方を確認する助けとなります。アナログ・デバイスズは、広範な問題についてどの指標をモニタする必要があるのか、また、それらに対処するためにどのような措置を講じることができるのかを理解する最善の方法が、シナリオ・プランニングだと考えています。現在、アナログ・デバイスズは、保険会社であるFMグローバル（FM Global）社からのリスク・レポートを含む一連の情報を使って、自社の施設と業務における潜在的な物理的リスクを評価しています。これらの詳細なレポートは、FMの標準リスク・レビューおよび施設評価と組み合わせることで、実際の影響の可能性とその影響を軽減するために講じることのできる措置について、施設ごとにロードマップを提供します。



# ERMリスク委員会



| コンプライアンスおよびリスク                                                                     |                                                                      |                                       |                                                |                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 監督                                                                                 | エグゼクティブ・リスク委員会                                                       | ビジネス・ユニットおよびエンタープライズ・ファンクション          | コンプライアンス                                       | 内部監査                                                 |
| 取締役会、該当委員会、およびCEOは監督を行うと共に、重要なリスクをはらんだ機能、ERMの諸問題、ビジネスに関連するリスクへの適切な透明性と可視性を確保しています。 | <p>戦略的な目標を設定して実施し、企業の正常な状態を確保。</p> <p>有効なリスク管理プログラムの設計、実施、維持を担当。</p> | 業務マネジメント、事業実績、事業に対するイベントやリスクの管理などを担当。 | 全社にわたる情報共有およびコンプライアンス関連リスクの調整を可能にするガバナンス構造を構築。 | 統制のモニタリングおよびリスク軽減努力によって正常な状態の確保を容易なものにし、ERMプログラムを支援。 |

## ビジネス・レジリエンス・マネージメント

ビジネス・レジリエンスを確保するには、サイバー攻撃、自然災害、異常気象、地政学的問題、サプライ・チェーンの停止、事業に関わるその他の混乱を含む予想外の状況においても、事業の強靭性を確保するための緊急事態、危機、継続性に関わるプランニングと、危機にあたっての情報伝達プランニングを行う必要があります。

アナログ・デバイスズは、異常事態などが発生した場合でもそれによる事業への影響を最小限に抑えることができるように、準備と計画を行っています。何らかの問題が発生した場合は、人事、法務、法務およびリスク、環境、安全衛生、国際業務、調達、広報、セキュリティなどの部門を含む様々なステークホルダーと適宜協力して、解決のための対応にあたります。アナログ・デバイスズのレジリエンス・プランには、そのすべての事業、

活動、事業所が含まれています。こうした努力は、リスクを緩和し、従業員の安全を守り、顧客からの信頼を維持できるよう設計されたシステム、ポリシー、手順によって支えられています。アナログ・デバイスズのチームは常に状況をモニタして、問題発生時は直ちにその事象の特定、評価、対応を行えるよう態勢を整えています。

アナログ・デバイスズでは、レジリエンスとモニタリングのための努力を支援するために、異常気象、自然災害、地政学的事象、その他事業に影響を与え得る領域での問題が発生した場合に通知される緊急アラート・システムに登録し、必要な対応を数に取れるようにしています。このような事態が生じた場合は常にチームにメールが送られてくるので、迅速に事態を評価し、該当するレジリエンス・プランと手順を実行することができます。

差し迫った状況の場合は製造現場やサプライヤを救援し、継続的な供給に影響が生じる可能性があれば、迅速にそれを軽減するための措置を講じます。

アナログ・デバイスズは、変化を続ける世界の状況に基づいてビジネス・レジリエンス・プログラムの継続的な強化に取り組んでいます。2023年は、あらゆる職種や世界中の事業所にわたるプログラムの調整に焦点を当ててきました。また、プログラムを継続的に改善するために、実務上で得られた経験からの教訓や世界中のステークホルダーからの意見を汲み入れることに加えて、レジリエンス・プランおよびプロセスのテストと監査を行います。



# 企業倫理

アナログ・デバイスの文化を決定付けるものは誠実さです。これは、アナログ・デバイスと顧客やコミュニティとの関わり方の基礎をなすものです。アナログ・デバイスでは、倫理やコンプライアンスの重要性を継続的に訴えるよう努めています。当社の価値を高め、倫理的文化を醸成し、アナログ・デバイスが作り上げてきた信頼と尊重の基盤を踏まえるのは、各人の責任です。

アナログ・デバイスは、事業の推進にあたって誠実さと最大限の倫理的基準を浸透させるという責任の反映として、その方針、活動、トレーニングを継続的に強化します。

アナログ・デバイスの[ビジネス行動と倫理に関する規範](#)は、ビジネスを倫理的に推し進めるというアナログ・デバイスのアプローチを、法に準拠すると共に、当社のより深い価値を反映する方法で詳細に述べたものです。アナログ・デバイスはこの規範を1年ごとに見直して、倫理およびコンプライアンスに関する意識を向上させるよう努めています。この規範は、アナログ・デバイスの日常的な意思決定の際のガイドとなる基本的な枠組みです。取締役会のメンバー、すべての役員、およびあらゆる従業員を含むアナログ・デバイスとその関連会社に勤務するすべての者、そしてアナログ・デバイスにサービスを提供するすべての独立請負業者、コンサルタント、代理店、およびアナログ・デバイスと取引関係にあるすべての者は、アナログ・デバイスが事業を展開するすべての国および地域でのアナログ・デバイスとの関係において、当社の規定および法律を遵守することが求められます。

贈収賄や不正行為は、アナログ・デバイスでは一切認められません。当社は、当社が事業を行うすべての国で適用される贈収賄と不正行為の防止に関する法律に従います。当社の規範は、いかなるときもいかなる理由でも、アナログ・デバイスの業務に関係して賄賂を贈ったり受け取ったりすることを禁じています。世界中のアナログ・デバイス従業員は、贈収賄と不正行為の防止に関する法律、

贈答と接待に関する方針、および正確な記録管理の重要性について理解を深めるために、増収賄と不正行為に関する教育を毎年受けています。アナログ・デバイスは、従業員とビジネス・パートナーがアナログ・デバイスの方針を遵守するように、また、懸念事項があればそれを容易に報告して対処することができるように、教育と予防を重視しています。

アナログ・デバイスでは、各従業員の個性と視点を尊重してそれを生かす、受容性の文化を醸成することを目指しています。また、互いを尊重してハラスメントや差別のない労働環境を維持することを目指し、すべての個人を尊重することを促進する、プロフェッショナルな環境を提供できるよう努力しています。当社が期待する事項の詳細については、アナログ・デバイスの[ハラスメント防止方針](#)をご覧ください。

アナログ・デバイスは、倫理、誠実さ、コンプライアンスへの取り組み、方針の改訂とリソース、トレーニング、アクセシビリティの強化などについて、従業員とのコミュニケーションを図り、法令、社内規範、または方針などへの違反、あるいは非倫理的行いの疑いや事実がある場合は、内部告発プログラムに記載されている報告チャンネルを利用して躊躇せずに報告することを奨励しています。また、サプライヤは、当社の企業の社会的責任規範およびビジネス行動と倫理に関する規範に準拠し、違反や非倫理的行為に気付いた場合には報告する必要があります。[詳しくは、サプライヤ・リソース](#)をご覧ください。

## アナログ・デバイスが戦略的に取り組む企業責任に関する項目：

- [ビジネス行動と倫理に関する規範](#)
- [企業の社会的責任規範](#)
- [反奴隷および人身売買に関する声明書](#)
- [EEOおよびアファーマティブ・アクション方針](#)
- [グローバル・タックス方針](#)
- [情報セキュリティに関する方針](#)
- [政治献金と政治支出](#)
- [個人情報保護方針](#)
- [ハラスメント防止方針](#)
- [サプライヤ倫理コミットメント](#)

資料入手先：[investor.analog.com](https://investor.analog.com) および [会社方針 | アナログ・デバイス](#)



## 意識向上とトレーニング

アナログ・デバイスは倫理およびコンプライアンスに関する意識向上に取り組んでいます。アナログ・デバイスは、当社の世界中の従業員を対象とした集中的かつ包括的なコンプライアンス・トレーニング・プログラムを採用しています。このプログラムは、アナログ・デバイスの尊重と継続的な学習というコア・バリューを強調し、職場での行動を規定する適用法、規則、および会社方針に関する従業員教育に焦点を当て、誠実さの文化を推進することを目的として設計されています。すべてのアナログ・デバイス従業員は、倫理およびコンプライアンスのコースを受講します。これらには地域固有の役割に基づいた割当てが含まれ、とりわけ、利害の対立、反贈収賄および腐敗行為、インサイダー取引、職場でのハラスメント防止、データ・プライバシーおよびセキュリティ、独占禁止および取引に関わるコンプライアンス、知的財産権、および秘密情報の保護に関連するトピックが含まれています。アナログ・デバイスの従業員には、社内での役割と責任に応じて、より掘り下げた内容の追加トレーニングが行われます。これらのトレーニングでは、ヘルスケアに関するコンプライアンスや政府との契約などに関係する項目が扱われます。トレーニングの完了には、アナログ・デバイスの規範、企業の社会的責任規範、その他該当する方針に従っていることの確認と証明が含まれます。

アナログ・デバイスのトレーニング・マテリアルは、主要事業所が所在する地域の言語に翻訳されます。当社はコンプライアンス・トレーニングの成果を積極的にモニタリングしています。



## 内部告発プログラム、報告、調査、是正措置

アナログ・デバイスでは、すべての従業員が尊重され、その価値が認められる環境を作ることに努めています。当社は透明性を重視し、従業員が正直さと誠実さを示し、懸念を表明することを期待しています。そのため、従業員その他の人々が懸念事項を報告できるように、匿名での報告を含む複数のチャンネルを用意しています。これらの報告は、アナログ・デバイスの倫理ホットラインを通じて誰でも行うことができます ([analog.ethicspoint.com](https://analog.ethicspoint.com) からオンラインで報告するか、電話または携帯からアクセス)。アナログ・デバイスの倫理ホットラインは独立したサードパーティによって運営されており、該当する法令に抵触しない限り、匿名で報告できます。電話またはオンラインで報告する従業員は翻訳者を要求することができ、主要事業所では当該地域の言語でグローバル・モバイル・アクセス報告システムを利用できます。この他、従業員が報告を行うためのチャンネルとしては、直属の上司、人事部、アナログ・デバイスの最高法務責任者 (CLO)、アナログ・デバイスの倫理およびコンプライアンス・チーム ([倫理メール・ボックス](#)を使用) があります。

アナログ・デバイスは、倫理およびコンプライアンス・チームが報告を調査し、適切な是正措置が実施されることを確実なものにするプロセスを定めています。最高法務管理責任者と倫理およびコンプライアンス・チームは、

すべてのグローバル調査を監督し、調査プロセスが透明性を維持しており、問題が公正かつ一貫した形で行われるようにします。また、取締役会は必要に応じ、調査プロセス、コンプライアンスの傾向および事案を監督します。

アナログ・デバイスは、法令、アナログ・デバイスの規範、企業の社会的責任規範、またはその他の企業方針または手順への違反の疑いのある事例を報告した者、またはこれらの行為の確認にあたってアナログ・デバイスを支援した者、もしくは社内調査に参加した者に対する報復を許容しません。アナログ・デバイスは、反報復方針について従業員を教育し、解雇を含む是正措置により報復を防止するための予防的措置を取っています。更に、アナログ・デバイスはサプライヤに対して、誠実な報告や内部告発調査プロセスの参加者に対する報復を禁じることを求めています。

### 内部告発レポートの提出方法



- ・ 直属の上司
- ・ 人事部
- ・ アナログ・デバイスの最高法務責任者



アナログ・デバイスの無料倫理ホットライン



[analog.ethicspoint.com](https://analog.ethicspoint.com)



グローバル・モバイル・アクセス用スキャン



アナログ・デバイスの倫理メール・ボックス

# 人権

人権の尊重は私たちの価値に根差すものであり、ビジネスを行う際には常に実践しています。これらの原則は、すべての従業員、臨時社員、製品およびサービス、そしてサプライ・チェーンを含む取引関係者に適用されます。また、これらは[国連のビジネスと人権に関する指導原則](#)、[労働における基本的原則および権利に関するILO宣言](#)、および[国連の世界人権宣言](#)など、複数のフレームワークに合致しています。

アナログ・デバイスは、事業遂行、サプライ・チェーン、製品に関連する手法やアプローチをアナログ・デバイスの方針や手順に組み込んでいます。

アナログ・デバイスの方針は、世界中のすべての従業員の人権に関する条件の概要を示したものです。アナログ・デバイスの企業の社会的責任規範（CCSR）とビジネス倫理規範には、アナログ・デバイスがいかなる施設においても強制労働、非自主的労働、または児童労働を使用しないことが明確に示されています。また、そのサプライ・チェーン内での児童労働や強制労働の使用を明確に禁じています。アナログ・デバイスが定める企業の社会的責任規範の「労働と人権」の項には、労働者を人道的に扱うことと、児童労働および非自主的労働を禁止することが明確に定められています。更に、人権保護の重要な戦略の1つが、エレクトロニクス分野におけるサプライ・チェーンの責任を専門に推進する世界最大の業界団体である責任ある企業同盟（RBA）と、その[責任ある労働イニシアチブ](#)に積極的に参加することです。ADIRBAの行動規範を採用しています。この規範は、エレクトロニクス業界およびそのサプライ・チェーンでの作業環境が安全であること、作業者は敬意と品位を持って扱われるべきこと、業務の遂行は環境に責任を持ちながら倫理的に行われることなどが確実に実行されるようにするた

めの基準を設定しています。RBAの監査プロセスは、当社のサプライ・チェーンにおける人権保護を確実なものにするための、当社戦略の重要な要素の1つです。

アナログ・デバイスのオフィスや製造施設では、従業員が能力を伸ばすことのできる安全で受容的な職場環境、そして互いを尊重し合える職場環境を提供するよう努めています。性的いやがらせ、性的虐待、体罰、精神的または肉体的抑圧、暴言など含む粗暴で非人道的な扱いは許されず、そのような扱いをするという脅迫も許されません。アナログ・デバイスの規範は、ハラスメントや違法な差別のない、互いを尊重し合える、安全で健康的な職場を促進するアナログ・デバイスの方針を詳細に述べたものです。

アナログ・デバイスは、労働者と管理者の開かれた対話と直接的な関わり合いが、職場と報酬に関する問題を解決する最も効果的な方法であると考えています。当社はまた、結社の自由に対する全労働者の権利を尊重すると共に、従業員が報復や脅迫、あるいはいやがらせを受けることなく、労働条件や管理の現実に関して役職者と考えや懸念事項を共有する権利を尊重しています。

アナログ・デバイスは、そのサプライ・チェーンにおける人権保護に取り組んでおり、製造サプライヤには、当社のビジネス行動と倫理に関する規範、企業の社会的責任規範、およびRBA行動規範を遵守し、事業を行う国で適用されるすべての法律や規則に適合した、あるいはそれ以上の進歩的な雇用、環境、健康と安全、倫理的行動を維持することが求められます。

アナログ・デバイスは、RBAの行動規範が定める、大気や水の汚染、有害物質、廃棄物などの問題に対処するために設計された環境基準と、責任ある鉱物調達を求める倫理基準に従うことによって、コミュニティの人権を

尊重し、その製造活動がコミュニティに与える望ましくない影響を最小限に抑えることも目指しています。詳細については、[責任ある鉱物調達](#)および[EHS](#)のセクションを参照してください。

アナログ・デバイスの[反奴隷および人身売買に関する声明書](#)には、アナログ・デバイスとそのサプライヤが、人身売買の防止に関する法令と規則、アナログ・デバイスの[ビジネス行動と倫理に関する規範](#)、企業の社会的責任規範、および[RBAの行動規範](#)に定める要求をどのようにして満たすのかについて、その概要が示されています。

## 顕著な人権リスク

アナログ・デバイスでは、顧客、サプライヤ、従業員、および国連、SIA、RBA、SEMIなどの組織を含む主要ステークホルダーと定期的に関わりを持ち、半導体産業や当社が事業を行う場所における顕著な人権侵害リスクを特定するように努めています。

アナログ・デバイスの2023年の主な重点分野には、次のようなものがあります。

- ・ 奴隷および強制労働または児童労働から解放
- ・ 差別の解消と人権の尊重
- ・ 安全で清潔な作業環境を求める権利
- ・ プライバシーに対する権利
- ・ 職場における人道的扱いに対する権利
- ・ 各市場における生活賃金補償フレームワークの見直し
- ・ 報告プロセスおよび救済プロセスの周知

# 倫理的サプライ・チェーン

アナログ・デバイスは、責任ある調達方法の実現と倫理的サプライ・チェーンの確立に取り組んでおり、揺るぎない決意を持って会的責任、倫理的サプライ・チェーン、継続的改善の実現に臨んでいます。重視しているのは、一貫性と効率を推進する調達戦略です。

アナログ・デバイスは、半導体産業のための環境的、社会的、倫理的なサプライ・チェーン標準を設定するリーダーであるRBAと、その[責任ある鉱物イニシアチブ](#)および[責任ある労働イニシアチブ](#)、ならびに[米国半導体工業会](#)などのサプライ・チェーン関連組織と協力関係を結んでいます。RBAの監査プロセスは、当社のサプライ・チェーン管理プログラムにおける重要な要素の1つです。

アナログ・デバイスはRBA行動規範を採用し、当社の企業としての社会的責任規範と併せて使用しています。アナログ・デバイスはサプライヤがサプライ・チェーン全体にわたって倫理的かつ合法的に業務を行えるようにするための基準を定めています。

リスクを軽減するために、以下に述べるように、当社はサプライヤを審査し、監視するためのツールとプロセスを導入しています。

2023年、アナログ・デバイスはサプライヤ向けのウェブサイト[Analog.com/supplier-resources](https://analog.com/supplier-resources)を開設し、アナログ・デバイスのサプライヤへの期待事項や持続可能性に関する方針やプロセスを、サプライヤがより容易に入手できるようにしました。

## サプライ・チェーン方針と注意義務履行

2023年、アナログ・デバイスは企業方針を子会社および関連会社に拡大し、当社のバリュー・チェーン内のすべての下請け会社にも期待を浸透させました。アナログ・デバイスは、グローバル・サプライ・チェーンにおけるESG目標を管理し、推進するために、多くの場合、サードパーティと提携しながら、広範な方針、コミットメント、標準、プロセスを開発し、実施しています。

## 企業の社会的責任規範

アナログ・デバイスは、職場とその業務に関する社会的および環境的な責任の遂行を促進するために、国際的に認知された標準を利用する確固とした企業の社会的責任規範（CCSR）を採用しています。アナログ・デバイスのCCSRは、サプライ・チェーンに関わる労働者の権利と人権、安全衛生、環境、倫理、およびマネージメント・システムに関する要求事項を定めています。このCCSRには、労働者を人道的に取り扱うべきことを明確に求めるとともに、児童労働と非自主的労働を禁止しています。

アナログ・デバイスのサプライヤには、適用される法令、およびアナログ・デバイスの規範、CCSR、RBA行動規範の要求事項に適合するか、それ以上の進歩的な雇用、環境、安全衛生、および倫理的行動を維持することが求められます。

## サプライヤ倫理コミットメント

アナログ・デバイスは、世界中のサプライ・チェーンのあらゆる場所において、労働者、環境、企業にとっての価値を持続可能なものとするに取り組んでいます。世界中のサプライヤには、アナログ・デバイスと同じ企業倫理、標準、行動規範に従うことが求められます。

新規サプライヤはすべて、アナログ・デバイスのサプライヤ倫理コミットメント（SEC）に署名することが、受け入れプロセス時において義務付けられています。このSECは、RBA行動規範およびアナログ・デバイスの倫理基準に従うこと、およびそれをすべての下流側サプライヤにも周知することをサプライヤが書面で約束するよう求めています。サプライヤには、企業の社会的および環境的な責任に関する声明を職場に掲示し、コンプライアンスや継続的な改善への取り組みを確認することや、業績、業務内容、将来予測についての明確かつ正確な情報を、従業員、サプライヤ、顧客に提供することが求められます。

2023年、アナログ・デバイスはサプライヤの子会社および関連会社の言語をSECに追加し、ESGに関する意識と行動の拡大を支援するために、これらのサプライヤ関連の事業体にも要件を拡大しました。この追加に関する通知は、メール、2023年に開設したサプライヤ向けのウェブサイト、またSEC自体を通じて、サプライヤに周知されました。

## 責任ある企業同盟

アナログ・デバイセズは、責任ある企業同盟（RBA）に加盟しています。アナログ・デバイセズは、RBAのメンバーとしてRBA行動規範を採用し、これに従うことに同意しており、サプライヤに対しても同様にRBAの規範に従うことを求めています。アナログ・デバイセズの工場施設は、RBAの検証済み監査プログラム（VAP）を通じ、定期的な自己評価（SAQ）とサードパーティが主導する監査の対象となります。RBAメンバーシップ条件の一部として、アナログ・デバイセズは、SAQを完了したアナログ・デバイス所有施設の数と、重大な監査所見によってハイリスクに分類されたサプライヤがあるかどうかについて、RBAに報告を行います。

RBAのVAP監査プログラムは、RBA行動規範と適用法令への適合性を評価するものです。監査内容には、詳細な文書レビュー、管理職および従業員へのインタビュー、目視によるサイト検査などが含まれています。監査結果は、その施設から製品を購入している顧客と共有されます。2023年には、マレーシア、タイ、米国（オレゴン州ビーバートン、ワシントン州キャマス）の施設を対象としたRBA監査が実施されましたが、優先度の高い所見はありませんでした。2024年には、アイルランド、フィリピン、米国（マサチューセッツ州ウィルミントン）の施設でRBA監査を実施する予定です。

アナログ・デバイセズの最も新しいRBA VAP監査スコアは業界標準と比較されますが、当社のスコアは引き続き業界標準を上回っています。アナログ・デバイセズの最新のRBA VAP監査平均スコアは、200点満点中190点です。

VAP初回監査／確認監査のスコア：<sup>1</sup>

ADI - **190**

業界標準 - **129**

<sup>1</sup> 2023年12月現在のデータ

## リスク・ベースのアプローチとサプライヤの義務

アナログ・デバイセズはサプライヤに対し、最大限の誠実さを維持すること、および当該国において適用されるすべての法令、ルール、および規則に定める要求、またはそれ以上の基準を満たすことを求めています。アナログ・デバイセズは、公正な雇用体制、労働方針、人権に関する統計データ、および、環境への影響、安全衛生に関する事案、是正措置などを含むサプライヤの能力を評価し、これらの重大な問題に対処します。

新規サプライヤに対する受け入れプロセスの一環として、アナログ・デバイセズは、すべての新規サプライヤについて詳細な調査を行います。2023年、アナログ・デバイセズは、重要サプライヤの適性を再確認するために、注意義務に基づき、より厳密な追加調査を行いました。その調査項目は、人権、贈収賄／不正行為、労働力と雇用、知的財産権に関わるリスク、取引きの合法性、データ・プライバシーなどです。これらのサプライヤについては、アナログ・デバイセズの注意義務履行プロセスを通じて継続的に見直しが行われます。全体として、サプライヤ・スコアカードに盛り込まれるESGトピックの割合は、2023年には5倍に増加し、それに伴い当社のサプライヤ選定プロセスにおけるESGトピックの比重は16%増加しました。

更に、アナログ・デバイセズは直接サプライヤが毎年実施するRBA SAQを評価し、サプライヤのリスクとコンプライアンスを評価しています。一定のサプライヤについては、RBAから承認された独立の第三者機関による検証済み監査プログラム（VAP）によるコンプライアンス監査が2年ごとに実施され、社会的および環境上の監査とVAPプロトコルに従い特別なトレーニングを受けます。何らかの不適合が見つかった場合は、再発防止のために、封じ込めおよび是正のための措置が講じられます。RBAは不適合事項が見つかったサプライヤのために是正計画や予防計画を提供するだけでなく、認定プログラムも提供しています。このプログラムはVAP監査で特定された問題が終了したかどうかを検証して、企業の責任に対するサプライヤの取り組みを完了した施設を認定するものです。



アナログ・デバイセズは今後、サプライヤの選定および受け入れプロセスの一環として、サプライヤの多様性および受容性に関する基準を策定する予定です。その準備として、2024年には教育イベントやソーシャル・イベントを通じて、これらのESG優先事項への関与をサプライヤに促すことを想定しています。

## サプライヤの環境への影響

環境の持続可能性に対するアナログ・デバイスのコミットメントは、サプライヤに順次伝えられ、サプライヤの環境フットプリントを削減しています。当社のCCSRには、サプライヤが満たすべき環境上の期待事項がいくつかあります。例えば、以下のとおりです。

- ・ 特定有害物質の使用の禁止または制限に従うこと
- ・ すべての排出に関する法律や規則に従うこと
- ・ 廃棄物を制限または削減すること
- ・ 汚染を防止すること
- ・ 資源の使用量を削減すること

将来を見据えたアナログ・デバイスの目標には、サプライヤを環境コンプライアンスの先へと動かし続け、環境に対する実績をサプライヤ選択の基準として使用することを含めたサプライ・チェーンにおけるグリーン・イニシアチブを徹底することが含まれています。

### 紛争鉱物

多くの技術系企業と同様、アナログ・デバイスは製品の製造過程においてスズ、タンタル、タングステン、および金（3TG）を使用することがあり、一部の製品にはこれらの物質が含まれています。これらの鉱物は世界中で産出されますが、コンゴ民主共和国（DRC）およびその近隣諸国から調達される場合が多いことで知られています。この地域は、人権侵害が横行する武力紛争地域として認識されています。アナログ・デバイスは、製造サプライ・チェーン内におけるこれらの鉱物の調達を、この地域の人権侵害や武力紛争を助長したり、それらに関与したりしている供給源から行わないように努めています。

アナログ・デバイスの[責任ある鉱物調達方針](#)は、アナログ・デバイスおよびアナログ・デバイスのサプライ・チェーン全体における3TG鉱物の鉱物追跡可能性に関する要件を定義し、準拠した調達を維持するよう努めています。アナログ・デバイスの責任ある鉱物調達方針の実行を支援するために、経済協力開発機構（OECD）のデュー・ディリジェンス・ガイダンスに準拠した手順とプロセスが整備されています。

アナログ・デバイスは、2009年から責任ある鉱物イニシアチブ（RMI）（旧「紛争のない調達イニシアチブ（CFSI）」）のメンバーであり、RMIの責任ある鉱物保証プロセス（RMAP）を活用して、鉱物の原産国と製錬所または精製所のRMAPステータスを把握しています。RMAPプロセスには、検証済みの製錬所または精製所をサードパーティが独立して評価し、RMI基準への適合状況を判断することが含まれます。アナログ・デバイスはRMIイニシアチブの使用、および同イニシアチブへの支持と関与を続けており、現在は法的要求の枠を超えて、責任ある資源調達に影響するおそれがあるその他の鉱物の評価を行っています。

アナログ・デバイスのデュー・デリジェンス・プロセス、リスク・マネジメント計画、最新の調査結果に関する詳細は、[Form SD](#)にあるConflict Mineral Reportを参照してください。

### 環境製品コンプライアンス

アナログ・デバイスの環境方針および環境管理システムは、当社の半導体製品がコンプライアンス義務を満たしそれを上回ることを確実なものにします。更に、アナログ・デバイスの製品持続可能性プログラムでは、当社の集積回路製品が健康、安全、環境に与える影響を評価し、継続的な改善を図ると共に、懸念物質（REACH、RoHS、ELV）に関する関連規制への準拠を支援し、バリュー・チェーンのあらゆるポイントにおいて当社の製品に接触する人々を有害物質への暴露から保護します。アナログ・デバイスは、世界中の規制動向を監視し続け、最終製品に含まれる材料や環境物質に関する透明性を高めるため、顧客に対して、[オンライン](#)で定期的に最新情報を提供しています。



# 取引に関わるコンプライアンスと納税

## 取引に関わるコンプライアンス

アナログ・デバイセズの半導体ウェハは、社内およびサードパーティのメーカーによって製造されています。アナログ・デバイセズの集積回路製品は、マサチューセッツ州ウィルミントン、ワシントン州キャマス、オレゴン州ビーバートン、およびアイルランドのリメリックにある自社施設で、当社独自のプロセスにより製造されています。また、サードパーティのウェハ製造工場では、当社独自のプロセスと非独自のプロセスを混用して製造されています。当社のウェハ需要の約半分は社内製造で調達しており、残りの半分は、台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング・カンパニー（TSMC）などのサードパーティのウェハ製造ファウンドリから調達しています。ここではディープサブミクロンのリソグラフィ機能や大量生産能力が必要とされます。

当社の世界規模でのビジネス活動は、米国や外国政府の様々な法律、規則、規制に影響されます。当社の事業はグローバルに展開されているため、財務条件、事業、および全体の業績に悪影響を及ぼす可能性のあるいくつかのリスクや不確実性にさらされています。これらのリスクには、国際的な経済および政治情勢、当社が事業を展開する国々の間の地政学的な緊張、規制や法律上の要件における予期せぬ変更または課徴金、そして関税、割当て、みなし輸出規制、その他の貿易障壁などの輸出入規制が含まれます。

アナログ・デバイセズの法務およびリスク最適化部門には、当社が物品およびサービスの輸出入を管理する法律および規制を確実に遵守するための専任のグローバル・トレード・コンプライアンス・チームがあります。このチームは、国際貿易法および多国間輸出入規制の遵守に焦点を当てています。更に、チームが戦略的なアドバイスや指導を提供

し、当社の事業グループと協力して、職種を越えた社内連携を可能にし、国境を越えた販売と製品流通を促進しています。グローバル・コンプライアンス・チームは、米国、アジア太平洋地域、ヨーロッパ、中東、アフリカの各地域をカバーする、世界各地の対象分野の専門家で構成されています。このチームは、製品分類、ライセンス認可の確保、および制裁措置、禁輸国、規制対象組織を含む方針、プロセス、プログラムの策定など、様々な活動を管理しています。これらの措置は、輸出入が禁止されている国や組織との物品、サービス、技術の不正な取引を防止することを目的としています。

## アナログ・デバイス製品の不正転用

ロシアによるウクライナ侵攻を受け、また、米国およびEUの制裁に従い、アナログ・デバイセズはロシアおよびウクライナとベラルーシのロシアが支持する地域における事業活動を停止しました。また、当社の全代理店に対し、これらの地域への当社製品の出荷を直ちに停止するよう指示しました。アナログ・デバイセズは、ロシア軍の装備品への当社製品の使用や、意図または認可されていないエンド・アプリケーションとしての当社製品の使用を容認または支持することはありません。また、米国または国際的な制裁の対象となっている国や団体へのアナログ・デバイス製品の不正転用を容認または支持することはありません。

アナログ・デバイセズは、半導体業界における不正転用の深刻さを認識し、理解しており、当社の法的義務を上回る方針を定めています。当社は、当社製品の不正使用や不正転売を特定し、防止することで、悪質な行為に対処しこの

行為を阻止するための強固で包括的なプログラムを実施しています。アナログ・デバイセズは、そのチームを拡大し、不正流通業者の活動によるリスク軽減に重点的に取り組んでいます。このチームは、不正流通業者の活動を可能な限り識別し、効果的に管理し、防止するための適切な管理を徹底しています。

アナログ・デバイセズは、ブローカーや転売者による半導体部品の不適切な転売を調査する政府機関の取り組みに協力し、複数の法執行機関、政府、外部機関と提携して適切な措置を講じています。アナログ・デバイセズは、当社製品の安全性と完全性を確保することに全力でコミットしており、今後も不正な製品転売のリスクを低減するために必要な措置を講じていきます。



## 納税

アナログ・デバイセズは責任ある納税者であり、法令上の義務に従い、当社が事業を行う各国の税務当局に完全に情報を開示することを旨としています。当社の税金対策は、ビジネス戦略および持続可能性戦略と密接に連携しており、税務会計は当社の厳格なガバナンス基準に従って管理されています。

当社の納税は、企業所得、雇用、資産、およびその他の納税で構成されています。当社は、事業を行う管区の税法に確実に準拠するよう、適切な方針、管理構造、ガバナンス・プロセスを維持しています。アナログ・デバイセズの[グローバル・タックス方針](#)は、重要な税リスクを特定するためのフレームワークとして役立ちます。当社はこうしたリスクを、適切に設計され運用されている統制手段、方針、対処方法を通じて管理しており、これらは内部監査により定期的に監査されています。また、これはサーベンス・オクスレー法に従うことを目的としています。このフレームワークは、取締役会、当社のマネージメント・チーム、および税組織全体によって、すべて受容され支援されています。パターンには取締役会の監査委員会は、当社の税金対策を監督し、税理士と定期的に打ち合わせを行い、税に関する方針および、各種税法や税規制が事業に及ぼす影響について議論しています。その結果は、透明性があり、国際的に受け入れられている納税原則に従う税構造となって表れています。

アナログ・デバイセズの税務チームは、その税義務が適切、効果的、かつ適正に処理され、U.S. GAAPの報告要件に従い年間報告および四半期報告で開示されるよう努めています。アナログ・デバイセズの豊富な経験と情報量を持つ有資格税理士が、税統制フレームワークや毎日の税務会計の管理と監督を実施しています。税部門のメンバーは、社内外のトレーニング・プログラムを通じ、世界的な税務状況の最新の展開に対応できるようにしています。必要に応じて、税務リスクの管理と税務に関連する事項の正確性を確保するために、社外の税務アドバイザーに依頼しています。



アナログ・デバイセズは多くの異なる税管区で業務を行っており、連結企業グループ内での国境を越えた支払いを含む振替を頻繁に行っています。こうした国内外の取引に伴う税務上の問題の可能性を回避するため、当社は移転価格税制に依存し、そのような取引が互いに関係のない第三者間で行われる場合と同じ価格構造を使用しています。移転価格は、各国固有の移転価格規則に準拠し、[OECD移転価格ガイドライン](#)に従っています。アナログ・デバイセズは、移転価格が独立企業間価格であることの重要性、および、価額に寄与する地域に適切に納税が行われることの重要性を認識しています。

アナログ・デバイセズは世界中で事業を展開しているため、当社が業務を行う様々な管区において、利用可能な税制上の優遇措置や税規制を活用しています。当社は、税制上の立場のあらゆる側面についてクリアであることを目指しており、また、税務上の立場に関する情報を率直に各管区の税当局と共有することにより、公正かつ透明性が高く、信頼できる関係を築いています。当社の所得税の詳細については、2023年10月28日までの会計年度のフォーム10-Kに関する当社年次報告に記載された連結財務諸表の[脚注12](#)を参照してください。

アナログ・デバイセズの税方針および透明性に関わる詳細については、[グローバル・タックス方針](#)を参照してください。

# プライバシーと情報のセキュリティ

## グローバル・データ保護とプライバシー

アナログ・デバイスズは、EUの一般データ保護規則（GDPR）、中国の個人情報保護法（PIPL）、およびカリフォルニア州の消費者プライバシー法（CCPA）を含む、グローバルなデータ・プライバシー規則を遵守することに尽力しています。アナログ・デバイスズでは、強固なビジネス手法と、個人情報に価値を置く企業文化を育成することを目標としています。私たちは、プライバシー問題に関する意識を高めること、当社のステークホルダーとコミュニケーションを図ること、アナログ・デバイスズのデータ・プライバシー・プログラムについて透明性を確保すること、従業員を教育すること、新規サプライヤーおよび技術の評価すること、個人情報を取り扱う際に適切な企業活動を実践していくことで、この目標を達成しようとしています。

アナログ・デバイスズのデータ保護およびプライバシー・プログラムはデータのライフサイクルを中心として構成されており、これには個人情報の収集、使用、共有、削除が含まれています。2023年、アナログ・デバイスズはすべての従業員に対しデータ保護に関する新たな通知を行い、世界中のマーケティング・チームとデータ保護責任者への教育を実施しました。また、データ・プライバシーに関する問い合わせに対応するため、一元化されたプライバシー・メールボックスを積極的に監視し、関連する従業員に対して新しい法的および組織的要件に焦点を当てたデータ・プライバシー・コンプライアンス・トレーニングを実施しました。

アナログ・デバイスズのデータ・プライバシー・プログラムでは、以下のような価値を優先しています。

- ・ **透明性**：どのような個人情報が収集され、そのデータがどのように利用されるかについて、各人に通知します。

- ・ **データと情報のセキュリティ**：個人情報を保護するためのツールと手順を導入します。
- ・ **時代を先取りしている点**：データ・プライバシーの世界は急速に変化しています。私たちは法律やトレンドを積極的に追跡し、アナログ・デバイスズが常に時代を先取りできるようにします。また、ステークホルダーに対して、新たな要件や必要な変更についての教育を行います。
- ・ **準備状態**：ビジネス上の意思決定や、製品およびサービスの開発を行う際に、プライバシー・バイ・デザインを適用します。データ漏洩を防止するための積極的な措置を講じ、万が一データ漏洩が発生した場合は迅速に対応します。
- ・ **安心感**：必要のなくなった個人情報は削除します。
- ・ **応答性**：当社のチームは、データ・プライバシーに関する質問にいつでも対応します。

アナログ・デバイスズは、データ保護に関する規制活動やトレンドについて報告するために、職種を越えたデータ保護およびプライバシー・チームの会議を四半期ごとに開催しています。

## 企業情報セキュリティ

サイバーセキュリティ・インシデント発生の可能性や影響を最小限に抑えるために、アナログ・デバイスズは、当社のネットワーク、デバイス、データを外部および内部の脅威から保護するためのサイバーセキュリティ保護を展開しています。これらの保護は、世界共通のセキュリティ規則に従って行われています。

アナログ・デバイスズの企業情報セキュリティ・プログラムは、国際標準化機構（ISO）や米国国立標準技術研究所（NIST）によって発行されたものを含む業界標準に基づいて作られています。



## プログラム要素

アナログ・デバイスは、以下のNISTのフレームワークの5要素をすべて盛り込むことで脅威に対抗しています。

- 重要な資産と高リスクの脅威を特定
- 年中無休のオペレーション・センターでサイバーセキュリティ検出を実行
- セキュリティ・コントロールおよび改善を定常的に実施
- インシデント・レスポンスの能力を備える
- サードパーティ・リスク・マネージメント・プログラムを  
実行してパートナーのサイバーセキュリティ体制を評価
- 広範なサイバーセキュリティ方針と手順のセットの維持

アナログ・デバイスのサイバーセキュリティ・プログラムで特定されたリスクは、当社に影響を及ぼす可能性とその発生の可能性を判定するために分析されます。そのようなリスクは継続的にモニタし、そのようなリスクの状況や重大性が変わっていないことを確認します。また、内部監査、および独立した情報システム専門家による定期的な外部監査を行い、当社のセキュリティ・プログラムの有効性を評価し、各種コントロールと標準の妥当性と適合性を判定しています。

当社のサイバーセキュリティおよび情報セキュリティのリスクと監督に関する追加情報については、2023年10月28日に終了した会計年度に関する[フォーム10-Kに関する当社年次報告](#)をご覧ください。

## 外部入力

アナログ・デバイスは、脅威の評価とベスト・プラクティスのベンチマークを定期的に行っています。インテリジェンスの共有は、この分野をリードするグローバル・セキュリティ・プロバイダ、米防衛情報共有・分析センター、および同業者などと共に行われており、すべての参加企業が自社のサイバーセキュリティ・プログラムの改善に役立てています。

## セキュリティ意識とトレーニング

教育は、当社におけるすべてのサイバーセキュリティ・プログラムの中でも重要なツールです。関係する全従業員を対象に定期的にトレーニング・セッションを提供し、サイバーセキュリティ上の懸念事項を特定して適切なアクションが取れるよう教育しています。このトレーニングには、フィッシング、マルウェア、ソーシャル・メディア、インシデントの報告方法といったトピックが含まれます。アナログ・デバイスでは、全社のマネージド・システムやワークステーションにアンチウィルス・ソフトウェアをインストールし、定期的に更新することで、当社のシステムに影響する悪意のあるコードを検出し防御しています。

## 外部認証

サイバーセキュリティ成熟度モデル認証（CMMC）は、秘密の未分類情報を保護できるよう設計された、企業のサイバーセキュリティ実装のための統一標準です。これは米国

国防総省（DoD）によって開発されたもので、DoDに納入する300,000社の企業に適用されると見込まれており、早くも2025年第1四半期からの適合が求められています。このフレームワークは、NIST 800-171で指定された110のコントロールをカバーしています。アナログ・デバイスは、CMMC認証を得ようとしており、連邦官報での最終規則の発行を待っているところです。

アナログ・デバイスは、役員主導による機能横断的な運営委員会を通じてサイバーセキュリティのリスクを管理しています。委員長は最高情報セキュリティ責任者が務め、セキュリティ・ガバナンス、サイバー・リスクの調整とモニタリング、潜在的なサイバー・インシデント、およびリスク軽減のための主要イニシアチブについて責任を担います。

アナログ・デバイスの取締役会にはサイバーセキュリティの専門知識を持つメンバーが4人含まれており、当社の情報セキュリティ・プログラムを監督することで取締役会を支援しています。また、幹部のリーダーシップと内部監査により、監査委員会に当社のサイバー・プログラムの実績を定期的にアップデートしています。最高情報責任者は、少なくとも1年に1回、サイバーセキュリティを含む情報セキュリティ関連事項やリスクについての情報を更新して取締役会の全員に報告し、監査委員会には四半期ごとに更新情報を報告します。



# 製品保護

アナログ・デバイスズは、当社製品のセキュリティ、安全性、品質の向上に継続的に投資することで、当社のソリューションの安全かつ意図した用途をサポートし、画期的な進歩の加速を支援します。

## 製品のセキュリティ

分散型コンピューティングは、私たちの世界に更なる繋がりをもたらし、広範な情報、プロセス、インフラストラクチャへのアクセスを向上させています。人々、プロセス、資産が安全で、意図したとおりに運用できるよう、十分なレベルの保護を追加することがこれまで以上に重要になっています。脅威は、拡大するデジタル・フットプリントによってもたらされるアクセス、能力、独創性の広がりと共に増え続けています。規制や標準は、増大する脅威の状況から保護するために作り出されています。アナログ・デバイスズのような企業は、不正使用を積極的に防止し、新たに出現する脅威に迅速に対応しながら、イノベーションを速いペースで継続させるため、最前線で取り組んでいます。

アナログ・デバイスズはセキュリティに関して顧客第一主義のアプローチを取っており、その使用法、ニーズ、組み込み方法を理解し、適切なソリューションの提供に取り組んでいます。市場と用途が異なれば、必要とされるセキュリティ要件の範囲も異なります。個人の健康情報、国家のセキュリティ問題、あるいはデータ・プライバシーに関する要求事項など、どのような問題を扱うかに関わらず、エコシステムの幅広い相互運用性を実現し、新しいソリューションの展開を加速するために、アナログ・デバイスズは、使用環境と該当する規制環境の両方を考慮して設計を行います。

## ガバナンスと予防

アナログ・デバイスズの安全な開発プロセスは、標準、規制、脅威モデリングから適切な要件を導き出すことで、新製品がエンド・マーケットに適合していると同時に、関連する脅威状況においても保護されるように設計されていることをサポートするのに役立ちます。標準が確実に満たされるように、当社ではエンジニア向けに、製品セキュリティ・リソースや教育プログラム一式を整理し、アクセスしやすい形で用意しています。

当社ではプロセス制御を重要視しており、幅広い製品ライン全体で高いセキュリティ標準が確実に満たされるようにしています。アナログ・デバイスズは、製品のライフサイクル全体を通じて製品を安全に管理するための開発環境を超えたツールを提供しています。これらの機能は、製品の用途に適している場合、顧客アプリケーションでも利用することができます。更に、既知の脆弱性について製品ファミリーを厳重に監視すると同時に、ホワイト・ハッカー、顧客、その他の人々が新たな脆弱性を安全に報告できるよう、インシデント対応ポータルを拡張しています。アナログ・デバイスズのインシデント対応チームは、必要に応じて既知の脆弱性の積極的な修復または緩和に努めています。アナログ・デバイスズでは、通知と更新によってこの種の問題に迅速に対応することを目指しています。

アナログ・デバイスズは、拡大する脅威環境と規制要件を監視し、近い将来発生するであろう脅威から保護する製品とソリューションを積極的に設計します。また、新たな攻撃を識別し、悪用された脆弱性から回復し、セキュリティ・プロトコルを迅速に更新するシステムの機能を強化する技術を確認します。



# 公共政策

## アプローチ

公共政策へのエンゲージメントにより、アナログ・デバイスは、当社のビジネス、当社が事業を行っている地域社会、半導体産業全体などに直接影響する問題について、米国および世界中の政府のどちらにもソート・リーダーシップを発揮できます。

アナログ・デバイスは、連邦および州レベルにおいて、政府職員、業界団体、その他の団体などと交流し、主要省庁や政府機関に教育を提供し、国際貿易、税務、サプライ・チェーンのレジリエンス、先進的な研究技術とイノベーション、知的財産権、労働力の開発、気候変動や責任ある材料調達などの重要問題について提言を行っています。州での取り組みは、当社が最大の影響力を持つ従業員および経済的発展の支援に焦点が置かれています。

アナログ・デバイスは米国および世界中の業界団体に加盟しており、半導体業界や当社が事業分野とするその他の業界の利益を代表しています。これらの組織は、主要な公共政策課題についての業界の合意や主張を形成するために機能します。業界団体に当社が加わっているからといって、ある問題に対する業界団体の立場すべてに同意するわけではありません。

アナログ・デバイスは現在、米国半導体工業会（SIA）および国際半導体製造装置材料協会（SEMI）などの業界団体のメンバーとして活動しており、CEOはSIAの理事を務めています。アナログ・デバイスが大きな影響力を持つ州では、地域的な競争力を向上させ、過小評価グループに関わる教育と雇用の機会を改善するために、州の政策に焦点を当てた各種団体の活動を支援しています。更に、アイルランド、インド、フィリピン、中国およびその他の主要地域にある米国以外の業界団体にも加盟しています。

アナログ・デバイスの支援活動は、合法的な活動だけを通じて行われています。法の定めに従い、アナログ・デバイスは、その支援活動に関して、連邦政府、州政府、および地方政府にロビー活動の開示記録を提出しています。中間的な組織を介した直接的な献金を含め、いかなる政党や候補者にも政治献金はありません。この方針は、こうした献金が法的に許される場合でも、世界中に適用されます。当社の公共政策および政府との関係は、アナログ・デバイスの世界中の政府関連業務チームによって管理されています。取締役会の指名およびコーポレート・ガバナンス委員会は、当社の方針および実務を監督し、こうした方針や実務に関しアナログ・デバイスの管理職から定期的に報告を受けています。

## 2023年の支援活動

2023年、アナログ・デバイスは、既存の関係を強化し、議会の新たなメンバー、バイデン政権、および大きな影響力を持つ州の知事などとの関わりを拡大することによって、米国内でのこれまでの努力に基づく活動を行いました。

連邦レベルでは、科学技術分野において米国史上最大規模の巨額投資の1つであるCHIPSおよび科学法の実施に関する政策議論に参加しました。アナログ・デバイスは、地域的なR&Dエコシステムを拡大させるために、米国立半導体技術センターやマイクロエレクトロニクス・コモンズを含め、CHIPSに関わるいくつかの先進的研究プログラムをリードする発言者としての役割も果たしてきました。

世界的なスケールで見た場合、公共政策に関してアナログ・デバイスが焦点を置く領域には、サプライ・チェーンの強靭さ、労働力の開発、条件の公平化、私たちを取り巻く世界を改善する技術の振興が含まれています。アナログ・デバイスの公共政策イニシアチブには、国境を越えたプロジェクトの支援や、これらの項目に関わる官界の教育および官界との協力が含まれています。



# 安全衛生

## アプローチ

従業員と受託業者の健康と安全は最優先の課題です。

アナログ・デバイスが安全な事業環境を維持できるよう支援するために、すべての製造施設には従業員安全衛生委員会が置かれています。アナログ・デバイスの方針は、労働と人権、安全衛生、倫理、管理システム、およびデータ・プライバシーの各分野における自社およびサプライヤに対する当社のアプローチを詳細に説明しています。

2023年には、アナログ・デバイスの安全衛生に対するビジョン、ミッション、およびコミットメントを反映した、環境、健康、安全（EHS）に関するより包括的な新方針を発行しました。これにより、持続可能で安全かつ健康的な職場環境の実現に向けた取り組みが更に強化されました。当社は、四半期ごとのEHSレビュー、隔週のEHSリーダーズ・フォーラム、年次戦略会議、および毎月の負傷事故調査委員会を通じて、サイト間の連携、標準化、コミュニケーションを継続的に推進しました。

### アジアの各拠点における安全週間

フィリピンとマレーシアの当社の各拠点では、従業員の安全意識を高めることを目的とした安全週間のイベントを開催しました。フィリピンのイベントでは、交通安全、応急処置、プロセスに基づく安全に関する学習セッションが行われ、安全ポスターのコンテストや、安全衛生にフォーカスしたゲームを実施し、安全推進者の表彰も行いました。マレーシアの各拠点では、応急処置、騒音への注意、火災安全、交通安全に関する外部ゲストによる講演が行われました。また、その週にはカイゼン研修、消火器のデモンストレーション、献血活動も実施されました。

「アナログ・デバイスのビーバートン緊急対応チームの一員として、すべての従業員の安全で安心な環境を確保する安全衛生プログラムをサポートできることを誇りに思い、これらの価値を優先する企業で働けることにやりがいを感じています。2023年には当社のすべての製造施設でISO 45001労働安全衛生マネージメント・システム（OHSMS）認証を取得でき、大変嬉しく思います。」

—Tay R.、設備技術者、オレゴン州ビーバートン

## ISO 14001および45001の企業認証

2023年、アナログ・デバイスは、カリフォルニア州サンノゼにあるすべての製造施設およびオフィスを対象に、ISO 14001環境マネージメント・システム（EMS）およびISO 45001労働安全衛生マネージメント・システム（OHSMS）の企業認証を取得し、大きな節目を迎えました。アナログ・デバイスとマキシムの統合施設における管理システムを調和させ、オレゴン州ビーバートン、フィリピンのカビテ、タイのチョンブリーにあるレガシー・マキシムの施設をISO 45001認証に含めました。

## 安全衛生トレーニング

従業員のEHSに対する責任を担う従業員を支援するため、アナログ・デバイスは、知識やスキルを養う包括的な安全衛生トレーニングを用意しています。製造部門の従業員は雇用時にEHSトレーニングを受けます。従業員の多様なニーズに応えるため、様々な学習方法が取り入れられています。また、EHSトレーニングは、様々な言語で提供され、なおかつウェブベースのプラットフォームでもオンサイトのプラットフォームでも利用可能です。トレーニング情報も、危険物管理、電気的安全性、工具の安全性、人間工学に基づく職場設計など、特定のジョブで必要とされる内容に応じて調整されています。

2023年、アナログ・デバイスは、カリフォルニア州サンノゼにあるすべての製造施設およびオフィスを対象に、ISO 14001環境マネージメント・システム（EMS）およびISO 45001労働安全衛生マネージメント・システム（OHSMS）の企業認証を取得し、大きな節目を迎えました。アナログ・デバイスとマキシムの統合施設における管理システムを調和させ、オレゴン州ビーバートン、フィリピンのカビテ、タイのチョンブリーにあるレガシー・マキシムの施設をISO 45001認証に含めました。

### 緊急対応におけるローカル・パートナーとの連携

アナログ・デバイスの半導体製品の製造は安全かつ厳重に管理されていますが、危険物を使用する必要があります。従業員の安全を確保し、緊急時に外部機関と適切な連携ができるよう、アナログ・デバイスのキャマス工場では、2023年2月に大規模な訓練を実施しました。複数の管轄機関（バンクーバー危険物対策局、バンクーバー消防局、キャマス・ワシューガル消防局）と連携し、危険物に関連する緊急事態の可能性に対応する訓練を実施しました。訓練後には、当社の施設と製造活動のツアーが開催され、当社の施設レイアウトと業務について、緊急対応者の理解を深めました。このチームワークにより、アナログ・デバイスは、万が一緊急事態が発生した場合に、従業員、緊急対応者、および周辺コミュニティを保護するために、これらの機関と効率的かつ効果的に連携することができます。



## 安全衛生プロセスの管理

2023年、アナログ・デバイスズはEHSに関する活動や事故をより効果的に管理、追跡するための記録システムを採用し、導入しました。現在では、傷病の追跡、検査の文書化、行動項目の追跡、事故管理をより堅牢に促進する企業向けソフトウェア・ソリューションを使用しており、これには調査の記録、根本原因の分析、是正措置の完了も含まれます。このシステムにより、アクセス制御された集中管理で、負傷、EHS関連のイベント、検査、不適合または違反の通知を追跡することが可能になり、当社のEHSプログラムの管理方法が更に改善されました。

## 2023年実績

アナログ・デバイスズは、安全衛生に関する実績を継続的に向上することへのコミットメントを支持する指標の重要性を認識しています。当社は、業界標準となっている2つの指標、事故率および労働損失日数率を使用して、世界的規模での傷害防止実績と傾向を評価しています。どのように対処し、どこを改善すればよいかを把握するため、指標の確認は定期的に行っています。当社は事故率と労働損失日数率を、米国の半導体産業および製造業における比率を基準に比較しました。

2023年におけるアナログ・デバイスズの記録可能な負傷率は0.16で、この記録には、安全を強化して従業員を保護するためにアナログ・デバイスズが現在払っている努力が反映されています。2023年における事故率および労働損失日数率については、業界平均よりも良い値を達成しました。その計算には、全正規従業員に加え、臨時雇用の従業員も含まれています。負傷事故のタイプはサイト・レベルで追跡され、その主要なカテゴリには、足を滑らせての転倒、過労、人間工学上の問題などがあります。

2023年、死亡事故はどの拠点でもありませんでしたが、グローバル・レポートング・イニシアチブによって重大事案に分類される負傷事故が4件ありました。アナログ・デバイスズでは、安全衛生実績を継続的に向上するために、EHS専用の手順および細目の維持管理、定期的な自己評価または自己監査の実行、安全衛生に関する情報発信、負傷件数の追跡、安全に関する事故調査の実行、原因および是正措置の特定、などをサイトごとに行っています。

ISO規格とコンプライアンスによる可視性の向上、強化された当社のEHS方針、徹底的な調査により、事故の再発を回避できるため、当社の安全衛生に関する実績は引き続き改善されると確信しています。拠点レベルでは、経営陣による積極的なサポートにより、安全が可視化され、EHSの成果が強調されるよう努めています。

### アナログ・デバイスズのタイ・チョンブリー工場がプラチナ・クラス賞を受賞

アナログ・デバイスズのタイ・チョンブリー工場は、労働保護福祉局が主導するタイのZero Accident Campaignの一環として、2年連続でプラチナ・クラス賞を受賞しました。このキャンペーンの目的は、職場における安全問題への意識を高め、国全体の安全文化を育むことです。同工場は、その優れた安全記録により、Zero Accident Campaignの一環として9年連続で受賞しています。

# 環境サステナビリティ

環境サステナビリティは、アナログ・デバイスズのビジネスの中核をなすものです。アナログ・デバイスズは、その独創性と技術力を活かして、現実の世界とデジタルの世界を結び、それによって真に重要な問題を解決できるようにすることに努めています。気候危機は世界共通の課題であり、当社は、地球をより良くするというサービスにおいて、問題解決およびイノベーションの企業文化を活用したいと強く望んでいます。

## このセクションの内容：

- 62 業務の最適化
- 63 環境目標の2023年における進捗状況
- 64 気候とエネルギー
- 67 水
- 70 廃棄物
- 72 生物の多様性
- 73 サステナブル・ファイナンス

# 業務の最適化

2050年までにネット・ゼロを達成するという当社の計画を実行し続ける場合、信頼できる気候計画には、最も削減困難な排出のオフセットを検討する前に、まず、排出量削減が必要であることをアナログ・デバイスズは認識しています。当社は、水の利用や廃棄物量の実務においても同じアプローチを取ります。

アナログ・デバイスズは、自社の環境サステナビリティへの取り組みをどのように実現するかを示す、複数年にわたる包括的ロードマップを作成しています。2025年までに温室効果ガス（GHG）排出量の大幅削減を実現するためのツーリングの選択は完了していますが、それでも、オレゴン州ビーバートン、ワシントン州キャマス、およびアイルランドのリムリックにおける合計生産能力は倍増する予定です。

水の使用量削減、埋め立て廃棄物ゼロ、GHG排出量削減に関わるアナログ・デバイスズの目標達成を支えるのに必要なロードマップを決定し実行するために、サイトや組織の境界を越えたチームが稼働しています。これらのチームは、データ、戦略、およびベスト・プラクティスを共有して、アナログ・デバイスズの環境フットプリントを削減する計画について協力するために、少なくとも月に1回ミーティングを行っています。また、これらのミーティングにはアナログ・デバイスズの工場運営、施設、およびEHSチームのメンバーが参加してこれを主導し、その監督は、製造サステナビリティ・イニシアチブに責任を有する工場のリーダーが行います。

## フィリピンにおける地球への善行

フィリピンでは、水効率の高い蛇口器具を使用したり、雨水、逆浸透膜の排水から非飲用水源を更に確保したり、灌漑やトイレの水洗には冷却塔の排水を使用したりすることで、真水の使用量を削減しました。また、今年は、エネルギー使用の大半を再生可能エネルギー源に移行する上で、大きな進展がありました。

従業員は、生物多様性、野生生物、リサイクルなどをテーマとしたイベントを開催し、アース・ウィークを祝いました。フィリピンで取り組まれているマングローブの再植林活動の一環として、ボランティア主導のグリーン・チーム・ネットワークにより、2,265個の散布体がカビテ州ナイク市の海岸線沿いに植えられました。



# 環境目標の2023年における 進捗状況



**目標:** 2025年までにアナログ・デバイスズ製造施設<sup>1</sup>での再生可能エネルギー使用率**100%**

**実績:** **58%**の再生可能エネルギー使用率



**目標:** 2019年から2030年までにスコープ1およびスコープ2の温室効果ガスの排出量を**50%以上絶対削減**

**実績:** **20%**削減



**NEW 目標:** アナログ・デバイスズの工場からのスコープ1の温室効果ガス排出量を2022年から2026年までに**75%**削減



**目標:** 2022年から2027年までの生産実績で正規化した取水量削減率<sup>2</sup>を**50%**削減

**実績:** **6%**削減



**目標:** 2019年から2030年までに、アナログ・デバイスズの製造施設<sup>1</sup>から埋め立て地に送られる廃棄物を**100%**削減

**実績:** **96%**削減

<sup>1</sup> 製造施設には、加工、組み立て、現地での試験を行う場所が含まれます。

<sup>2</sup> 取水量は工場の生産実績に合わせて正規化されます。その基準と計算方法についての説明は[こちら](#)を参照してください。



# 気候とエネルギー

## アプローチ

世界的な環境上の課題は極めて大きく、あらゆる産業のあらゆる規模のステークホルダーが気候変動に対応するための役割を持っています。アナログ・デバイスも例外ではありません。アナログ・デバイスは、2050年までにネット・ゼロを実現するという目標に取り組んでいます。アナログ・デバイスの製造施設からのGHG排出量は、当社のスコープ1およびスコープ2の排出量の大部分（91%）を占めています。従って、短期的にはスコープ1およびスコープ2の排出量を削減することに注力しています。そのために、以下に示す、最大の影響をもたらすコスト効率の高いイニシアチブに焦点を置いています。

- ・ プロセスと機器の最適化
- ・ アナログ・デバイスの世界中の製造活動を通じて再生可能エネルギーの使用量を増やす
- ・ エネルギーの効率と保護
- ・ 製造施設のスマート・モニタリングと制御
- ・ 従来からの製造廃棄物の流れで循環型経済を実現

アナログ・デバイスは、下流でのアプリケーションとなる可能性のある中間的な製品を製造しており、それぞれが異なるGHG排出プロファイルを持っています。アナログ・デバイスの行動計画の重要な要素は、温室効果ガス・プロトコルのガイダンスに合わせて、該当するスコープ3カテゴリのインベントリを作成し、計算と報告を行うことです。

当社のスコープ3データは、インベントリ化され、検証されています。更に、2021年より、当社のスコープ3データは第三者による保証を受けています。スコープ3排出量を計算するために、アナログ・デバイスは、排出カテゴリに応じて1次データと2次データを組み合わせ、利用可能なデータに応じて複数の方法論を組み合わせ使用しています。購入物品およびサービス、資本財については、CDPの1次データとCEDAの排出係数を使用して排出量を算出しています。支出データや消費データを排出量に換算する際には、世界的に入手可能な最新の代表的な排出係数を使用しています。

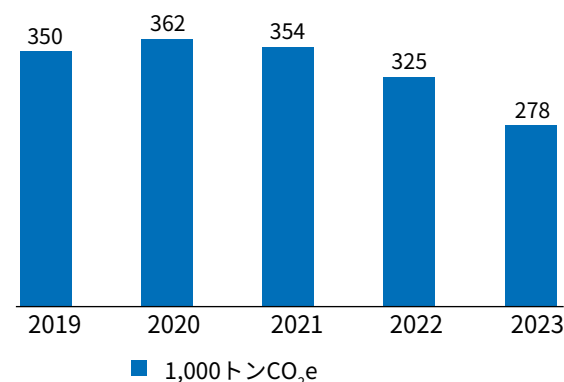
### CO<sub>2</sub>排出量プロセス最適化による

2023年、アナログ・デバイスのビーバートン・サイトでは、イオン・ビームを制御する共振器CANと呼ばれる特定の部品の高電圧絶縁ガスとして使用されるSF6を回収するクローズド・ループ・システムを導入しました。この改善により、年間2068トンのCO<sub>2</sub>eの排出を回避することができます。



## 目標達成状況<sup>1</sup>

### スコープ1+2（市場ベース） 絶対排出量<sup>2</sup>



### スコープ1および2排出原単位<sup>3</sup>

#### 収益別

2023年と2022年  
の比較

↓16%

2023年と2019年  
の比較

↓47%

2023年、アナログ・デバイスのスコープ1およびスコープ2絶対排出量は、2019年比で20%減少しました。これを収益で正規化すると、アナログ・デバイスのGHG原単位は2019年比で47%、2022年比で16%減少したことになります。

アナログ・デバイスの現在までの削減の大部分は再生可能エネルギーへの移行によるもので、これは認証済みのグリーン・エネルギーや容易に調達可能な再生可能エネルギー証書（REC）を利用できる製造施設によって促進されています。現場の太陽光パネル・アレイを利用することも、再生可能エネルギー使用率を向上すると共に、電力網への電力依存度を軽減するのに役立っています。Anveshanのアナログ・デバイスの世界中の製造拠点における再生可能エネルギー使用率は58%に達しており、RECを通じて126ギガワット時（GWh）を超える再生可能エネルギー・クレジット（RECS）を購入しました。

再生可能エネルギーへの移行がこれまで最も影響力のある機会でしたが、エネルギー効率および工程からの直接的な排出量削減に焦点を置いた排出量削減イニシアチブも、今日までの削減に寄与しています。こうしたイニシアチブには以下のようなものがあります。

- ・ 低排出ガス機器の使用といった製造プロセスの最適化、プロセスの改善、ガス消費量を削減するためのレシピの最適化。
- ・ GWP（地球温暖化係数）が高いフッ素系GHGの熱破壊を通じて排出を低減する削減システム。
- ・ 装置のアップグレード、ビルディング・エネルギー・マネージメント・システム、エネルギー効率の高いLED照明のアップグレードなどの省エネルギー・イニシアチブ。
- ・ 2023年には、アイルランドのリムリックにあるアナログ・デバイスのサイトが、エネルギー管理システムの国際規格であるISO 50001の認証を当社のサイトとして初めて取得し、エネルギー効率へのコミットメントを実証しました。更に、他のサイトでの認証取得も計画されています。

### アナログ・デバイスの製造施設における 再生可能エネルギーの進捗

アナログ・デバイスの製造施設における再生可能エネルギーの進捗アナログ・デバイスは、米国マサチューセッツ州、オレゴン州、ワシントン州、およびアイルランド、マレーシア、タイ、フィリピンに独自の製造施設を運営しています。当社施設における2023年の再生可能エネルギーの進捗のハイライトとしては、以下が挙げられます。

- ・ マレーシアのペナンにある当社工場では、グリーン電力料金による電力購入を通じて、2023年の全期間にわたり100%再生可能エネルギーで稼働しました。
- ・ マサチューセッツ州ウィルミントンにあるアナログ・デバイス本社は、Green-E認証を受けたRECの調達を通じて、1年の半分は100%再生可能電力を利用しました。
- ・ ワシントン州キャマスとアイルランドのリムリックにある当社の工場では、100%再生可能エネルギーの使用を続けました。
- ・ フィリピンにある当社のキャンパス内の2つのビルディングでは、2023年末までに電力需要の大部分を再生可能エネルギーにシフトし、サイト全体の再生可能エネルギー利用率を増加させました。

<sup>1</sup> スコープ1、2、3のGHG排出量の算出方法の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

<sup>2</sup> WRI/WBCSD GHGプロトコルによる：アナログ・デバイスは、データ構成や計算方法の変化、排出係数や活動データの精度向上、および発見された誤差を反映するために、基準年である2019年のGHGデータとエネルギー・データを調整しています。ただし、著しい誤差が見つかった場合を除いて、過去のデータの調整は行っていません。

<sup>3</sup> レガシーADIとレガシーMaximの会計年度内総収入に基づく2019年～2021年の収益



## 非GHG排出

アナログ・デバイスの各サイトは、現地の要件に従い、非GHG排出を管理する排出許可の下で稼働しています。非GHG排出の種類には、粒子状物質、窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、有害大気汚染物質（HAPs）、揮発性有機化合物（VOCs）が含まれます。すべてのサイトは、法律で義務付けられている場合、大気浄化システムを維持しています。更に、一部のサイトでは自主的に大気浄化システムを維持しています。浄化には、排気洗浄装置や揮発性有機化合物の分解などの種類があります。

アナログ・デバイスの各サイトでは、大気汚染防止の申請および現地の規制に従い、排出削減システムのモニタリングを行っています。モニタリングには、排出モニタリングや排出削減パラメータ（pH、流量、差圧など）が含まれます。

## 将来的な削減計画

### スコープ1および2

2023年、アナログ・デバイスは、製造施設と製造施設以外の事業所両方の自社排出量について、第三者保証を受けました。また、スコープ1および2の排出量を削減して2030年の目標を達成するためのロードマップを作成しました。重要な推進源となるのは、再生可能電力の利用を更に拡大する当社の取り組みです。アナログ・デバイスの製造拠点で使用する電力を2025年末までに100%再生可能電力に切り替えるという目標を達成するために、クリーン・エネルギーの調達拡大の機会を特定しました。

更に、フッ素化GHGの直接排出量の削減は、今後数年間で当社のカーボン・フットプリントを削減する上で重要な役割を果たすことが予測されています。

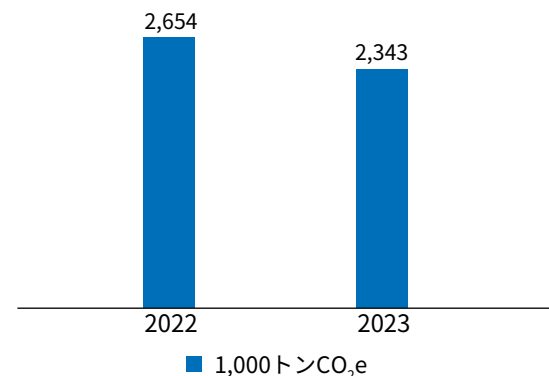
将来の削減に向けたアナログ・デバイスのロードマップは次のとおりです。

- ISO 50001の認証取得、およびエネルギー管理システムと効率性の強化。
- エネルギー属性証明書（EAC）の調達先を追加のサイトに拡大し、2,654サプライヤのグリーン料金またはグリーン電力料金を通じて2,343再生可能エネルギーの調達を継続。
- 電力購入契約（PPA）、直接投資、または再生可能エネルギー自社発電への資金供給のいずれかを通じた、新しい再生可能エネルギー建設プロジェクトを追求。現在、配電網に新たな再生可能エネルギー・プロジェクトを追加するための重要な資金調達源を確保するために、米国の開発業者との間での可能性がありそうな契約について調査中です。

### スコープ3

アナログ・デバイスのスコープ3排出量は合計排出量の約89%を占めています。スコープ3排出量の大部分はカテゴリ1（購入した製品とサービス）とカテゴリ2（資本財）が発生源となっており、その割合は約92%です。第三者による保証を受けたスコープ3排出量のベースラインと、カーボン・アカウンティング・ツールの徹底的な活用を組み合わせることで、スコープ3のフットプリント全体を削減するための、目標とする排出削減を実行する機会を評価しています。2023年には、様々なカーボン・アカウンティング・ツールを評価し、それ以来、スコープ3排出量を最も適切にコンパイル、測定、検証し、継続的にモニタリングできるツールを導入しています。アナログ・デバイスの戦略は、高度な分析、予測シナリオ計画、および対象サプライヤとの連携を活用し、短期および長期における削減を優先順位付けし、確立することにフォーカスしています。

### スコープ3排出量<sup>1</sup>



アナログ・デバイスは、当社のステークホルダーへの情報開示において、透明性と正確性を追求しています。この取り組みの一環として、当社のビジネス・モデルが低炭素経済にどのように適応していくかを示し、ネット・ゼロ目標をサポートする、2025年気候変動移行計画を発行する予定です。

<sup>1</sup> 温室効果ガス・プロトコルに定義されたカテゴリ1から9までを含みます。アナログ・デバイスの製品は中間製品であり、多くの下流側アプリケーションに使われる可能性があるため下流側カテゴリ10～12は除いています。2022年のスコープ3の数値は、2024年に方法論の改善を反映して調整されました。詳細は、[こちら](#)を参照してください。

# 水

## アプローチ

水は半導体製造にとってなくてはならないものであり、アナログ・デバイスズは、水資源の保全と再利用の両方に真剣に取り組んでいます。自治体または地下水から供給される水量は、水質自体と合わせて継続的にモニタと測定が行われています。当社のコンプライアンス・プログラムの一環として、サイトの水収支によって水がどのように使用されているかを追跡し、排水の水質のモニタと測定が行われ、また、排水量が定量化されています。

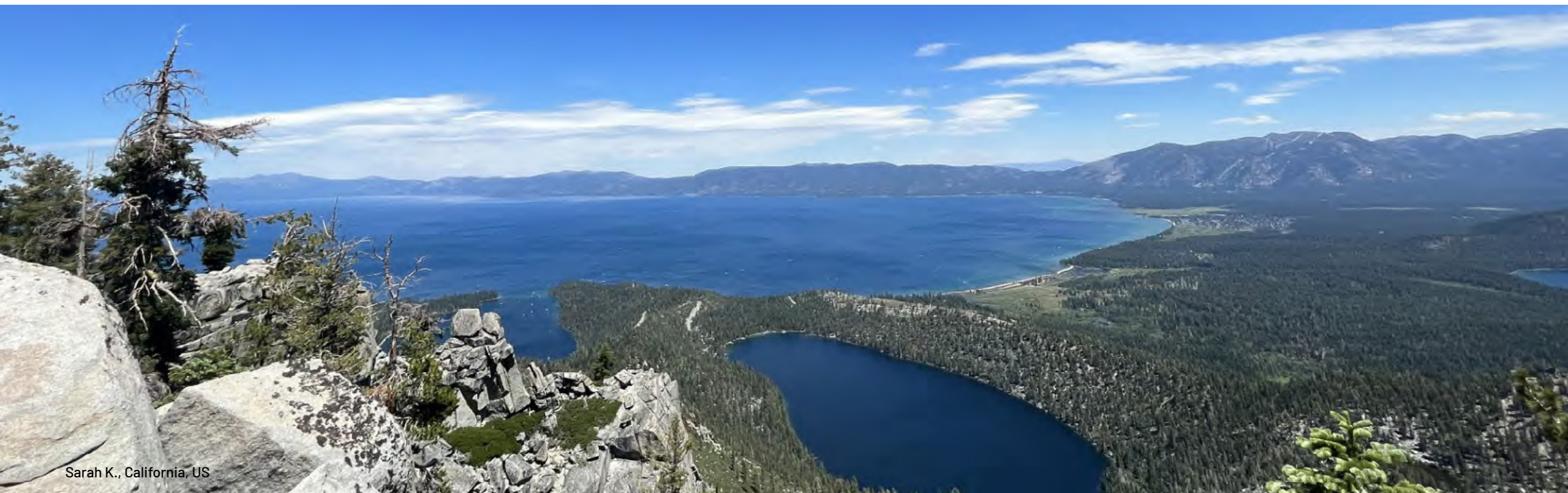
水の再利用と水の使用量削減のイニシアチブは、施設の組織と製造部門で指定と取りまとめが行われ、四半期ごとに上級管理職の確認を受けます。現在までのイニシアチブのほとんどは、施設のシステムにおける水の再利用に焦点が置かれ、排水や濃縮水は、スクラバ、冷却塔、濯水、その他水質がそれほど重要でない用途に使用されます。

また、当社の製造工程における水の使用も、水使用量削減の取り組みにおける重点項目となっています。アナログ・デバイスズのグローバル事業全体にわたるプロセスおよび設備エンジニアは、製造ツールで使用される水の量を削減するプロジェクトを実施しています。特に、すすぎや洗浄に使用される水、および「アイドル・フロー」、すなわちツールの能動的な稼働とは関係のない水の使用の最適化に重点的に取り組んでいます。

更に、当社は、米環境性能評価システム（LEED）のエネルギー規格やその他のビル規格に従ってビルや事業の設計を行うことを目指しています。そこには、長期にわたる水資源の保全および水資源の効率化（雨水貯留、節水器具、トイレや造園でのリサイクル水の使用など）の側面も含まれています。

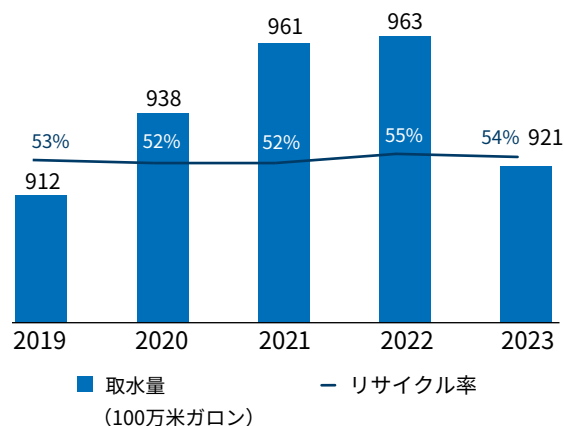
排水については、当社のコンプライアンス・プログラムの一環として水量計およびサイトの水収支を使用して、排水のモニタと計測を行っています。量についても水資源の保全と効率化プログラムの一環として追跡しています。

水は、地域の規制条件に従ってサイトで処理されています。ほとんどの水は、放出前にpHの中性化が行われ、その後自治体の污水处理場で処理されます。場合によっては水を分離して、フッ化物、金属、その他の排出物を別個に処理し、排水や集水の前にサンプリングを行って水質基準に合致していることを確認します。



## 進捗

### 取水量とリサイクル率<sup>1</sup>



### 水原単位

### 収益基準<sup>2</sup>

2023年と2022年の比較

↓7%

2023年と2019年の比較

↓33%

### 生産量基準

2023年と2022年の比較

↓6%

2023年、アナログ・デバイスでは水の再利用率が54%に達しました。これは10億9800万ガロンに相当します。絶対取水量は2022年から4%減少し、当社の製造拠点全体で9億2100万ガロンが使用されました。これを収益で正規化すると、アナログ・デバイセズの水原単位は2019年比で33%、2022年比で7%減少しています。

2023年には、サイト間で水削減チームが結成され、水削減プロジェクトの識別、共有、実施が開始されました。これらのプロジェクトには、ウェハ洗浄のすぎサイクルの削減や、ツールの性能を維持しながらのアイドル時の流量の最小化などがあり、いずれも超純水（UPW）の需要の削減に繋がります。同時に、当社の施設チームは、引き続き水の保全機会の実施と監視を実施しています。冷却塔、除害装置、灌漑、トイレなどに水を再利用するプロジェクトが策定され、実行されました。2023年における当社の水削減チームの最大のフォーカス・エリアの1つに、工場業務全体にわたる自動水メータの設置があります。これにより、どこでどれだけの量の水が使用されているかを測定する能力が向上し、更なる水削減の機会を特定し、優先順位付けるのに役立ちます。

水リスクを測定するために、アナログ・デバイセズは、WRIの水リスク地図（Aqueduct Water Risk Atlas）を使って水ストレスを評価しています。この評価によると、アナログ・デバイセズの3箇所の製造サイトが水ストレス地域に位置しています。アナログ・デバイセズは、これらのサイトを含むすべてのサイトで水の供給状況を詳しくモニタしています。

### 合計取水量の目標

50%

2027年までの製造時水原単位削減量

半導体産業は非常に大量の水を消費する産業であること、そして半導体産業には使用する資源をできる限り節約する責任があることを自覚して、アナログ・デバイセズは、生産量で正規化した工場操業用の取水量を2022年比で50%削減するという積極的な目標を追加しました。この目標は、ファブ、アSEMBリ、およびテストを含むアナログ・デバイセズの世界中の製造業務が対象となります。計算の基本として、工場にはSIAの標準正規化係数を使用しました。詳細については[こちら](#)をクリックしてください。

### フィリピン、タギッグにおけるアナログ・デバイセズのLEED認証

フィリピン、タギッグを拠点とするアナログ・デバイセズのフィリピン開発センターは、2023年6月にLEED Gold認証を取得しました。アナログ・デバイセズが保有するLEED認証取得施設は、現在までに6か所となっています。

<sup>1</sup> 水リサイクル量に関する計算は、ISO 46001への準拠に伴い更新されました。水の再利用の定義と計算方法、および水使用量削減目標の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

<sup>2</sup> レガシーADIとレガシーMaximの会計年度内総収入に基づく2019年～2021年の収益

## 水資源の保全

### フィリピン、カビテ

このサイトでは、灌漑やトイレの洗浄用水として、新たな非飲用水源（冷却塔ブローダウン、雨水）を確保することで、真水の取水量を削減する新たなプロジェクトを完了しました。更に、低流量エアレータ付きの水効率の高い蛇口に切り替えることにより、年間6,400m<sup>3</sup>の取水量を削減しました。

### ワシントン州キャマス

キャマス工場では、UPW削減の取り組みを開始した2022年5月から2023年6月にかけて、UPW使用量の約30%の削減を達成しました。これは、毎分35ガロンの使用量に相当し、全体的な取水量の削減率は更に大きくなっています。UPW削減の達成例としては、アイドル・フローの削減または排除、ウェハのすすぎ回数の削減、すすぎタンクのリフレッシュ・サイクルの延長などが挙げられます。

### オレゴン州ビーバートン

このサイトでは、ツールのアイドル・フローを可能な限り最小の値に抑えることで、UPWの使用量を毎分約60ガロン削減しました。

### タイ、チョンブリー

冷却塔の排水をトイレの洗浄と灌漑に活用しました。

### アイルランド、リムリック

このサイトでは、UPWプラントの集水システムから水を収集し、スクラバと冷却塔の補給水として利用する雨水収集システムを完成させました。このシステムの完成後、サイトでは1日平均340ガロンの水を節約しています。

## 将来的な削減計画

アナログ・デバイセズは、節水または再利用を通じて、水の総使用量を削減する機会を識別することにコミットしています。

2022年のベースラインと比較して、2027年までに水原単位を50%削減するという当社の目標を達成するために、製造工程における水使用量の更なる削減方法を継続的に調査していきます。2023年には、当社の各製造施設に水チームが結成され、水保全プロジェクトに関するコラボレーションやベンチマークが行われ、サイト間のチームで機会や学習が共有されるようにしています。

水の使用量を更に管理するための取り組みには、以下が含まれます。

- ・ 水効率管理システムの国際規格であるISO 46001の認証取得。
- ・ ビーバートンにおける逆浸透膜およびスクラバ再利用システムの大規模な導入により、同サイトにおける水の再利用の拡大。
- ・ 放出廃水の処理およびリサイクル。
- ・ 水再利用プロジェクトの継続的な実施。
- ・ 当社の事業全体における水量測定の実施。
- ・ プロセスの最適化を通じた更なるUPWの削減イニシアチブの実施。



### アナログ・デバイセズのセンサーを活用して水とエネルギーの使用状況をマッピング

アナログ・デバイセズのセンサーを活用して水とエネルギーの使用状況をマッピングアイルランドのリムリックにあるサイトでは、チームが水センサーにアナログ・デバイセズのテクノロジーを採用し、施設内の超純水（UPW）のマッピングを行っています。マッピングはほぼ完了しており、ツールがインストールされるごとにセンサーが追加されています。この革新的な生産準備では、データをキャプチャするためのダッシュボード・ツールを導入し、他のインターフェースにも移植できるようモジュール化しました。20個以上の「固定」センサーが設置され、主要なUPWの消費に関する詳細なプロファイルが作成されました。また、UPW再生流量を測定するメカニズムが確立されました。施設のチームと連携することで、水の使用状況全体のマップが作成されています。

同様のシステムが現在、当社のビーバートン施設で稼働しており、マサチューセッツ州ウィルミントンとワシントン州キャマスでもシステムの設置が進行しています。これらのセンサーにより、アナログ・デバイセズはセンサー設置データとUPW施設の既存のデータ・ピクチャとを関連付けることができます。この情報は、アナログ・デバイセズが水再生の機会を理解し、全体的な取水量を削減するのに役立ちます。

更に、リムリックでは、電力の非侵入型測定方法の決定と、既に収集されているデータの活用と明確化に取り組む中で、N2流量計プログラムとエネルギー計測システムを導入する初期段階にあります。アナログ・デバイセズのセンサー・システムの設計が成功すれば、データの生成時点で信頼性の高いインテリジェント・エッジ機能を提供し、エコシステム・パートナーシップを通じて、センサーから消費ポイントまで信頼性の高いチェーンを提供することが可能になります。

# 廃棄物

## アプローチ

アナログ・デバイセズの廃棄物の大部分は製造活動や建設活動で発生していますが、化学薬品や資材の管理と廃棄は責任を持って行っています。当社から出る廃棄物の量は、調達物を制限し、廃棄物の流れを分別し、化学物質や材料をできる限り再利用、回収、リサイクルするよう努力することで削減できます。当社がリサイクルする廃棄物の例としては、ガラス、紙、金属、木材などがあります。特定の廃棄物は、エネルギー回収のために使用されます。リサイクルまたは再利用できないものは、現地の法令に基づいて廃棄しています。

各サイトのEHSチームは、重要な結果をもたらすこうした廃棄物削減またはリサイクルの活動を決定します。当社は、廃棄物の流れを更に分別し、廃棄物処理サプライヤと連携してこうした廃棄物を埋め立てに回さないようにしています。アナログ・デバイセズは、グリーン・チーム・ネットワークなどの活動を通じて従業員とともに問題に取り組み、廃棄物のリサイクルや削減の重要性についての教育を行っています。推進した活動には、適切なゴミ容器の使用、コンボストの利用、持ち帰り容器やプラスチック・ボトルの削減などがあります。

アナログ・デバイセズは、有害破棄物の貯蔵、処理、廃棄について現地のすべての法や規則に従い、すべての廃棄物は適切に文書化や登録が行われています。有害廃棄物の量は追跡されており、廃棄物はリサイクルや回収が可能な場合には分別されています。有害廃棄物は、ライセンスを有する廃棄物業者によって管理され、アナログ・デバイセズが監査を行っています。また、有害廃棄物の発生量を削減するため、化学的な還元の可能性を評価しています。

有害廃棄物は環境と公衆衛生にとって大きな懸念となります。半導体の製造には酸、溶剤、重金属などの危険な化学物質が使われますが、これらの物質は、適切に管理しないと人間の健康と環境の両方に害を及ぼすおそれがあります。

アナログ・デバイセズは、使用資源の削減、リサイクル、および適切な廃棄を含め、最善の方法で廃棄物管理を行うことによって製造活動から生じる廃棄物を最小限に抑えており、地域のすべての法令と規則に従うよう努めています。製造プロセスに使われている有毒化学物質の代替となる、より安全で環境にも優しい物質を見つけるには、継続的な研究とイノベーションが極めて重要です。

アナログ・デバイセズは、顧客が危険物質に関する制限（別名RoHS）令に準拠できる製品を提供しています。

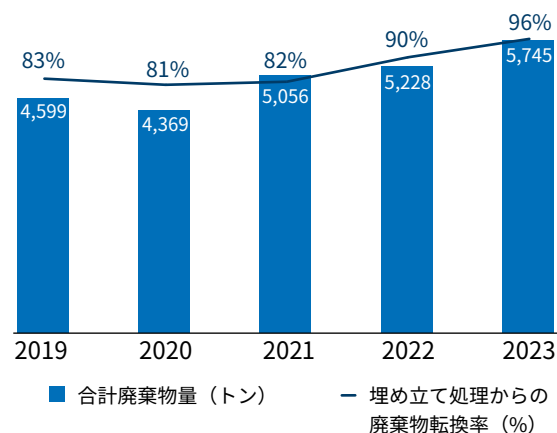
アナログ・デバイセズのRoHSコンプライアンス・プログラムの詳細については、以下を参照してください。

[RoHSコンプライアンス情報とポジション・ステートメント](#)



## 目標達成状況

### 発生廃棄物と移行率



2023年、廃棄物削減イニシアチブは廃棄物の分別と代替廃棄物処理方法に焦点を当てました。埋立て以外の処理方法に転換された廃棄物のパーセンテージは、2022年には90%に対して96%に増加しました。フィリピンでは、すべての残留埋め立て廃棄物の処理がセメント共処理に転換され、その転換率は99.8%となりました。キャマスとビーバートの当社サイトでは、廃棄物発電ソリューションへの移行により、埋め立て廃棄物削減率をそれぞれ94.5%、99.4%に増加させました。

## 将来的な削減計画

マレーシアのパナンにおける食品廃棄物は、依然として埋め立て廃棄物のうちの大きな割合を占めています。2024年には、その廃棄物を分別し、地元の堆肥化業者と提携する計画です。しかし、埋め立て地に送られる廃棄物の割合は減少し続けており、商業的に利用可能なリサイクル・ソリューションまたは処理ソリューションに課題を提起する、廃棄物処理の流れを管理する方法を引き続き模索しなければなりません。実行される可能性のあるプロジェクトでは、発生する廃棄物の量を最小限に抑えることに焦点を当てることになるでしょう。これらの取り組みには、化学薬品の使用量削減、化学薬品の期限切れの回避、消耗部品の耐用年数の延長などが含まれる可能性があります。

### 廃棄物原単位<sup>1</sup>

#### 収益別

2023年と2022年  
の比較

↑ 7%

2023年と2019年  
の比較

↓ 17%

<sup>1</sup> レガシーADIとレガシーMaximの会計年度内総収入に基づく2019年～2021年の収益



# 生物の多様性

生物多様性の喪失は、食物連鎖やヘルス・システムの崩壊からサプライ・チェーン全体の混乱まで、地球と人類に極めて重大な影響をもたらします。生物多様性の喪失は、世界経済フォーラムの2023グローバル・リスク・レポートの中で、今後10年間に於いて4番目に重大な世界的規模のリスクとして挙げられています。

私たちは人間の活動が地域の動植物生息環境に影響を及ぼすことを理解しています。その影響は生物多様性を支えて強化するものかもしれませんが、阻害するものであるかもしれません。アナログ・デバイスズは生物多様性プログラムを開始したばかりですが、生物多様性のリスクと機会を戦略的に理解して対応するために、より多くの行動が必要であることを認識しています。アナログ・デバイスズは、生物多様性を優先すべき主要項目と認識している当社のグリーン・チーム・ネットワークと協力していることを、誇りに感じています。同ネットワークの活動は、種の識別や受粉媒介生物の増殖から、ゴミ拾い、侵略的外来種の駆除にまで及んでいます。

2023年にアナログ・デバイスズは自社の施設や活動が生物多様性に与える影響の評価を行いました。その目的は、必要に応じて各地域に適した対策を講じて影響を軽減することにあります。アナログ・デバイスズは、欧州環境機関のNatura 2000保護地域ネットワーク、[ユネスコ世界遺産](#)のリスト、世界の保護および保全地域の[世界の保護地域データベース](#)などのリソースから得たデータを使用して、保護地域との近接度を追跡しました。その後、アナログ・デバイスズが事業を展開する地域について、環境影響評価（EIA）を実施しました。その評価に基づき、アナログ・デバイスズは、生物多様性の影響を受けやすい地域またはその周辺に事業所を構えてはいるものの、当社の活動がそれらの地域に悪影響を及ぼす可能性は低いと判断しました。

## グリーン・チーム・ネットワーク

アナログ・デバイスズのグリーン・チーム・ネットワーク（GTN）は、世界中の従業員を結び付け、持続可能性および環境について教育をすると共に、動機付けや能力向上を図るものです。各国および主要サイトごとのグリーン・チームには、それぞれにリーダーおよび各支部の重点分野を推進する従業員がいます。GTNは、アナログ・デバイスズをより持続可能な職場にする活動と、メンバーが持続可能性を個人の生活に取り込む支援を行う活動の両方を推進しています。

以下に、2023年の活動のハイライトをいくつか紹介します。

### 生物多様性

- ・ **アイルランド**：2,000本の在来種の木を植樹し、アデア公園には蜂の巣箱を設置しました。
- ・ **インド**：バンガロール郊外の池を再生し、近隣の農家や家畜に水を供給できるようにしました。グリーン・チームは池の周囲に約75本の在来種の高木を植え、池の周囲の土壌強化に貢献しました。
- ・ **米国マサチューセッツ州**：「野生生物との共存」と受粉媒介生物の重要性に関するランチ会での講演を開催しました。

### 資源管理

- ・ **インド**：オフィスのパントリーと洗面所の蛇口にエアレータを設置し、水の消費量を最適化しました。様々なテクノロジーや政府に関する意識を高めるため、「ホーム・ソーラー」の導入に関するセッションを実施しました。
- ・ **アイルランド**：ケータリング・チームと協働し、気候に配慮したメニュー・オプションを導入しました。
- ・ **米国カリフォルニア州**：サンノゼ市での廃棄物の処理方法、廃棄物の適切な捨て方、責任ある消費者になる方法に関する情報イベントを開催しました。
- ・ **米国マサチューセッツ州**：Ipswich River Watershed Association（IRWA）と協働し、従業員グループによるパドル・イベントとランチ会での教育講演を開催しました。従業員にカトラリーを支給する試験プログラムを開始し、食堂から使い捨てカトラリーを撤廃する可能性を検討しました。



# サステナブル・ファイナンス

持続可能なファイナンス・イニシアチブにより、アナログ・デバイスのような企業は環境へのコミットメントを財政的に強化することができます。これは、社会が直面する最大の脅威、特に気候変動への取り組みには不可欠です。アナログ・デバイスは、この新興市場の形成に貢献する米国のテクノロジー業界のパイオニアであることに誇りを持っています。また、グリーンなファイナンスは、今なお、人と地球に対するより広い当社の取り組みを別の形で表現するものです。

ESGイニシアチブに対する当社の取り組みを更に強化するために、アナログ・デバイスは最近、サステナブル・ファイナンス関連の3つの金融商品を展開しました。2020年4月には、元本総額4億ドルの2.95%優先無担保社債の引受公募を通じ、当社として最初のグリーン・ボンドを発行しました。これは、米国借入資本市場でグリーン・ボンドを発行した最初の半導体メーカーかつ最初の米国技術系企業の1つとして、当社の主導性を示すものです。この公募の純益は、再生可能エネルギー、エネルギー効率、グリーン・ビルディング、持続可能な水および排水管理、汚染防止および制御、クリーン輸送、エコ効率の高い／循環型経済に適応する製品、生産技術およびプロセスなど、様々な該当プロジェクトにすべて割り振られています。

2021年6月、当社はリボルビング・クレジット・ファシリティを25億ドルの新規サステナビリティ・リンク・リボルビング・クレジット・ファシリティに借り換え、この金融商品を使用した最初の半導体企業の1つとなりました。ファシリティに関しては、利率および特定の料金がアナログ・デバイスの環境目標の対前年比達成度によって毎年調整される可能性があります。アナログ・デバイスの達成度は、アナログ・デバイスに由来からある特定の製造施設における、再生可能エネルギーの使用と温室効果ガス排出量の削減という、2つの重要業績評価指標で測定されます。

幸いなことに、2023年には、再生可能エネルギー使用と温室効果ガス排出量削減の両方について、サステナビリティ・リンク・クレジット・ファシリティの範囲内で設定された中間目標を超える成果を達成しました。再生可能エネルギーと温室効果ガス排出量を含むアナログ・デバイスの持続可能性目標は、[62ページ](#)の「業務の最適化」のセクションに記載されています。当社は、[サステナブル・ファイナンス契約](#)に記載した積極的な目標の実現に向けて引き続き努力します。

2021年10月、当社は、元本総額7億5000万ドルの1.7%サステナビリティ・リンク優先債権を、引受公募を通じて発行しました。これは米国の技術系企業としては初めてのことです。これらのサステナビリティ・リンク・ボンドの中核にあるのは、2025年にスコープ1およびスコープ2の排出量を対2019年比で27%削減するという、特定のサステナビリティ実績目標で、これは、気候アンビションに整合するものです。このボンドは、もしこの目標が2025年末までに達成できず、それが2026年3月に認定された場合、2026年4月1日からは金利クーポンが強制的に引き上げられ、設定した環境目標に向けた努力と行動をより強く継続しなくてはなりません。

アナログ・デバイスは、自社のESGの焦点の一部として、多様性、公平性、受容性を専門とするファイナンス・パートナーと提携できることを誇りに感じています。

当社は、サステナブル・ファイナンスが、当社の広範で野心的な環境サステナビリティ戦略および展望を支えるだけでなく、設定した目標を満たすことへの説明責任を持ち続けさせるものでもあると考えています。



# 人々とコミュニティ

アナログ・デバイセズは、職場とローカル・コミュニティの両方において、人々が未来を想像し、それを築くことのできる、帰属意識のある文化の創造に取り組んでいます。

## このセクションの内容：

- 75 アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度
- 81 人材
- 87 アナログ・デバイセズ基金

# アナログ・デバイセズの目標、文化、優先度

アナログ・デバイセズの社内および顧客やエコシステム・パートナーとの協力的な企業文化は、当社が提供する画期的なソリューションの礎となっています。当社は、最も優秀な頭脳が価値を追及するために目指す目的地として、人と地球のために「Engineer Good」を標榜する、飽くなき探究心と技術力を備えた多様な人材が集まる場所となっています。

アナログ・デバイスには、イノベーション、帰属意識、学習が盛んな場所、つまり、人間が重視される場という確固たる伝統があります。アナログ・デバイセズの従業員と協力し合うことで、私たちは目標と中核的価値を再定義するために団結し、60年以上にわたり当社の事業の中核をなしてきた理念を再確認し、次のフロンティアへと導く新たな成功へのマイルストーンを統合しました。私たちはまず、2030年までに達成したい目標を定めた「目標」から着手し、それを個々の事業における必須事項と結びつけました。

その結果、アナログ・デバイセズを定義し、従業員、顧客、パートナーに独自に提供するものを示す8つの中核的価値が浮かび上がってきました。これら8つの価値は私たちに共通の言語を提供し、アナログ・デバイセズの独自性を象徴する役割を果たすと共に、活気ある企業文化を築き上げるために協力し合う集団的行動様式を示してくれます。その中核となるのが、アナログ・デバイセズの人材です。当社のあらゆるレベルにおいて、これらの価値をそのような行動によって表現することが、当社独自の文化と特性の礎となります。



# アナログ・デバイスが優先する項目



## 学習文化の実現

### 成長思考を育成し、目標達成を加速する文化を形成

アナログ・デバイセズの社内および顧客との協力的な企業文化は、当社が提供する画期的なソリューションの礎となっています。私たちは、学習と開発の文化に対する当社のコミットメントが、ビジネス成功の起爆剤となり、当社の大望の達成を加速させるものと信じています。企業文化と価値をアップデートし、従業員の経験を向上させるための改善された体制を構築することで、アナログ・デバイセズのイノベーションと発展の伝統が更に育まれ、インテリジェント・エッジの分野で主導的な役割を果たすという私たちの大望が加速されると確信しています。更に、私たちは、人材の確保から育成、報酬に至るまで、従業員の経験に当社の価値観を組み込んでいます。この数年にわたる取り組みは、優秀な人材の獲得と維持の中心となり続けるでしょう。



## 社員の可能性開発

### 才能ある人材を引きつけ、能力を向上させ、世界で最も複雑な問題を解決する

当社は、最も優秀な頭脳が価値を追及するために目指す目的地として、人と地球のために「Engineer Good」を標榜する、飽くなき探究心と技術力を備えた多様な人材が集まる場所となっています。

アナログ・デバイセズの顧客と優秀な技術者との共同作業によって実現した産業上の数々のブレークスルーは、気候変動の抑制、技術への公平なアクセスの改善、そして世界の形成に役立つ可能性を秘めています。エンジニアリング精神、協力的な企業文化、そして世界で最も興味深く複雑な問題のいくつかに対処する能力は、優秀な人材を引きつけ、雇用する上で最も重要な要素となっています。私たちは、イノベーションへの意欲がかき立てられる安定した環境の中で、素早く考え、より迅速に行動することができます。そして、私たちの最高の日はまだ先です。

アナログ・デバイセズは、その伝統を次世代のインテリジェント・エッジ・アプリケーションに拡大し、信号をアクションに変える魅力的な機会を提供しています。EV用のバッテリー・アルゴリズムを開発しよう、臨床グレード・データを生成する遠隔ヘルスケア・ウェアラブル・デバイスの設計を支援しよう、当社の従業員は目的意識を持って業務に取り組み、人々や地球にポジティブな影響を与えています。

アナログ・デバイセズは、非常に競争の激しい人材獲得市場で優秀な人材を引きつけることに成功しました。また、離職率にプラスの影響を与えるよう、雇用維持と評価のための活動を展開し、市場全体よりも良い結果を残しました。アナログ・デバイセズは、すべてのレベルの従業員が自由と機会を享受し、指導を受けることで自分たちの可能性を開き、その影響力を強化できるような職場を作るために、リーダーとマネージャの能力開発への投資を今後も続けていきます。



## 未来の労働力を育成

### あらゆるレベルと職種を通じて、重要なスキルを磨き、最も重要な問題（学習、指導、監督）に焦点を合わせることができるようにする

アナログ・デバイセズは、社員がイノベーションと学習に必要なスキルを開発するために、あらゆるレベルと職種を通じて、時間、リソース、エネルギーを投入します。また、当社のフラッグシップ・リーダーシップ・プログラム「Leading ADI Forward」の拡大を継続しています。更に、将来的なスキルに対応するために、「ADI Talent Marketplace」というダイナミックなプラットフォームを継続して使用しています。このプラットフォームは、従業員が現在のスキルを確認し、習得したいスキルを識別し、学習、同僚とのつながり、就職の機会に関して、AIによる推奨を受けることを可能にするものです。マネージャと従業員に関しては、管理上の必須事項、技術と業務に関するスキル開発、現在と将来の業務をリードできる従業員を育成するためのDEIに関するトレーニングを提供しています。



## 受容性の醸成と公平な機会の確保

### 公平性と受容性を確保するアプローチを世界中で採用

私たちは、誰もがアナログ・デバイスに居場所を感じられるよう努めています。アナログ・デバイセズは、世界規模の多様性実現に取り組み、雇用、報酬、能力開発の機会に関する公平性を追求するという使命を継続しています。これは、従業員とその所属コミュニティに影響を及ぼす世界的な問題を認識し、それについて議論することを意味します。アナログ・デバイセズのダイバーシティ・カウンスルとワーキング・グループは、今後も学習と洞察の理解と共有に焦点を当てていきます。



## 重要な局面での従業員との対話

### 従業員のフィードバックに耳を傾けて対応

アナログ・デバイセズの事業は、あらゆるレベルの従業員からの意見に耳を傾け、それらのニーズに適合するためのアプローチを発展させることに根ざしています。年間を通じ、アナログ・デバイセズは従業員調査および聴取活動を行い、フィードバックを得て、職場としての会社の強みや向上の機会について理解しようと努めています。これによって、必要な行動を起こし、従業員が成長するために必要なツールを手に入れられるようにしました。

## アナログ・デバイセズのエンゲージメント

過去60年間にわたって、アナログ・デバイセズはコンスーマ、工業、ヘルスケア、通信などの様々な産業分野と30以上の国々において、広範なプロブレム・ソルバーのコミュニティを構築してきました。当社は、従業員が潜在能力を最大限に発揮し、人々の生活の質と地球環境を改善するための画期的な進歩を加速させることができる、公平で受容的な環境を作り出すことを望んでいます。

企業文化とエンゲージメントが競争優位性の源となることで当社のイノベーションに勢いをつけ、成長を促進し、世界最高のプロブレム・ソルバーの獲得と雇用につながると信じています。この目標のために、アナログ・デバイス全体で有意義な繋がりを推し進め、健全で生産性の高いチームを育成することで、当社の目標、ビジョン、戦略、価値を従業員の日々の業務と一致させることを目指しています。当社が正しい方向に向かって進み、価値を体現していることを確認するために、従業員のエンゲージメントを測定し、従業員の経験を向上させるための意見を求めています。

エンゲージメントとは、アナログ・デバイスに良い成果をもたらすために、従業員が個人の時間とエネルギー（認知、感情、行動）をどれだけ費やしているかを表すものと考えています。従業員が成長のために必要なものを確実に利用できるよう、アナログ・デバイセズは、グリント（Glint）のエンゲージメント・プラットフォームを用いたADIパルス調査を毎年実行しています。また、短縮版のADI「ミニ」パルス調査、タウン・ミーティング、円卓会議などを使用し、重要なテーマを掘り下げ、中心的な活動の進捗を確認しています。当社は、エンゲージメント、従業員がアナログ・デバイセズを推奨する意思（つまり当社のeNPSスコア）、その全体的な満足度（当社のeSATスコアなど）の各指標を毎年測定しています。

2023年の調査では、従業員の91%以上が参加しました。従業員からは、全体的な従業員体験を向上させるための主要分野をより深く理解し、リーダーシップに助言を提供するために役立つ、14,000件近いコメントや提案が寄せられました。誠実なフィードバックと匿名性を確保するため、

Glintのセキュリティおよび匿名性の閾値を利用しており、コメントから個人を特定することはできません。

フィードバックの結果、私たちは、当社の価値と行動を従業員の経験に更に浸透させるため、複数年にわたる全社的なプログラムを展開しています。これには、新しい認識プラットフォームの導入、パフォーマンス管理プロセスの全面的な見直し、ワークライフ・バウンダリを設定しそれを尊重する方法に関する社員教育などが含まれます。

アナログ・デバイセズは、最高の仕事と「Engineer Good」を実践することに飽くなき情熱を燃やす人の目標となるよう努めています。私たちは、イノベーションの推進と従業員の能力活用の両方を実践します。また、現在の取り組みを通じて未来の労働力を構築し、極めて聡明な知性を持つ人を勧誘して雇用し、従業員の成長、エンゲージメント、適切な業務評価を促進し、多様で受容的な企業文化を確立します。



## 多様性、公平性、受容性

多様な人材は、アナログ・デバイスの組織目標を達成するために不可欠です。組織のあらゆるレベルで多様な人材を登用することで、私たちは革新し、人々の生活を改善すると共に地球をより良くするソリューションを立案することができます。

私たちは、多様性を認めるだけでは不十分であることを理解しています。従業員が成長できる安全な空間を作り出すには、包括的な企業文化が必要です。私たちは企業文化を慎重に形成することで、従業員がアイデンティティの一部を隠したり偽ったりする必要のない環境を作り出し、従業員が重要な業務に集中できるようにしています。

### 公平性に対するシステムのアプローチ

アナログ・デバイスでは、受容性と公平性が一体となった事業を行うよう、事業方法の変革を続けています。これは、人事慣行を再設計してシステムの障壁を取り除き、偏見や先入観が生じることのない文化を築くことを意味します。

大まかに言うと、当社は、社会の慣行や組織の慣行をターゲットとするプログラムに焦点を置いています。社会の視点で見ると、外部とのパートナーシップを強化し、歴史的にSTEM教育への参加ができなかったコミュニティに対し、参加の可能性を高めるプログラムを立ち上げています。組織の視点で見ると、偏見を軽減するための人材プロセスを改訂し、文化的な適応力を高めるためのトレーニングを実施しています。グローバルな調整と地域ごとの行動計画を組み合わせることで、私たちはローカル・ニーズに合わせたプログラムをカスタマイズし、リーダーの責任感を高める取り組みを行っています。

### 全従業員における性別および人種のバランスの改善

アナログ・デバイスの従業員構成が、当社が事業を展開するコミュニティの人口構成をまだ反映していないことを認識しつつ、当社は公平かつ公正な人材採用プロセスを設計することにコミットしています。当社の業務は本質的に体系的なものであり、多様性と包括性を備えたアナログ・デバイスの構築に伴う実務を回避することを目的としたノルマや、その他即席の解決策は含まれていません。

何年もの間、アナログ・デバイスは性の平等性を推進し、女性が男性従業員と同じ成長や成功の機会が得られる環境作りに取り組んできました。こうした取り組みにより、世界中のアナログ・デバイスの女性管理職の割合は25%に、女性技術者の割合は22%に増加しました。

また、米国では人種上の公平性にも重点を置いており、黒人、ヒスパニック、ラテン系の人々が雇用機会を得ることを妨げてきた体系上の障壁の解消に注目しています。その結果、アナログ・デバイスにおける黒人、ヒスパニック、ラテン系の従業員の数は、市場における候補者の構成により近づくまで、引き続き増加すると予想されます。

|                                     | FY21<br>(実績) | FY22<br>(実績) | FY23<br>(実績) | FY26<br>(目標) |
|-------------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 女性管理職                               | 23%          | 25%          | 25%          | 29%          |
| 女性技術者                               | 20%          | 21%          | 22%          | 26%          |
| 黒人、<br>ヒスパニック、<br>ラテン系従業員<br>(米国のみ) | 6%           | 7%           | 7%           | 9%           |



## 従業員ネットワークを通じた 従業員の参画

事業を推進するために、アナログ・デバイスでは、当社の将来戦略の設計に従業員の参画を得ています。これにより、不当評価の問題に対処するよう設計されたプログラムを、そのコミュニティを代表する人たちと共同で作ることができます。

当社の従業員ネットワークを構成する3,000名を超えるメンバーが、コミュニティの育成、プロフェッショナルな成長の加速、組織の方針に影響を与えることなどに取り組んでいます。それぞれのネットワークには正式なリーダーシップ・チームがあり、これにはエグゼクティブ・スポンサーが含まれています。

現在は、多様性を中心課題に活動する6つのネットワーク組織があります。その最近の活動例を以下にいくつか挙げます。

**ANALOG VETERANS NETWORK（アナログ退役軍人ネットワーク、AVN）：アナログ・デバイセズに属する退役軍人とそのコミュニティに対する働きへの敬意**

アナログ・デバイセズに属する退役軍人にスポットライトを当てることで、アナログ退役軍人への知名度を高め、国のために尽くした人々の献身と勇敢さを称えます。また、このネットワークはOperation Delta Dogと提携して野犬を保護し、PTSD、外傷性脳損傷、性的戦傷、その他の課題に悩む退役軍人向けの介助犬として訓練を行っています。

AVNの議長を務めるTom Baird氏は、最近、Myra Kraft Community MVP Awardの受賞者に選ばれました。Tom Baird氏は2023年の受賞者として、Operation Delta Dogに1万ドルの助成金を獲得しました。

**NEURODIVERSITY NETWORK (ニューロダイバーシティ・ネットワーク) : アナログ・デバイセズのニューロインクルージョンを推進**

このネットワークは、マサチューセッツ総合病院のアスパイア・プログラムと提携し、神経発達障害を持つ従業員とより効果的に、よりうまく働く方法を教育するためのトレーニング・ワークショップを提供しています。



**PEOPLE OF COLOR AND ALLIES NETWORK (POCAN、有色人種と支援者のネットワーク)：受容性の文化を醸成してシステム的な障害に対処することにより、アナログ・デバイセズにおける人種的平等を促進**

POCANは、ヒスパニック系技術者協会（SHPE）、全米黒人技術者協会（NSBE）、および黒人学生への大学教育を目的として設立された大学（HBCU）とアナログ・デバイスズの連携強化に尽力してきました。ノースカロライナ農工州立大学との直接提携は、人材パイプラインの多様化を図るための採用戦略の1つです。

**PRIDE NETWORK（プライド・ネットワーク）：広い視野、アライシップ、公正さを通じ、誇りを持ってアナログ・デバイセズのコミュニティを構築**

アナログ・デバイスズは、LGBTQ+技術者の最大非営利団体であるOut in Techの企業スポンサーであり続けています。当社は、Out in Techのメンバーを対象に、オンラインおよびオンラインでイベントを開催し、アウトリーチとエンゲージメントに関してOut in Techとの協力関係を継続しています。2023年には、このネットワークはプライド月間のグローバルな祝典を開始し、世界中のオフィスでイベントが開催されました。

**WOMEN'S LEADERSHIP NETWORK (女性リーダーシップ・ネットワーク) : LEADING ADI FORWARD  
を実現する女性の地位向上**

2023年、実務に還元することがこのネットワークの主な推進要因となりました。WLNは、Uncommon Threads、Dignity Matters、Pink Lemonade Projectなどの組織と提携しました。また、オレゴン州ビーバートンに新たな支部を立ち上げました。

**YOUNG PROFESSIONALS NETWORK (YPN、ヤング・プロフェッショナル・ネットワーク) : アナログ・デバイセズの未来のリーダーシップを育成**

YPNは、そのメンバーを学習セッションや情報セッションに積極的に参加させてきました。これらのセッションは新規採用者と上級リーダーが顔を合わせて、キャリア開発、障害を克服する方法、倫理などの話題についてディスカッションする機会を提供します。2023年、このネットワークは韓国、オーストラリア、英国、米国（コロラド・スプリングス）、イタリア（ミラノ）、スペイン（バレンシア）に新たな支部を追加しました。

## 開発への公平なアプローチ

アナログ・デバイスズのリーダーシップ・チームが従業員の多様性を反映することは重要です。

当社は、様々なアイデンティティを持つ従業員が様々なシステム上の問題や文化的な問題に遭遇していることも認識しています。こうした個別の経験を理解することで、コミュニティを形成し、成果を上げることができる、影響力の強い学習プログラムの作成が可能になります。

フラッグシップ・リーダーシップ育成シリーズである Elevate プログラムには、この1年間で67名の女性が参加しました。これらの参加者には、初級、中級、上級のあらゆるキャリア段階にある人々が含まれています。このプログラムへの参加者は、360°のフィードバック、行動学習、メンターシップ、指導の組み合わせを通じて、プロフェッショナル・スキルとビジネス感覚を習得しました。このプログラムでは、キャリア・オーナーシップ、ビジネス・インサイトの強化、顧客重視の促進、戦略的思考様式の育成、状況適応能力の向上に重点が置かれており、その一方で参加者のネットワークと視野の拡大に努めています。プログラムのメンバーは、アジア、ヨーロッパ、北米の技術、販売、事務部門からの代表が含まれるよう、慎重に構成されています。

アナログ・デバイスズは、対象となる従業員を McKinsey's Connected Leadership Academy for People of Color にも参加させています。このプログラムは、初級、中級、上級のキャリア段階にある黒人、ヒスパニック、ラテン系、アジア系のリーダーを対象に、それぞれに合わせた内容を提供しています。このプログラムは、参加者のビジネス・スキルとリーダーシップ・スキルを向上させると同時に、プロフェッショナル・ネットワークを拡大することを目的としています。

## コミュニティ・アウトリーチとパートナーシップ

アナログ・デバイスズは、HBCUとの関わりを含め、より高い教育への活動と支援を拡大する努力を続けています。この活動には、研究とイノベーションのために学生が時間を投入することのできる研究プログラムへの資金援助が含まれています。

2023年には、アウトリーチ活動に参加しました。これには以下に示す2つの大きなカンファレンスが含まれています。

- ・ **グレース・ホッパー・セレブレーション (Grace Hopper Celebration)**：コンピュータおよびソフトウェア業界で働く女性のための優れたカンファレンスで、女性技術者たちがアナログ・デバイスズを代表して、技術的な講演やポスター・セッションに参加し、更なる専門能力の開発を目指しました。
- ・ **ヒスパニック系専門技術者協会 (SHPE) ナショナル・コンベンション**：ヒスパニック系のSTEM学生と技術者が集まる米国内最大の年次会合です。

更に、歴史的に疎外されてきたコミュニティのための活動を行っている職能団体へのアウトリーチ活動も続けています。また、教育に関する議論を進め、求職者の能力強化のためのスキル向上に焦点を当てると共に、アナログ・デバイスズのブランドへの関心とSTEM意識の育成に努めています。

- ・ **ダラス女性技術者協会**：ソフトウェア・エンジニアリング分野への就職機会に重点を置いたネットワーク作りのために、アナログ・デバイスズのダラス・オフィスが新規従業員を採用しました。
- ・ **ヒスパニック系専門技術者協会 (SHPE) の履歴書確認と模擬面接ワークショップ**：アナログ・デバイスズのサンノゼ・オフィスで開催されたこのイベントにはシリコン・バレーとサンフランシスコ湾地域から学生が参加し、基調講演やアナログ・デバイスズの採用責任者とのミーティングが行われ、ミーティングでは履歴書や面接テクニックに関する貴重な批評が行われました。
- ・ **Out in Tech**：プライド月間を記念して、マサチューセッツ州の従業員は、同じ技術者仲間たちと集まり、過去を振り返ることで、今後の業務への新たな活力を得ました。Out in Techとの合同イベントは、LGBTQ+コミュニティのメンバーにとって安全な居場所を作ることを目的として企画されました。



# 人材

## 人材獲得と雇用維持

アナログ・デバイスでは、人材に投資し、その人材が地球をより良い場所にするソリューションに貢献できるようにしています。その取組みには、世界中から創造的な問題解決者を獲得し雇用することが含まれます。

### 卓越した多様な人材の獲得

アナログ・デバイセズの人材獲得戦略は、堅牢なデータ主導型手法に根ざしており、ダイナミックな労働市場を包括的に理解することを可能にしています。多様かつ競争の激しい環境における独自の課題を認識することで、適応性があり、的を絞ったアプローチを洗練させてきました。当社の各地域の採用チームは、それぞれの地域市場の微妙な違いを深く理解することで、トップクラスの人材を引きつけるために、教育機関、業界団体、コミュニティ・ベースのプログラムとの生産的な関係性を構築することが可能となっています。こうしたパートナーシップは、多様な求職者を引きつける上で重要な役割を果たしており、豊富な専門知識と見識を活用することを可能にしています。こうした努力を通じて、当社は事業を展開する各国の多様なコミュニティを反映した人材を育成し、組織内のイノベーションと卓越性を推進していくことを目指しています。

### 新規採用への取組み

アナログ・デバイセズは、次世代のイノベータを育成し、雇用することに積極的に取り組んでいます。2023会計年度には、世界中で約775人のインターンと研修生を迎え入れ、実務経験を通じて多くの人材の育成と雇用への道筋を作りました。インターンを除く早期キャリア職への新規採用者は、2023会計年度のアナログ・デバイセズの全採用者の約60%を占め、次世代の能力開発に重点的に取り組んでいることを反映しています。

### 働きがいのある企業づくり

アナログ・デバイセズは、Glassdoorの「働きがいのある企業」2024リストに選出され、従業員が匿名で評価した5段階評価で4つ星を獲得したことを誇りに思います。

従業員が成長できる環境づくりは最優先事項です。当社は全社的なアプローチを取り、インクルージョン、エンゲージメント、継続学習、強化された報酬および評価などを促進するプログラミングにエネルギーを傾けることで、帰属意識やコミットメントを育んでいます。私たちは絶えず努力を続けており、アナログ・デバイセズの自主退職率は7.3%で、依然として市場平均を下回っています。雇用維持と、焦点を絞った採用とを組み合わせることにより、FY23におけるアナログ・デバイセズの合計FTE従業員数は6.8%増加しました。



## 人材開発

アナログ・デバイスズの文化は、顧客の厳しい課題にイノベーションをもたらして解決する、生涯学習者と純粋な好奇心が原動力となっています。当社は、その好奇心を機会と連携させ、従業員にその学習意欲に合致する教育経験を提供し、能力を新たなレベルに発展させることができるようにすることに取り組んでいます。体験学習プログラム、協調学習プログラム、そして正式な学習プログラムの組み合わせを通じ、従業員は各自の興味を追求し、新たなスキルを習得できます。このスキルは今日必要なものを身に付けると共に、明日に備えるものでもあります。

### あらゆる人のための学習

アナログ・デバイスズで学ぶ人には選択肢があります。エンジニアリング、営業、業務、および人事部門の育成チームが一体となり、迅速な研修の修了、能力の向上、管理スキルの獲得、より複雑な役割に対する従業員の準備に関わる経験を提供します。

アナログ・デバイスズは、従業員に対して、特定の項目に関するトレーニングを要求するためのメカニズムと、その分野のエキスパートが提供できるトレーニングを提案するためのメカニズムの両方を備えています。

また、トレーニングのニーズを評価し、潜在的な受講者とその管理者について調査をするために、当社の人材に関わる世界中のビジネス・パートナーと定期的にやり取りをしています。更に、アナログ・デバイスズのイントラネットを通じてアクセスできる戦略的エンジニアリング・トレーニングのウェブサイトでは、従業員がデータベースにトレーニング要求を送ることができます。これらの要求は、需要と、自社の戦略的ロードマップに与え得る影響に基づいて優先順位付けされます。これらの要求と調査の結果に基づいてコースの内容を見直すことで、一連の学習プログラムが、従業員から要求の多いトピックに合うようにしています。

各種のコースは、対面での指導、自分のペースに合わせたデジタル・コンテンツ、あるいは新たなハイブリッド・アプローチなど、様々な形態で提供することができます。ハイブリッド・アプローチでは、カリキュラムに基づく教材の確認とデモで構成されるプログラムの全期間を通じて、

インストラクターやメンターとの定期的なミーティングによってデジタル学習の補強が行われます。コースの所要時間は、数分から数ヶ月まで広い範囲にわたっています。そのため、従業員は自分のニーズに最適な内容を選ぶことができます。

アナログ・デバイスズは、充実した教育コンテンツを提供しています。当社の従業員は、各自のニーズに応じた複数の技術プログラムおよびソフト・スキル・プログラムを利用することができます。アナログ・デバイスズの女性リーダーを育成することを目的とした当社のElevateプログラムには、67名が参加しました。更に、12,194名のチーム・メンバーが、Skillsoftポータル経由で学習教材を利用しました。このポータルでは、6,250時間以上の学習教材が利用されました。教材のトピックは、目標設定から新しいソフトウェア・プログラミング言語の学習まで多岐にわたります。当社の戦略的エンジニアリング・トレーニング・コースでも、複数の科目が提供されました。17個のコースが提供され、合計10,826人の受講者（重複なし）が受講し、合計335,382時間の教材が利用されました。

### 未来のエンジニアリング・スキルを築く

エンジニアリング・スキルのセットと、アプリケーション・スペースに関係する基本概念の両方についての理解を拡大するために、アナログ・デバイスズは、スキルベースの指導を行うと共に、実践のためのコミュニティを作ってきました。スキルベースの指導は、チーム・メンバーが習得したスキルを顧客から提示された問題に応用しながら、様々なグループで作業することを可能にするための基礎となります。実践のためのコミュニティは、スキルを応用するアプリケーション・スペースに関する詳細な背景を提供します。産業用通信における組み込みプログラミングは、例えばオートモーティブ・アプリケーション用の組み込みプログラミングと同じではありません。このコミュニティは、

様々なアプリケーション・スペースにこれらの新しいスキルを適用する方法についてのメンタリングと例を提供する、その分野における上級レベルのエキスパートが主導します。マーケット知識とシステム・レベルの理解があれば、新たに身に着けたスキルを、より効率的に使用することができます。更に、同様のスキルを持つチーム・メンバーの世界的なネットワークが、協力と連携の機会を生み出します。これらのネットワークは、その分野における上級レベルのエキスパートによって管理されます。

ソフトウェア・エンジニアリング・リスキリング・プログラムは、ソフトウェア分野の技術スタッフのスキルを増進することでアナログ・デバイスズの変化する人材ニーズに応えるために、特に設計されたものです。このプログラムでは、従業員が当社の競争力のある長所の中核であることを認識し、既存のエンジニアにトレーニングを施し、新たに学んだソフトウェア・スキルを使用するプロジェクトにそのエンジニアたちを配置します。プログラムは従業員からのフィードバックに基づいて更新され、現在ではインストラクターがサポートする20週間のコースで構成されており、現在の目的に合ったソフトウェア・プロジェクトが指定され、その全過程を通じて専門家によるサポートが受けられるようになっています。

スキルベースのトレーニングに加えて、アナログ・デバイスズはこれを補完するツール関係のトレーニングも引き続き行っています。使用できるツールに関する知識を増やすと共に、その効果的な使用方法を身に付ければ、従業員の効率と、仕事に対する満足度の両方に大きな影響を与えることができます。その一例を挙げると、アナログ・デバイスズはMathWorksとの関係を拡大し、そのツールに関する基本的なトレーニングを行っています。すべてのアナログ・デバイスズ社員はこのトレーニングを受けることができます。



## モバイル・セールス従業員の ニーズへの対応

アナログ・デバイセズのセールス・チームとチャンネル・パートナーは、学習と好奇心の文化から利益を得ています。フィールド・セールス・チーム固有のニーズを満たすために、アナログ・デバイセズの顧客学習およびイネーブルメント・グループとADIイベント・チームは、リモート労働力と移動労働力に適した経験の評価と設計を行います。

2023年12月、1週間のトレーニング・カンファレンスのために、北米とヨーロッパから500名のフィールド・アプリケーション・エンジニアが集まりました。

このカンファレンスには、毎日行われる9つのパラレル・トラック、180以上の個別トレーニング・セッション、ワークショップ、およびアナログ・デバイスとパートナーのハードウェア、ソフトウェア、ソリューションの80以上のデモが含まれていました。

すべてのトレーニング・セッションはすべて記録・公開されたため、学習者は今でもこの豊富なコンテンツを利用できるようになっています。

## 卓越性の追求と問題の解決

人材を開発して改善を推進し、卓越性を通してより高い顧客価値を提供するというアナログ・デバイセズのグローバル・オペレーション&テクノロジー（GO&T）チームの使命は、常に変わりません。クオリティ・カルチャー、分析、科学的な問題解決手法といった従業員スキル開発プログラムの設計と提供を通じて、リーン・シックス・シグマおよびアジャイル手法、スマート・マニファクチャリング、技術革新、システム設計、高い品質標準をベースとして、組織は成長を続けています。戦略展開実行プロセス、製造面のレジリエンス確立、生産の最適化といったトピックを含むExcellence at ADIプログラムは、アナログ・デバイセズの革新、バランス、継続的な改善の文化を強化します。学習の例としては、科学的問題解決の目標、製品開発スキル、製造上の欠陥の排除、業務改善、系統的な根本原因分析、顧客中心主義などが挙げられます。バーチャル、オンデマンド、対面式を組み合わせた学習形式により、従業員はこれらの学習プログラムに都合の良い方法でアクセスできるようになり、各自の勤務スケジュールや地理的条件に合わせて利用できるようになりました。

アナログ・デバイセズはまた、製造現場向けの専門的な新入社員トレーニング・プログラムも開催しています。その内容は、職場での安全、監督スキルの開発、データ分析、機能的な技術スキルの開発（例えば、故障分析、信頼性、品質管理システム、外部および規制機関の承認、設備操作、プラットフォーム、責任ある調達、材料検査、品質保証など）です。

## キャリアのチャート化

アナログ・デバイセズでのキャリアには多くの経路があります。従業員が様々な機会の中を進む助けとなるよう、当社にはADIメンタリング・プログラム（AMP）があります。FY23には723名のメンティーが531名のメンターとペアを組みました。このプログラムは、専門性、個人の関心、経験レベル、およびいくつかの個人的性質に基づいて参加者を結び付けます。構造化されたプログラム設計により、参加者はガイド、マイルストーン・トラック、およびリマインダーにアクセスできます。AMPは、アナログ・デバイセズのヤング・プロフェッショナル・ネットワークおよび女性リーダーシップ育成プログラムのために立ち上げられた、よりターゲットを絞った従来の各種メンタリング・プログラムの成功に続くものです。

アナログ・デバイセズが提供するトレーニングは、チーム・メンバーがその知識ベースを広げることと、アプリケーション・スペースと市場に関する理解を深めることの両方を可能にします。スキル・トレーニングは、問題を解決してソリューションを見つけるためのツールと能力があることを知らせ、チーム・メンバーに自信を与えます。実践からなるコミュニティとメンタリング・プログラムを組み合わせることで、チーム・メンバーは、会社、チーム、問題を解決するための新しい方法など、様々な部分を知ることができます。

## 企業リーダーの育成

MITとの提携により開発されたアナログ・デバイセズの企業リーダー・プログラム（ELP）は、当社のリーダーの企業成長に対する考え方を進化させ、成長を予測、適応、加速させるためのリーダーシップ・スキルを向上させることを目的としています。このプログラムは、研究主導の戦略的フレームワーク、応用学習、グループ・コラボレーションを組み合わせたもので、これまでに3つのグループのリーダーを輩出しています。



## 報酬と給付

アナログ・デバイセズは、知識ベースのビジネスとして、従業員のスキル、専門性、経験は、会社全体の成功につながる唯一かつ重要な要素であると考えています。テクノロジー分野での人材獲得競争は世界中で熾烈を極めていきます。運営上および財務上の良好な実績を継続していくために、当社の全体的な給与パッケージは、同業他社に対抗し得る報酬パッケージと、広く行き渡り世界中の従業員のニーズを満たしている福利厚生とを通じて、優秀な人材を引きつけ、応募の動機付けとし、それらの人材が採用後も定着するように考えられています。

### 報酬

アナログ・デバイセズのグローバルな業務構造は、アナログ・デバイセズの人事プロセスとプログラムをより支援するものとなるように、また、優秀な人材を引きつけて能力を開発し、その意欲を喚起すると共に、様々なビジネス・ユニット、職種、地域間での異動が可能となるように考えられています。これは、キャリアの開発と進歩向上に関する透明性を高める助けにもなります。このフレームワークは市場の動向と整合性が取られ、同業他社に対抗し得る報酬パッケージを提供できるようになっており、このパッケージは基本給と成果に基づく報酬（コーポレート・ボーナス・プランやセールス・インセンティブ・プランなど）で構成されています。更に、専門家レベルの能力を有する一部従業員には、株式報酬を受ける資格があります。成果に応じた支払いは、当社の報酬に対する考え方の主要要素となるものです。CEOから現場の作業者に至るまで、すべての従業員は、コーポレート・ボーナス・プランかセールス・インセンティブ・プランのどちらかに組み込まれます。当社のコーポレート・ボーナス・プランとセールス・インセンティブ・プランは、アナログ・デバイセズの収益および業績上の目標に従った従業員の報酬とリンクしています。これは、すべての従業員が同じ目標の実現に向けて努力すれば、卓越した素晴らしい成果へ向けた共通の意欲が生まれるものと考えているからです。



当社は、報酬プログラムを年一回検査しています。この検査には、当社が業務を行っているすべての分野の市場データに対する徹底的な解析が含まれており、当社の報酬プログラムが競争力のある適切なものであることを確認しています。例えば、株式購入資格のある従業員は、従業員株式購入プランを通じて、ディスカウント価格でアナログ・デバイセズの株式を購入できるようになりました。このプログラムへの参加率は現在世界で60%近くに達しており、社内のあらゆるレベルに自社への帰属意識と自社を所有しているという意識を生み出しています。

また、アナログ・デバイセズの業績と成功に関して予想を大きく上回るような重要な貢献をした従業員を評価することができるように、様々な認定プログラムが用意されています。アナログ・デバイセズの中核的な価値を具現化した従業員の正当な評価と褒賞を続けていくのは、アナログ・デバイセズにとって重要なことです。2023年7月、当社は新たに統一されたグローバル認定プログラムを実施し、その結果、2023年下半年には世界中で10,000件以上の認定事例が記録されました。

### 平等な賃金

アナログ・デバイセズは、性別、人種、民族に左右されない公平な報酬を提供できるよう尽力しています。目標は、役職、就業場所、経験、在職期間、能力などの要素を考慮した上で、同様の仕事をした従業員については100%平等な賃金を実現することです。アナログ・デバイセズは、従業員が社内の新たな機会に加わり、離れ、移動するダイナミックな組織です。結果として、当社では、同様の仕事をしている世界中の従業員について、その賃金が平等かどうかの評価を定期的に行い、必要に応じて調整を行っています。賃金の平等に関する社内的手段に加え、サードパーティによる評価ツールを使用して統計的見地からの評価も行っています。最近では、世界中の女性従業員と男性従業員の賃金差は1%未満を維持しています。アナログ・デバイセズでは、基本給、ボーナス、株式報酬を含めた総合的な報酬を考えています。

## 利点

アナログ・デバイセズは、従業員の身体的および精神的な健康と、財政的な健全性を実現する福利厚生プログラムによって従業員を支援し、より健康で幸福な生活の助けとなれることを誇りに思っています。当社は、世界中の従業員に福利厚生を提供しています。福利厚生プログラムは国によって異なり、当該国の法令と規則に従いながら、世界中の従業員のニーズの変化に合わせて定期的に見直しが行われています。

アナログ・デバイセズは、包括的医療保障、短期的および長期的な就業障害給付、生命保険および事故保険、年金制度、教育支援、学費補償、有給休暇を始めとする様々なプログラムを世界中で提供しています。

更に、従業員が業務や生活の流れの中で柔軟性が必要となる場合があることを理解しており、様々なプログラムを用意して従業員が休暇を取れるようにしています。例えば、アナログ・デバイセズは、誕生したばかりの子どもとの絆を深める時間を両親に提供することが重要であると確信しています。当社の育児休暇は国によって異なり、多くの場合は法的規制の対象となっています。

**アナログ・デバイセズの柔軟な就業ポリシー**は、流動的な就業環境に対応し、柔軟なオプションを提供することによって従業員を支援します。また、ハイブリッド・モデルは、出勤とリモート勤務を柔軟に組み合わせて働いたり（3日出勤して2日リモート）、フレックスタイム制を選択したりすることによって、従業員の柔軟な勤務を実現します。アナログ・デバイセズは、モバイル技術、多くの作業活動の性質、および炭素排出量削減に対する責任から、仕事を行う場所と時間に関する新たな考え方や文化が必要だと考えています。

一部の地域には以下の概要に示す対応の対象とならない従業員もいますが、その場合はこれらの対応に相当する福利厚生プログラムを提供しています。

### 米国内における福利厚生の概要

アナログ・デバイセズは、医療保障と歯科および眼科への保険適用、401(k)の企業拠出とマッチング拠出、有給休暇、および従業員支援プログラムを含む福利厚生プログラムによって、米国内の従業員を支援しています。

当社の401(k)プランは他社と比較しても高い優位性を備えおり、会社の基本拠出分は払込額の5%で、これに最大3%のマッチング拠出が加わるので、会社拠出分は最大で8%になります。経済的な福利厚生が全体的な福利厚生に寄与し、当社の401(k)プランが従業員とのパートナーシップを促進して従業員の将来に対する貯蓄となるものと考えています。

95%

の米国内従業員がアナログ・デバイセズの401(k)プランに参加しています。

### APACとEMEAにおける福利厚生の概要

アナログ・デバイセズは、法定福利厚生に加えて、広範な補足的福利厚生プログラムを提供することによってアジア太平洋 (APAC) および欧州、中東、アフリカ (EMEA) 諸国の従業員を支援していますが、これには地域の市場慣行に従った以下の項目が含まれています。

- 補足的な医療保障と歯科および眼科への保険適用
- 年次健康診断
- 補足的な定年退職金制度
- 教育支援、学費補償
- 従業員支援プログラム
- 交通手当、食券、休日出勤手当などの給付と手当
- 追加年次有給休暇、病気休暇、育児休暇など
- 病気、出産、養子縁組、育児休業などの休業期間中の法定給付を超える補償給付
- ウェルネス活動、ファミリー・デー、ピクニック、毎年恒例のパーティなどの従業員クラブ活動

## 米国内における追加的な福利厚生プログラムのハイライト

- 6週間の完全給付、性別に無関係の育児休業（出産、養子縁組、里親受託）
- 出産により就業できない両親のための10週間の有給療養期間
- アナログ・デバイセズのUnitedHealthcare (UHC) の医療オプションを通じた手厚い不妊治療給付と、Kaiser HMOの製品を通じて追加した不妊治療給付
- ジェンダー・アファーマー・ケアへの医療保険適用
- 基本給があまり高くない従業員の健康保険負担を改善する年間基本給ベースの医療保険料
- 週当たり20時間以上の勤務を行うパートタイム従業員に対する医療保険などの福利厚生
- 医療訪問とメンタル・ヘルス訪問両方の仮想訪問
- アナログ・デバイセズの従業員支援プログラムの下で問題ごとに行う6種類の秘密無料カウンセリング・セッション
- 養子縁組の資金援助（2024年に1万ドルへの増額）
- 10日間の育児および介護援助休暇、Bright Horizonsを通じた指導支援
- 従業員およびその家族が教育の継続を希望する場合の無料カレッジ・コーチング・サービス
- フィットネス費用補償と主要事業所の無料オンサイト・ジム施設
- 養子縁組、遺産相続、住宅および不動産、高齢者介護問題、ID盗難などに関する法的サービス

# アナログ・デバイスズ基金

## 地域とのつながり

### アウトリーチ活動

2020年に創設されたアナログ・デバイスズ基金は、アナログ・デバイスズの従業員が生活し働く、世界中のコミュニティを支援しています。国連の持続可能な開発目標に則り、当基金は環境保護、教育機会の向上、社会変革の促進という使命を推進する慈善団体を支援しています。この基金はマッチング・ギフトを通じて従業員と認定非営利団体の関わりを支援していますが、これは、従業員がボランティア活動に費やした時間と金銭的な貢献の両方が対象です。また、従業員には、以下の重点分野に整合することでアナログ・デバイスズの社会的影響を増大する可能性がある地域の慈善団体を提案することも奨励しています。



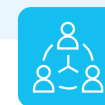
#### 環境保護

アナログ・デバイスズは、炭素排出量削減、水の保全と廃棄物削減、海洋保護、再生可能エネルギー源促進の助けとなるイニシアチブを支援しています。



#### 教育の機会拡大

アナログ・デバイスズは、高品質のSTEM教育や就職の機会へのアクセスを広げる取り組みを支援すると共に、サービスが不十分なコミュニティが必要とする進歩と繁栄のためのツールを提供しています。



#### 社会変革の促進

アナログ・デバイスズは、コミュニティの問題解決、貧困撲滅への取り組み支援、健康と福祉の促進に向けた革新的なソリューションを活用した取り組みを支援しています。



# アナログ・デバイスズ基金

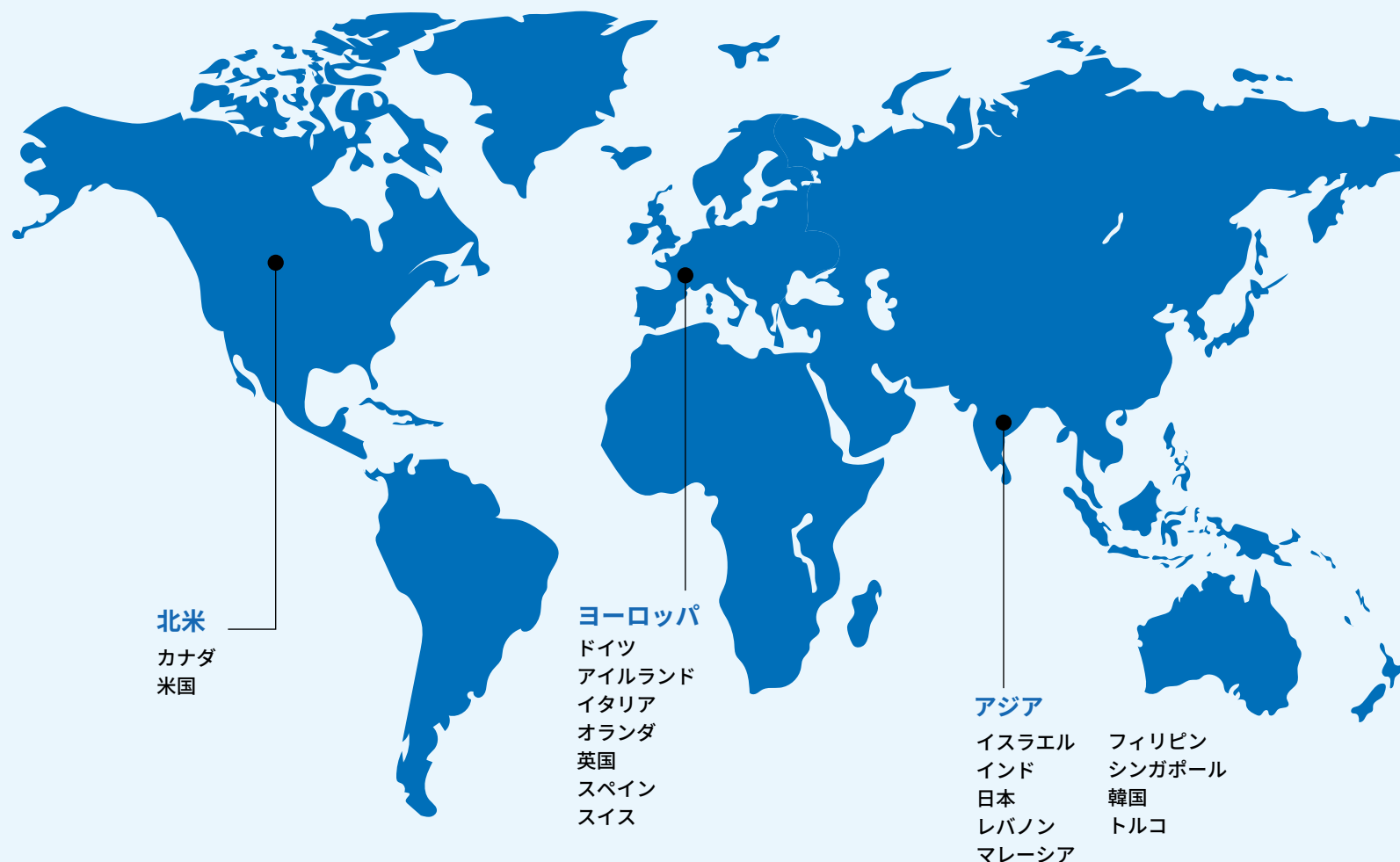
## アナログ・デバイスズの使命：

地球と人類のために、技術によって持続可能な未来を創造する

## 2023年度の財務および実績のハイライト

|                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| <b>\$510,000</b>  | <b>\$2.3百万</b>        |
| コミュニティ助成金         | 従業員の寄付と基金からのマッチング・ギフト |
| <b>&gt;14,500</b> | <b>18</b>             |
| 従業員のボランティア活動時間    | 従業員からの寄付金を受け取った国      |
| <b>&gt;1,300</b>  |                       |
| 非営利団体の受益者         |                       |

## 世界中での寄付



# アナログ・デバイスズ基金

## 2023年助成利用者

### 森林と野生生物の生息地の復元

アナログ・デバイスズ基金を代表して、CAF Americaは、非営利団体であるValmiki Recovery Projectを支援するため、Community Grant Fundから[インド野生生物トラスト](#)（WTI）に2万5000ドルの助成金を支給しました。長期的に見て、このプロジェクトは、Valmiki Tiger Reserveのローカル・コミュニティによる森林への影響により劣化が進む100平方キロメートル以上の周辺森林の復元を支援します。

アナログ・デバイスズ基金の2万5000ドルの助成金は、WTIがコミュニティや政府と連携しながら、野生動物とその生息地、個々の野生動物の福祉を守るという使命を果たすのに役立ちました。

助成金申請の促進に加え、アナログ・デバイスズのインドのグリーン・チームは、WTIと密接に協力し、環境サステナビリティを確保するために、自然生息地と野生動物の保護、回復、復元に向けた取り組みを支援しています。インドを代表する非営利団体の1つであるWTIは、23の州で活動しており、保護活動の先駆者でもあります。

### ホース・セラピーによる前進

マサチューセッツ州テュークスベリーの[ストロングウォーター・ファーム](#)では、退役軍人、ファースト・レスポnder、高齢者、特別なニーズや障害、薬物乱用障害を抱える人々など、情緒面、身体面、行動面、認知面で困難を

抱える子どもや大人を対象に、個別対応の乗馬プログラムを提供しています。基金からの4万ドルの助成金により、施設の納屋の構造的な損傷が修復され、スタッフ、顧客、馬にとって安全な状態になりました。ストロングウォーター・ファームの施設には、ボランティアの作業場が併設しており、馬の放牧場、乗馬コース、屋内および屋外の競技場もあります。アナログ・デバイスズの現役従業員や退職者の中には、個人として、あるいは従業員チームのボランティアとして、ストロングウォーター・ファームのユニークで革新的なプログラムを支援している人も多くいます。

ストロングウォーター・ファームで行われている重要な活動について、詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

### より公平な教育機会の実現

[Boston Partners in Education](#)（BPIE）は、ボストンの公立学校の生徒たちが学生生活やその先の人生で成功するためのスキル、機会、自信、意欲を身に付けるための支援として、2万ドルの助成金を受け取りました。生徒たちの学業および個人的な業績をサポートするメンター制度の利用を拡大することで、BPIEは、人種、居住地、社会経済的な地位に関係なく、生徒たちが潜在能力を最大限に発揮するために必要なリソースや支援を利用できる機会を確保しています。

BPIEは、すべての学年において、無料の学業指導を提供しています。

- ・「Motivate」（幼稚園-2年生）：教室でのサポート
- ・「Accelerate」（幼稚園-8年生）：個人またはグループでのスキル構築

- ・「Aim High」（9-12年生）：卒業に向け、STEMまたは人文科学に重点を置く個別指導
- ・「Independent Learning Support」（1-12年生）：バーチャル・プラットフォームを介した個別指導

BPIEは、アナログ・デバイスズのオートモーティブ&エネルギー、通信、航空宇宙グループのメンバーとも緊密に連携しており、基金からの2万ドルの助成金は、ニーズ・アセスメントとプログラム管理コストに充てられました。



## 従業員の寄付：コミュニティ活動委員会

アナログ・デバイス従業員の情熱と献身は、他者を助け、変化をもたらし、世界中のコミュニティに望ましい影響を与える助けとなってきました。アナログ・デバイセズの中核的価値である「Give. Care. Do.」（寄付、ケア、行動）という理念に対するその揺るぎない取り組みは、当社の使命を成功に導くための推進力となっています。

2022年に設立された従業員のグローバル・ネットワークであるCABは、アナログ・デバイスが事業を展開するコミュニティにおける文化、娯楽、社会福祉を促進する従業員エンゲージメント・イニシアチブを支援しています。CABの取り組みの結果として、アナログ・デバイス従業員は様々な慈善活動によって数万ドルの金額を集め、2023年にはボランティア活動の時間が約3倍（5,000時間から14,500時間）に増加しました。

2023年には、CAB and Employee Resource Groups (ERG) を活用することで、サイトおよび従業員の参加率を5倍に増加させました。

2023年を通して、アナログ・デバイセズの従業員はSTEM教育、少女や女性のためのエンパワーメント活動、住宅確保プロジェクト、退役軍人と子どもたちの健康支援、環境と動物福祉への取り組み、大規模な学用品、食料、金銭の寄付、そして家族へのホリデー・カインドネスなどを通じて、ローカル・コミュニティを支援するために団結しました。

### 世界食料デー2023

食料不足に対する意識を高め、支援を呼びかけるために150か国で実施された取り組みである[世界食料デー2023](#)において、アナログ・デバイセズの従業員は世界中の22都市で約5,000ポンドの食料と10万ドル以上の寄付を行いました。アナログ・デバイセズのガイドラインで認められているとおり、アナログ・デバイス基金は従業員の寄付と同額を寄付し、当社のインパクトを更に強めました。2023年の当社の取り組みでは、前年度を大幅に上回り、集められた食料は6倍、参加事業所数は3倍、その中でも米国以外の参加事業所は6倍に増加しました。

ハイライトには以下が含まれます。

- カナダのバンクーバーでは、従業員が[Greater Vancouver Food Bank](#)のために2.5ヵ月間にわたるオンライン募金活動を行い、約3,000ドルを集めました。この金額は、アナログ・デバイス基金による寄付額に匹敵します。Vancouver Food Bankの購買力により、このキャンペーンは12,000ドル相当の潜在的な購買力につながりました。
- バーモント州バーリントンでは、従業員が食料不足に苦しむ地元の非営利団体[Aunt Dot's Place](#)と[Colchester Food Shelf](#)を支援するために、約700ポンドの食料と現金寄付を集めました。

アナログ・デバイセズは、Boston Business Journalにより、[2023年のマサチューセッツ州におけるトップ慈善貢献者100社（41位）](#) に選ばれました。

### ホリデー・カインドネス

アナログ・デバイセズの世界食料デーの取り組みと同様に、2023年のホリデー・カインドネス・キャンペーンでも、参加した事業所の数、支援した子どもの数、寄付されたおもちゃの数など、前年の合計を上回る結果となりました。

#### 2023年度キャンペーンのハイライト

- 米国のウィルミントンでは、アナログ・デバイセズの従業員が、[Department of Children and Families](#)のホリデー・カインドネス・キャンペーンを通じて、250個のおもちゃを87人の里子のために集めました。
- フィリピンでは、ギビング・チームが[Bukid Kabataan Center](#)で27人の孤児のためにホリデー・パーティを開催しました。
- 米国とアイルランドでは、ダブリン、リムリック、サンノゼの従業員が、Redemptorist Christmas Appeal、St. Vincent de Paul of Limerick and Dublin、Toys for Totsのために、200個以上の子ども用おもちゃを集めました。

これらは、アナログ・デバイセズの従業員が「コミュニティ - 成功を共有」と「尊敬 - 思いやりを胸に」という当社の価値を受け入れ、[アナログ・デバイス基金](#)とコミュニティ活動委員会（CAB）と協力して隣人を支援した、数多くの方法のほんの一部に過ぎません。当社は、従業員によるコミュニティへのコミットメントを誇りに思い、CABによって早期に達成された強固な成功に喜び、2024年以降も更に素晴らしい成果が得られることを期待しています。

## 研究への投資

持続可能な未来を支える技術革新の最前線にとどまるために、アナログ・デバイスは、最先端の研究活動への投資を続けています。当社の投資は、基礎的な科学研究から将来の革新的製品を指向した応用研究まで、広い範囲に及んでいます。

アナログ・デバイスの共同研究の例としては以下のよう  
なものが挙げられます。

- UC Berkeley Sensor and Actuator Center (BSAC)
- UC Berkeley Wireless Research Center (BWRC)
- Stanford SystemX Alliance
- Center for Power Electronics Systems (CPES)
- NSF Power Management Integration Center (PMIC)
- MIT Medical Electronic Device Realization Center (MEDRC)
- MIT Center for Quantum Engineering
- NSF Center for Hardware and Embedded System Security and Trust (CHEST)
- UMass Lowell Printed Electronics Research
- NSF Broadband Wireless Access and Applications Center (BWAC)
- MIT Center for Transportation and Logistics (CTL)
- MIT AI Hardware Program
- Flexible Hybrid Electronics Manufacturing Institute (NextFlex)
- NSF Center for Design Analog-Digital Integrated Circuits (CDADIC)
- NYU WIRELESS
- Power America

センター・レベルの協力に加えて、アナログ・デバイスは、ジョージア工科大学（GTech）、カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）、コロンビア大学、ウースター工科大学（WPI）、イリノイ大学、ミシガン大学、オレゴン州立大学、およびテキサス大学ダラス校の研究を促進するための寄付金も提供しています。

もう1つの重要な活動は、当社の国際的な研究の取り組みを拡大することです。例としては以下のようなものがあります。

- KU Leuven research collaboration
- Microelectronics Circuit Center Ireland (MCCI)
- d.lab at Tokyo University in Japan
- University of Pavia, Italy
- Macquarie University, Australia
- CONFIRM research center for manufacturing, Ireland
- IIT Chennai, India
- University of Toronto
- Universidad Jaime I, Spain

当社の重要な取り組みの1つが、Semiconductor Research Corporationによる公立／私立共通のJUMP 2.0 (Joint University Microelectronics Program 2.0) への参加です。SRCが主導するこのプログラムの目的は、情報および通信技術における米国の優位性確立を加速することにあります。

JUMP 2.0は、様々なエレクトロニクス・システムの性能、効率、および容量を大幅に向上させることを目指しています。新たな素材、デバイス、アーキテクチャ、アルゴリズム、設計、インテグレーション技術、その他のイノベーションは、情報および通信分野の課題に関わる問題を解決する際の中心となるものです。その目的に向かって、各センターはJUMP 2.0の7つの補足的研究テーマに焦点を当てる予定です。これらのテーマは、以下に示す大学が運営するセンターによって主導されます。

- 認知：次世代AIシステムおよびアーキテクチャ（認知システム共同設計センター、ジョージア工科大学）
- 通信とコネクティビティ：ICTシステム用の効率的な通信技術（ユビキタス・コネクティビティ・センター、コロンビア大学）
- インテリジェントなセンシングとアクション：迅速かつ効率的なアクションを可能にするセンシング能力と組み込みインテリジェンス（認知型マルチスペクトル・センサー・センター、ジョージア工科大学）

- 分散型コンピューティング用のシステムとアーキテクチャ：エネルギー効率の良いコンピュータおよびアクセラレータ・ファブリックの分散型のコンピューティング・システムとアーキテクチャ（次世代分散型コンピュータ・システム用の進化型コンピューティング、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校）
- インテリジェント・メモリおよびストレージ：インテリジェント・メモリ・システム用の新たなメモリ・デバイスとストレージ・アレイ（インテリジェント・ストレージおよびメモリによる処理センター、カリフォルニア大学サンディエゴ校）
- 先進的なモノリシックおよびヘテロジニアス・インテグレーション：新たな電気および光相互接続ファブリックと先進的パッケージング（マイクロエレクトロニクス・システム・ヘテロジニアス・インテグレーション・センター、ペンシルバニア州立大学）
- 高性能でエネルギー効率の良いデバイス：次世代デジタルおよびアナログ・アプリケーションを実現する新たな素材、デバイス、相互接続技術（優れたエネルギー効率の素材とデバイス（SUPeRior Energy-efficient Materials and dEvices（SUPREME）、コーネル大学）

JUMP 2.0に関する詳細は[SRCのウェブサイト](#)に掲載されています。



## STEM教育の機会

アナログ・デバイセズは、技術スキルを育てるために必要な教育を受ける機会の拡大に取り組んでいます。私たちの生活と地球をこれまで改善してきたこのスキルは、今後もその改善を続けていくでしょう。アナログ・デバイセズは1965年の創立以来、幼稚園から12年生レベルの生徒、および学部レベルと院生レベルの大学生を対象に、化学、技術、エンジニアリング、数学（STEM）教育を支援するプログラムへの投資を続けてきました。当社は、資金、技術、そして従業員の知識と経験を提供することによってリソースを供給していますが、その相手の多くは長期的なパートナーです。

### MassRobotics

MassRoboticsは、起業家やスタートアップ企業が製品の開発、試作、テスト、商品化を行うために必要な作業スペースやリソースを提供することで、次世代のロボット工学企業を創出し、事業を拡大することを使命としています。また、この組織は、これまで過小評価されてきたグループが、STEM教育やSTEM関連のキャリアにアクセスしやすくなるよう支援するというコミットメントの一環として、ロボット工学コミュニティと次世代の革新者の関係促進を目指しています。

2023年、アナログ・デバイセズ基金は、技術スキルの開発、メンター、そして支援と自信を与えるネットワークを提供することで様々な層の女子高校生にロボット工学のキャリアを奨励する、Jumpstart Fellowshipの資金としてMassRoboticsに1万ドルの助成金を支給しました。学生たちは、ロボット工学やその他のテクノロジー企業で有給の夏期インターンシップを体験し、実社会での経験を積むことができます。

Jumpstart Fellowshipプログラムは、最初の3年間で、参加者が8人から30人に増加しました。若い女性たちは、5ヵ月間、責任感を持って毎週土曜日に参加し、スキルを学び、業界の専門家と交流します。

### STEMatch

STEMatchは、学生と民間企業との架け橋となり、テクノロジー業界における実社会経験を提供しています。この組織のキャリア・デー・プログラムでは、6年生の学生がテクノロジー主導の企業を訪問し、体系的かつ実践的なセッションに参加することで、テクノロジー業界における様々な職種について学ぶことができます。また、STEMatchはCOMPETEと呼ばれるプログラムも運営しており、大学1年生と2年生を対象に、企業の幹部によって識別されたニーズに沿ったスキル・トレーニングを提供しています。

STEMatchは、マサチューセッツ州のGateway（低所得者層）都市であるローウェルやローレンスなどに住む学生の参加を促すことを目指しています。この非営利団体は、ボストンやローウェルの学校と協力することで、800人以上の学生にサービスを提供するまでに成長しました。アナログ・デバイセズ基金の1万ドルの助成金は、STEMatchの支援活動を拡大し、サービスを提供する学生数を1,600人に倍増するために使用されます。

2023年3月、アナログ・デバイセズはウィルミントンにある当社のオフィスで、ローウェルのStoklosa Public Middle Schoolの25人の学生を対象に、STEMatchキャリア・デーを開催しました。

アナログ・デバイセズとアナログ・デバイセズ基金が提携するその他の組織は以下のとおりです。

- Women's Foundation of Boston
- Boston Partners in Education
- Philippine S&T Foundation
- National Society of Black Engineers (NSBE)
- Penang Science Cluster
- Sri Sathya Sai Institute of Higher Learning
- Resource Area for Teaching (RAFT)
- California Invention Convention
- Philips Exeter Academy
- Boys and Girls Club of Boston
- Boys and Girls Club of Silicon Valley
- Wilmington Education Foundation

### 海洋研究の促進

アナログ・デバイセズは、海洋および気候イノベーション促進コンソーシアム（OCIA）への参加を通じて、ウッズホール海洋研究所（WHOI）の研究者への助成金を支援しています。OCIAは、海洋で何が起きているかを深く理解し、効果的な気候変動対策を開発することを共通の志とする組織のコンソーシアムです。2023年には、2つの18ヵ月プロジェクトが選定されました。

- 暴風雨の影響を受けたマサチューセッツ州の海岸に沿って、高周波レーダーに基づくプロトタイプ・センサー・メッシュのフィールド試験を実施し、海洋の風、波、潮流を観測し、最終的には沿岸管理者やファースト・レスポnderに情報を提供します
- ADI A2Bテクノロジーを基盤とするモジュール式海洋音響アレイは、クジラをリアルタイムで検知および特定することができ、科学的な動態研究や、沖合の建設物の監視などを行います





# 付録

## このセクションの内容：

- II TCFD
- III SASB
- V GRIインデックス
- XVI GAAP指標と非GAAP指標の対比





| トピック                 | 会計指標                                                                 | カテゴリ    | 測定単位           | コード          | 対応                                           | 場所                                                                                |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------|---------|----------------|--------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 世界の従業員および熟練従業員の獲得と管理 | 外国籍従業員と<br>(1) 海外に配置された<br>(2) 従業員の比率                                | 定量的     | パーセンテージ<br>(%) | TC-SC-330a.1 | (1) 非開示<br>(2) 従業員の12%がEMEA諸国在住、60%がAPAC諸国在住 | 2023年ESGレポート：2023末時点の従業員データの概要、 <a href="#">11ページ</a>                             |
| 製品のライフサイクル管理         | IEC 62474の申告物質を含む製品の比率（収益による比率）                                      | 定量的     | パーセンテージ<br>(%) | TC-SC-410a.1 | 非開示                                          |                                                                                   |
|                      | 以下に関するシステム・レベルでのプロセッサのエネルギー効率：<br>(1) サーバー、(2) デスクトップ、および (3) ラップトップ | 定量的     | 各種、製品カテゴリによる   | TC-SC-410a.2 | 非開示                                          |                                                                                   |
| 材料調達                 | 重要材料の使用に関連するリスク・マネージメントについての説明                                       | 考察および分析 | 該当なし           | TC-SC-440a.1 |                                              | 2023年ESGレポート：紛争鉱物、 <a href="#">52ページ</a><br><a href="#">紛争鉱物報告</a> （2023年のフォームSD） |
| 知的財産の保護と競争行為         | 反競争的行為に関わる規則に係る訴訟によって生じた金銭的損失額の合計                                    | 定量的     | 報告通貨           | TC-SC-520a.1 | 非開示                                          |                                                                                   |

表2.活動指標

| 活動指標          | カテゴリ | 測定単位           | コード         |     |                                                     |
|---------------|------|----------------|-------------|-----|-----------------------------------------------------|
| 総生産高          | 定量的  | 注を参照           | TC-SC-000.A | 非開示 |                                                     |
| 保有施設での生産比率（%） | 定量的  | パーセンテージ<br>(%) | TC-SC-000.B | 非開示 | 2023フォーム10-K：項目1.事業 - 生産資源 - <a href="#">7～8ページ</a> |

# GRIインデックス

|           |                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 使用宣言      | アナログ・デバイスは、GRI標準を基準に、2023年1月1日から同年12月31日までの期間についてこのGRIコンテンツ・インデックスの情報を報告しました。 |
| 使用したGRI 1 | GRI 1：2021年基礎事項                                                               |

| 開示番号               | 開示題目                    | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| GRI 2: 2021年一般開示事項 |                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2-1                | 組織の詳細                   | 組織名：Analog Devices, Inc.<br>所有権および法的形態：2023フォーム10-K：会社の概要、戦略、ミッション、 <a href="#">2ページ</a><br>本社所在地：米国マサチューセッツ州ウィルミントン<br>事業所所在地：2023年ESGレポート：企業紹介 - <a href="#">7～12ページ</a><br>2023年フォーム10-K：資産、 <a href="#">24ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：アナログ・デバイスについて - <a href="#">1～2ページ</a>                            |
| 2-2                | 組織の持続可能性報告に含まれている事業体    | すべての事業体が含まれており、異なる取り扱いをされているものではありません。その他については方法を示したPDFに示します。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 2-3                | 報告の期間、頻度、および連絡先         | 報告期間：2023年12月31日までの12カ月間<br>報告周期：1年<br>レポートの発行日：[ADIチームが更新]<br>報告に関する疑問の問合せ先：Mary Farris、ESGおよび持続可能性プログラム担当シニア・ディレクタ、アナログ・デバイス                                                                                                                                                                           |
| 2-4                | 情報の修正再表示                | CY2019-2021のスコープ1および2のGHG排出量は、当社非製造施設の排出量プロファイルに対する修正の受け取り後に、改めて示しています。アナログ・デバイスの排出量はCO <sub>2</sub> eで約2,000トン増加しました。温室効果ガス・プロトコルに定義されたカテゴリ1から9までを含みます。アナログ・デバイスの製品は中間製品であり、多くの下流側アプリケーションに使われる可能性があるので下流側カテゴリ10～12は除いています。2022年のスコープ3の数値は、2024年に方法論の改善を反映して調整されました。詳細は、 <a href="#">こちら</a> を参照してください。 |
| 2-6                | 各種活動、バリュー・チェーン、その他の事業関係 | 2023年ESGレポート：企業紹介 - <a href="#">7～12ページ</a> 、ソリューションの影響 - <a href="#">30～39ページ</a><br>2023フォーム10-K：事業 - <a href="#">2～10ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：アナログ・デバイスについて - <a href="#">1～2ページ</a><br>2023暦年の各種活動、バリュー・チェーン、その他の事業関係に大きな変更はありませんでした。                                                                |

| 開示番号 | 開示題目                    | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-7  | 従業員                     | 2023年ESGレポート：世界各地のアナログ・デバイス事業所 - <a href="#">9ページ</a><br>2023フォーム10-K：人的資本とその育成 - <a href="#">9～10ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：アナログ・デバイスについて - <a href="#">1～2ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2-8  | 非正規従業員                  | アナログ・デバイスは非正規従業員をデータとして報告していませんが、OSHAのガイダンスに従い傷病者のデータには含めています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2-9  | ガバナンスの構造と構成             | 2023年ESGレポート：ガバナンスと監督へのアプローチ - <a href="#">13～15ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：取締役会 - <a href="#">7～8ページ</a> 、取締役の基準、資格、経験 - <a href="#">15～18ページ</a> 、取締役の略歴 - <a href="#">18～24ページ</a> 、独立性の判定 - <a href="#">24ページ</a> 、取締役会の各種委員会 - <a href="#">29～32ページ</a><br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：D. Board Committees                                                                                                                                               |
| 2-10 | 最高ガバナンス組織の指定と選択         | 2024年株主総会招集通知：取締役の基準、資格、経験 - <a href="#">15～18ページ</a> 、独立性の判定 - <a href="#">24ページ</a> 、新取締役候補者 - <a href="#">25ページ</a><br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：B. 取締役の資格基準                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2-11 | 最高ガバナンス組織の長             | 2024年株主総会招集通知：取締役会のリーダーシップ構造 - <a href="#">28ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2-12 | 影響管理の監督における最高ガバナンス組織の役割 | 2023年ESGレポート：取締役会による監督 - <a href="#">14ページ</a> 、リスクの監視 - <a href="#">15ページ</a> 、ESGの取締役会による監督 - <a href="#">18ページ</a> 、ESGの管理職による監督 - <a href="#">18ページ</a> 、ステークホルダー・エンゲージメント - <a href="#">18～19ページ</a> 、ガバナンス - <a href="#">43～60ページ</a> 、アナログ・デバイスの目標、文化、優先度 - <a href="#">75～80ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：ESGの監視 - <a href="#">3ページ</a> 、人材に関する優先事項 - <a href="#">4ページ</a> 、取締役会による監督 - <a href="#">34～40ページ</a><br>情報セキュリティに関する方針<br>政治献金と政治支出 |
| 2-13 | 影響管理に関わる責任の委任           | 2023年ESGレポート：取締役会による監督 - <a href="#">14ページ</a> 、リスクの監視 - <a href="#">15ページ</a> 、ESGの取締役会による監督 - <a href="#">18ページ</a> 、ESGの管理職による監督 - <a href="#">18ページ</a> 、ガバナンス - <a href="#">43～60ページ</a> 、アナログ・デバイスの目標、文化、優先度 - <a href="#">75～80ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：ESGの監視 - <a href="#">3ページ</a> 、人材に関する優先事項 - <a href="#">4ページ</a> 、取締役会による監督 - <a href="#">34～40ページ</a><br>情報セキュリティに関する方針<br>政治献金と政治支出                                               |
| 2-14 | 持続可能性報告における最高ガバナンス組織の役割 | アナログ・デバイスの内部監査組織は報告のすべての内容を確認して、上級管理職チームと取締役会の監査委員会に監査報告を提出します。アナログ・デバイスのESGプログラムとその進捗は、四半期ごとに上級管理職チームと取締役会の指名およびコーポレート・ガバナンス委員会委員会に報告されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 2-15 | 利害の対立                   | 2024年株主総会招集通知：取締役会の各種委員会 - <a href="#">29～32ページ</a> 、特定の関係および関連取引 - <a href="#">41ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 開示番号 | 開示題目                 | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-16 | 重要な懸念の伝達             | 2024年株主総会招集通知：株主その他の利害関係者からの連絡 - <a href="#">40ページ</a><br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：J. 取締役会と株主、機関投資家、報道機関、顧客等との関係                                                                                                                                                                  |
| 2-17 | 最高ガバナンス組織における知識の集約   | 2023年ESGレポート：ESGの取締役会による監督 - <a href="#">18ページ</a> 、ESGの管理職による監督 - <a href="#">18ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：ESGの監視 - <a href="#">3ページ</a> 、ディレクタの教育およびオリエンテーション・プログラム - <a href="#">32ページ</a> 、ESGの監視 - <a href="#">36ページ</a><br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：G. 取締役のオリエンテーションおよび継続的な教育 |
| 2-18 | 最高ガバナンス組織の実績の評価      | 2024年株主総会招集通知：取締役会の評価 - <a href="#">33ページ</a><br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：I. 取締役会の年次実績評価                                                                                                                                                                                          |
| 2-19 | 給与方針                 | 2024年株主総会招集通知：ディレクタ報酬 - <a href="#">42～44ページ</a> 、報酬の検討と分析 - <a href="#">48ページ</a> 以降<br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：F. ディレクタ報酬                                                                                                                                                      |
| 2-20 | 給与決定のプロセス            | 2024年株主総会招集通知：過去のセイ・オン・ペイ投票 - <a href="#">12ページ</a> 、ディレクタ報酬 - <a href="#">42～44ページ</a> 、報酬の検討と分析 - <a href="#">48ページ</a><br>コーポレート・ガバナンスのガイドライン：F. ディレクタ報酬                                                                                                                  |
| 2-21 | 報酬比率                 | 2024年株主総会招集通知：CEOの報酬比率 - <a href="#">79ページ</a>                                                                                                                                                                                                                               |
| 2-22 | 持続可能な開発戦略に関するステートメント | 2023年ESGレポート：CEO兼取締役会会長からのメッセージ - <a href="#">4～5ページ</a>                                                                                                                                                                                                                     |
| 2-23 | 方針への取組み              | 2023年ESGレポート：企業倫理 - <a href="#">47～48ページ</a><br>汚職防止方針<br>ビジネス行動と倫理に関する規範<br>企業の社会的責任規範<br>EEOおよびアファーマティブ・アクション方針<br>グローバル・タックス方針<br>反奴隷および人身売買に関する声明書<br>ギフトおよび接待に関するガイドライン<br>違法ないやがらせに関する方針<br>職場の全般的安全に関する方針<br>環境と安全衛生（EHS）に関する方針<br>個人情報保護方針<br>紛争鉱物に関する方針             |

| 開示番号 | 開示題目            | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-24 | 方針への取組みの組込み     | <p>2023年ESGレポート：企業倫理 - <a href="#">47～48ページ</a></p> <p><a href="#">汚職防止方針</a></p> <p><a href="#">ビジネス行動と倫理に関する規範</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p> <p><a href="#">EEOおよびアファーマティブ・アクション方針</a></p> <p><a href="#">グローバル・タックス方針</a></p> <p><a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p> <p><a href="#">ギフトおよび接待に関するガイドライン</a></p> <p><a href="#">違法ないやがらせに関する方針</a></p> <p><a href="#">職場の全般的安全に関する方針</a></p> <p><a href="#">環境と安全衛生（EHS）に関する方針</a></p> <p><a href="#">個人情報保護方針</a></p> <p><a href="#">紛争鉱物に関する方針</a></p>                         |
| 2-25 | 悪影響を是正するためのプロセス | <p>不正行為の疑いが報告された場合、アナログ・デバイスズは一貫した客観的検証プロセスを適用すると共に、報告の検証を公正かつ迅速に行うよう努めています。検証により調査が必要と判断された場合、アナログ・デバイスズは迅速に事実関係の調査を行って是正措置を講じ、その結果を報告者に通知します。調査にあたっては秘密を保持し、ビジネス・ニーズや適用される法令に反することがないように、あらゆる努力が払われます。</p> <p>アナログ・デバイスズは、内部および外部の調査に全面的に協力します。最高法務およびリスク管理責任者と倫理およびコンプライアンス・チームは、すべてのグローバル調査を監督し、問題が公正かつ一貫した形で、なおかつ透明性を維持した方法で行われるようにします。</p> <p>アナログ・デバイスズはその手法や手順の継続的改善を重視しており、主要なステークホルダーからの継続的なフィードバックを求めています。</p> <p>アナログ・デバイスズは、世界中の調査に関するデータと基準を追跡し、傾向をモニタして、業界基準に基づいて自社のデータを評価しています。また、取締役会は必要に応じ、調査プロセス、コンプライアンスの傾向および事案を監督します。</p> |

| 開示番号                | 開示題目                  | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-26                | 助言を求め懸念を提起するためのメカニズム  | <p>2023年ESGレポート：内部告発プログラム、報告、調査、是正措置 - <a href="#">48ページ</a></p> <p><a href="#">企業の社会的責任規範</a></p> <p>アナログ・デバイスでは、すべての従業員が尊重され、その価値が認められる環境を作ることに取り組んでいます。アナログ・デバイスはオープンドア・ポリシーを採用しており、従業員が懸念事項を話しやすくなるようにしています。そのため、従業員や他の人々が懸念事項を報告できるように、匿名での報告を含めて複数のチャンネルを用意しています。これらの報告は、アナログ・デバイスの倫理ホットラインを通じて誰でも行うことができます（www.analog.ethicspoint.comからオンラインで報告するか、電話または携帯からアクセス）。アナログ・デバイスの倫理ホットラインは独立したサードパーティによって運営されており、該当する法令に抵触しない限り、匿名で報告できます。この他、組織のビジネス行動について助言を求めたり、懸念を提起しようとする従業員が報告を行ったりするためのチャンネルとしては、直属の上司、人事部、アナログ・デバイスの最高法務責任者（CLO）、アナログ・デバイスの倫理およびコンプライアンス・チーム（Ethics Email Boxを使用）などがあります。</p> |
| 2-27                | 法規の遵守                 | 報告期間中、罰金や金銭以外の罰が課されるような重要な事例が発生したことは確認されていません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2-28                | 各種団体への参加              | <p><a href="#">国連グローバル・コンパクト（UNGC）</a></p> <p><a href="#">責任ある企業同盟（RBA）</a></p> <p><a href="#">責任ある鉱物イニシアチブ（RMI）</a></p> <p><a href="#">責任ある労働イニシアチブ（RLI）</a></p> <p><a href="#">米国半導体工業会（SIA）</a></p> <p><a href="#">SEMI</a></p> <p><a href="#">Semiconductor Research Corporation</a></p> <p><a href="#">Open RAN Policy Coalition</a></p> <p><a href="#">海洋および気候イノベーション促進コンソーシアム</a></p>                                                                                                                                                                                                            |
| 2-29                | ステークホルダーへの対応のためのアプローチ | 2023年ESGレポート：ステークホルダー・エンゲージメント、 <a href="#">18～19ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2-30                | 包括的労働協約               | 法律に完全に準拠して、アナログ・デバイスは、労働組合への自由な関与、組合の結成、組合への加入を行う権利や、集合的な代理や交渉を求める権利を尊重します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| GRI 3：2021年の重要なトピック |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3-1                 | 重要なトピックを決定するプロセス      | <p>アナログ・デバイスは、多面的アプローチを使って重要なトピックを決定しています。まず、投資者、顧客、格付け会社、加入している保険会社を含むステークホルダーからの入力を検討します。また、業界団体（SEMIやSIA）からの入力やベスト・プラクティスも使用します。これらと社内の企業リスク・マネジメント・プログラムが、重要なトピックに関わる広い視野を提供してくれます。アナログ・デバイスは、シナリオベースの情報と実際の情報を使用して、考え得る影響を評価します。また、2024年には、ダブル・マテリアリティ・アセスメントを行う予定です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |





| 開示番号               | 開示題目                 | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 303-2              | 排水関連の影響の管理           | 2023年ESGレポート：水 - <a href="#">67～69ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 303-3              | 取水量                  | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a> 、水 - <a href="#">67～69ページ</a><br>百万ガロン単位で切り取りページに示されています（16メガリットル）<br>百万ガロン単位で切り取りページに示されています（3627メガリットル）<br>水ストレスを伴う取水量 = 1,062メガリットル<br>サードパーティの水：3475メガリットル<br>リソース：WRIの水リスク地図（Aqueduct Water Risk Atlas）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 303-4              | 排水量                  | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a><br>百万ガロン単位で切り取りページに報告されています（2653.57メガリットル）<br>（その他のパラメータは未計算）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 303-5              | 水消費                  | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a><br>百万ガロン単位で切り取りページに示されています（832.79メガリットル）<br>140メガリットル                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| GRI 305: 2016年の排出量 |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 305-1              | 直接（スコープ1）GHG排出量      | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a> 、気候とエネルギー - <a href="#">64～66ページ</a><br>温室効果ガス（GHG）排出量は、その発生源に基づいて「スコープ」というカテゴリに分類されます。アナログ・デバイスズはスコープ1とスコープ2の排出量をモニタし、自社で制御可能な排出源からのGHG排出量をまとめています。排出量の測定と算出は、温室効果ガス・プロトコル、企業の排出量算定および報告に関する基準、およびIPCC第5次評価報告のGWPを使って行われます。プロセス排出量は、エレクトロニクス産業の排出量に適用される国別温室効果ガス・インベントリに関するIPCCガイドラインのティア2aを使って計算します。使用したWRI排出係数はUS-EPA気候リーダーシップの温室効果ガス・インベントリ用の排出係数で、市場ベースの係数を使用できる場合はそちらの係数が使われています。市場ベースの係数がない場合は、国際エネルギー機関が公開している場所に基づく排出係数を使用しています。アナログ・デバイスズのGHGインベントリのガスには、CO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O、HFC、PFC、SF <sub>6</sub> 、NF <sub>3</sub> が含まれています。 |
| 305-2              | エネルギー間接（スコープ2）GHG排出量 | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a> 、気候とエネルギー - <a href="#">64～66ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 305-3              | その他の間接（スコープ3）GHG排出量  | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a> 、気候とエネルギー - <a href="#">64～66ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 305-4              | GHG排出原単位             | 2023年ESGレポート：気候とエネルギー - <a href="#">64～66ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 305-5              | GHG排出量の削減            | 2023年ESGレポート：気候とエネルギー - <a href="#">64～66ページ</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 305-6              | オゾン層破壊物質（ODS）の排出量    | 現在、アナログ・デバイスズの製造施設はクラス1 ODSを使用していません。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |



| 開示番号                       | 開示題目                                  | 場所                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 403-6                      | 労働者の健康の増進                             | 2023年ESGレポート：報酬と給付 - <a href="#">84～85ページ</a><br><a href="#">2023年の米国の福利厚生プログラム</a>                                                                                                                                                                          |
| 403-7                      | 事業の関係性によって直接結びつけられる労働安全衛生への影響の防止および軽減 | 2023年ESGレポート：安全衛生トレーニング - <a href="#">59ページ</a>                                                                                                                                                                                                              |
| 403-9                      | 労働災害                                  | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a> 、安全衛生 - <a href="#">59～60ページ</a>                                                                                                                                                                        |
| 403-10                     | 業務上疾病                                 | 2023年ESGレポート：2023年のESGの成果 - <a href="#">23～25ページ</a>                                                                                                                                                                                                         |
| GRI 404: 2016年のトレーニングと教育   |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 404-2                      | 従業員のスキル向上のためのプログラムと移行支援プログラム          | 2023年ESGレポート：人材開発、 <a href="#">82～83ページ</a><br>2024年株主総会招集通知：人材に関する優先事項 - <a href="#">4ページ</a>                                                                                                                                                               |
| 404-3                      | 定期的に能力およびキャリア開発レビューを受けている従業員のパーセンテージ  | 従業員固有の達成度、行動、業績に対する正式な評価が年一回行われています。                                                                                                                                                                                                                         |
| GRI 405: 2016年の多様性および公平な機会 |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 405-1                      | ガバナンス組織と従業員の多様性                       | 2023年ESGレポート：2023年度末時点の従業員データの概要 - <a href="#">11ページ</a> 、多様性に富む取締役会 - <a href="#">14ページ</a> 、多様性、公平性、受容性 - <a href="#">78～80ページ</a><br>2023フォーム10-K：人的資本とその育成 - <a href="#">9～10ページ</a><br><a href="#">2023年のアイルランドの男女間賃金格差分析</a>                           |
| 405-2                      | 基本給および給与の男女比                          | 2023年ESGレポート：平等な賃金 - <a href="#">84ページ</a>                                                                                                                                                                                                                   |
| GRI 408: 2016年の児童労働        |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 408-1                      | 児童労働事案に関する顕著なリスクにさらされている企業やサプライヤ      | アナログ・デバイスズは、自社およびサプライヤの事業に強制労働、非自主的労働、または児童労働を使用することを禁じています。アナログ・デバイスズはRBAのメンバーであり、その行動規範を採用しています。<br>2023年ESGレポート：企業倫理 - <a href="#">47～48ページ</a> 、人権 - <a href="#">49ページ</a> 、倫理的サプライ・チェーン - <a href="#">50～52ページ</a><br><a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a> |

| 開示番号                           | 開示題目                                  | 場所                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>GRI 409: 2016年の強制労働</b>     |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>409-1</b>                   | 強制労働事案に関する顕著なリスクにさらされている企業やサプライヤ      | <p>アナログ・デバイスズは、自社およびサプライヤの事業に強制労働、非自主的労働、または児童労働を使用することを禁じています。アナログ・デバイスズはRBAのメンバーであり、その行動規範を採用しています。</p> <p>2023年ESGレポート：企業倫理 - <a href="#">47～48ページ</a>、人権 - <a href="#">49ページ</a>、倫理的サプライ・チェーン - <a href="#">50～52ページ</a></p> <p><a href="#">反奴隷および人身売買に関する声明書</a></p> |
| <b>GRI 415: 2016年の公共政策</b>     |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>415-1</b>                   | 政治献金                                  | <p>中間的な組織を介した直接的な献金を含め、いかなる政党や候補者にも政治献金は行っていません。この方針は、こうした献金が法的に許される場合でも、世界中に適用されます。</p> <p>2023年ESGレポート：公共政策 - <a href="#">58ページ</a></p> <p><a href="#">政治献金と政治支出</a></p>                                                                                                |
| <b>GRI 418: 2016年の顧客プライバシー</b> |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>418-1</b>                   | 顧客のプライバシー侵害と顧客データのプライバシー喪失に関して確認された苦情 | <p>当社では過去3年間、重大なセキュリティ侵害は発生していません。そのため、そのような侵害による純費用は生じていません。更に、過去3年間、情報セキュリティ侵害の和解の下で処罰を受けたり、何らかの金額を支払ったりしたことはありません。</p> <p>2023フォーム10-K：サイバーセキュリティおよび情報セキュリティのリスク監視 - <a href="#">9ページ</a></p>                                                                          |

# GAAP指標と非GAAP指標の対比

株主総会招集通知に含まれている非GAAP財務指標は、一般に認められた会計原則（GAAP）に従っておらず、また、それに代わるものでもない財務指標であって、他社が使用する非GAAP指標とは異なります。さらに、これらの非GAAP指標は、包括的な会計の規則や原則のセットに基づくものではありません。

これらの非GAAP指標は、経営陣が継続的な事業活動によるアナログ・デバイスズの業績を過去の報告期間と比較して評価したり、将来の報告期間における予算立案やリソース割り当てを行ったりする目的で、内部的に使用します。これらの非GAAP指標は、様々な報告期間におけるアナログ・デバイスズの中核事業とその傾向を、経営陣が継続的に評価する際の助けにもなります。経営陣は、アナログ・デバイスズの収益結果と将来的な見通しについてアナリストや投資者に情報を伝える際にも、主要業績指標としてこれらの非GAAP指標を使用しており、投資家にこれらの非GAAP指標について説明するのは有効なことだと考えています。なぜなら、これらの指標は経営陣が会社を経営するために使う営業成績を投資家に提供し、それにより投資家とアナリストはアナログ・デバイスズの中核事業を評価することができるからです。また、非GAAP流動性指標のフリー・キャッシュ・フローは、資本支出後の現金の量に関する情報を提供してくれ、更に借入債務の返済、投資、買収資金への充当、その他の一定用途にも使用できるので、経営陣は、これが内部的にも投資者に対しても便利だとも考えています。

アナログ・デバイスズは、非GAAP指標には重大な制約があると考えています。それは、これらの指標が、GAAPに従って定義されたアナログ・デバイスズの営業成績に関わるすべての量を反映する訳ではなく、GAAPに従って表したアナログ・デバイスズの決算とは別個の存在だと考えたり、それらの決算に代わる存在だと考えたりするべきではないという点です。アナログ・デバイスズが非GAAP指標を使用することと、そのために特定の項目を含めたり除外したりするための方法は、必ずしも将来において期待される営業成績を示したり、アナログ・デバイスズが将来の報告期間において実際にはこれらの項目を記録しないということを示したりするものではありません。投資家は、会社の非GAAP財務指標を、対応するGAAP指標と照らし合わせて考える必要があります。

**フリー・キャッシュ・フロー：**営業活動によって得られたネット・キャッシュであり、GAAPに従って定義され、資産、工場、および設備への繰入れ（正味額）を差し引いたものです。フリー・キャッシュ・フロー収益パーセンテージは、フリー・キャッシュ・フローを収益で割った値です。

**買収関連経費：**現在および過去の報告期間における買収の結果として生じた経費には、主に、負債、在庫、資産、工場および設備、ならびに買収関連無形資産償却の評価替えに関連する経費が含まれており、更に、無形資産には購入した技術や顧客関係などの取得無形資産が含まれています。経費には、マキシムの買収に関する株式ベース報酬の置き換えに関連する評価替えも含まれます。これらのコストは特定の取引に関連するものであって、現在のアナログ・デバイスズの財務能力を反映するものではないので、非GAAP指標から除外されています。

**買収関連取引のコスト：**マキシムの買収に直接関係するコストで、法務、財務、その他に関連する専門家への報酬と、統合化に関係するコストを含みます。これらのコストは特定の取引に関連するものであり、現在のアナログ・デバイスズの財務能力を反映するものではないため、非GAAP指標から除外されています。

**特別経費（正味）：**マキシム買収に伴う統合化の一部として生じた正味経費で、施設の閉鎖、製造施設の統合、契約解除、その他の加速型株式ベース報酬に関わる経費、およびその他のコスト削減努力または組織再編イニシアチブに関連するものです。これらの項目の結果として現在進行中の経費削減努力は別として、これらの経費と将来的にアナログ・デバイスズの事業展開の間に直接的な相互関係はないので、非GAAP指標からは除外しました。

**税関連項目：**以上に挙げた非GAAP項目の所得税効果、連邦法人所得税減税請求に関連する税項目による所得税控除、過去の報告期間に関連するその他の所得税控除、および特定関連会社の統合化に関連する税項目による所得税控除。これらの税関連項目の所得税効果はアナログ・デバイスズの現在の営業成績に関わる税費用とは関係がないので、非GAAP指標から除外しました。

# GAAP指標と非GAAP指標の対比の結果（未監査）

（千ドル単位、ただし株単価を除く）

|                  | 2023年10月28日で終わる12ヵ月 |
|------------------|---------------------|
| <b>粗利益</b>       | <b>\$7,877,218</b>  |
| 粗利益率             | 64.0%               |
| 買収関連経費           | 1,047,309           |
| <b>調整後の粗利益</b>   | <b>\$8,294,527</b>  |
| 調整後の粗利益率         | 72.5%               |
| <b>営業利益</b>      | <b>\$3,823,112</b>  |
| 営業利益             | 31.1%               |
| 買収関連経費           | 2,023,532           |
| 買収関連取引のコスト       | 7,069               |
| 特別経費（正味）         | 160,710             |
| <b>調整後営業利益</b>   | <b>\$6,014,423</b>  |
| 調整後営業利益率         | 48.9%               |
| <b>希薄化EPS</b>    | <b>\$6.55</b>       |
| 買収関連経費           | 3.97                |
| 買収関連取引のコスト       | 0.01                |
| 特別経費（正味）         | 0.32                |
| 税関連項目            | (0.77)              |
| <b>調整後希薄化EPS</b> | <b>\$10.09</b>      |

# 営業活動によって得られたネット・キャッシュとフリー・キャッシュ・フローの対比（未監査）

（千ドル単位）

|                                  | 2023年10月28日で終わる12ヵ月 |
|----------------------------------|---------------------|
| 収益                               | \$12,305,539        |
| 営業活動によって得られたネット・キャッシュ            | <b>\$4,817,634</b>  |
| 収益に対する％                          | 39%                 |
| 資本支出                             | \$(1,261,463)       |
| <b>フリー・キャッシュ・フロー<sup>1</sup></b> | <b>\$3,556,171</b>  |
| 収益に対する％                          | <b>29%</b>          |

<sup>1</sup>フリー・キャッシュ・フローは、営業活動によって得られたネット・キャッシュから資本支出を差し引いた額として定義されます。



One Analog Way  
Wilmington, MA 01887  
1-800-262-5643  
[www.analog.com](http://www.analog.com)